



ThinkSystem SR680a V3

メッセージとコードのリファレンス



マシン・タイプ: 7DM9

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、以下に記載されている安全情報および安全上の注意を読んで理解してください。

https://pubs.lenovo.com/safety_documentation/

さらに、ご使用のサーバーに適用される Lenovo 保証規定の諸条件をよく理解してください。以下に掲載されています。

<http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup>

第 1 版 (2025 年 8 月)

© Copyright Lenovo 2025.

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが GSA (米国一般調達局) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

目次

目次	i	UEFI イベントのリスト	180
第 1 章 . メッセージ	1	第 4 章 . XClarity Provisioning Manager	
イベントおよびアラート・メッセージ形式	1	イベント	245
第 2 章 . XClarity Controller イベント	5	重大度別に整理された LXPM イベント	245
自動的にサポートに通知する XCC イベント	6	XClarity Provisioning Manager イベントのリスト	248
重大度別に整理された XCC イベント	7		
XClarity Controller イベントのリスト	30	付録 A. ヘルプおよび技術サポートの	
第 3 章 . UEFI イベント	171	入手	273
重大度別に整理された UEFI イベント	171	依頼する前に	273
		サービス・データの収集	274
		サポートへのお問い合わせ	275

第 1 章 メッセージ

サーバーの問題を解決する場合、サーバーを管理しているアプリケーションのイベント・ログから始めることをお勧めします。

- Lenovo XClarity Administrator からサーバーを管理している場合、Lenovo XClarity Administrator イベント・ログから開始します。
- 他の管理アプリケーションを使用している場合は、Lenovo XClarity Controller イベント・ログから開始します。

イベント・ログには、Lenovo XClarity Controller または UEFI によって記録されたサーバー・ハードウェア・イベントが含まれています。加えて、Lenovo XClarity Provisioning Manager を通じてハードディスク・ドライブまたはメモリーで診断テストを実行するときに、イベントが生成されることがあります (ただし、これらのイベントはイベント・ログには保存されません)。

Lenovo XClarity Controller、UEFI、または Lenovo XClarity Provisioning Manager により生成される可能性があるイベントを表示するには、このセクションを使用します。イベントごとに、問題を解決するために何を実行すべきかを理解するために使用できるユーザー操作があります。

重要：

- このサーバーは、Lenovo XClarity Controller 2 (XCC2) をサポートしています。Lenovo XClarity Controller 2 (XCC2) の追加情報については、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> を参照してください。
- Lenovo XClarity Provisioning Manager (LXPM) でサポートされるバージョンは、製品によって異なります。本書では、特に指定がない限り、Lenovo XClarity Provisioning Manager のすべてのバージョンを Lenovo XClarity Provisioning Manager および LXPM と記載します。ご使用のサーバーでサポートされる LXPM バージョンを確認するには、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> にアクセスしてください。

イベントおよびアラート・メッセージ形式

以下の内容を使用して、イベントおよびアラート・メッセージの形式を理解することができます。

各イベント・メッセージについて、以下の情報が提供されています。

イベント ID

イベントまたはイベントのクラスを一意に識別する文字列。これは、次の形式の 12 文字の文字列です。

FQXppnnxxxxc

ここで、それぞれ以下の意味があります。

- *pp* は、次のように、イベントが発生する製品を示しています。
 - **CM**。シャーシ管理。
 - **HM**。ハードウェアの管理。
 - **PM**。XClarity Provisioning Manager -LXPM (LEPT)。
 - **SF**。システム・ファームウェア。
 - **SP**。サービス・プロセッサ。
- *nn* は、次のように、イベントの発生元であるコンポーネントまたはシステム管理を示しています。

コンポーネント

 - **AA**。キャニスター/アプライアンス - お客様がサービスを提供することを予期していないシステム・コンポーネントが含まれています。

- CA. 冷却 - ファン、送風機、mux カード、ポリシー、冷却装置、水の管理単位、水道ポンプ、水道・フィルター、エアフロー・センサー、温度監視機。
- DA. 表示 - グラフィックス・アダプター、OP パネル、モニター/コンソール (前面/背面パネル、コントロール・パネル、LCD パネルなどを含む)。
- IO. I/O 接続 - PCI/USB ハブ、ブリッジ、バス、ライザー、構成設定、相互接続、キーボード、マウス、KVM。
- MA. メモリー - DIMM、メモリー・カード、構成設定、メモリー・コントローラー、冗長モード (ミラーリング、スベア、その他)、RAID メモリー、NVRAM、EPROM を含む。
- PU. 処理 - プロセッサー、プロセッサー・カードおよびシステム・ボード (システム・ボード・アセンブリ)、構成設定、マイクロコード、キャッシュ、トラステッド・コンピューティング・モジュール、プロセッサー相互接続 (QPI ケーブル) などが含まれます。
- PW. 電力 - パワー・サプライ、Vrm、VRD、電圧レベル、システム電源状態、ポリシー、電池、電源幅、TPMD、電源コントローラー、外部電源、バッテリー・バックアップ・ユニット (UPS)、PDU にすることができます。
- SB. システム・ボード - メイン・システム・ボード、関連するライザー、システム、ミッドプレーン、バックプレーン、相互接続。
- SD. クライアント・データ・ストレージ・デバイス - フラッシュストレージ・アダプター、ドライブ、CD/DVD ドライブ、SSD、SAS、DASD、フラッシュ・ストレージ、テープ、ボリューム、データ・バックアップ、FlashCopy、管理対象ストレージ・システム。
- SR. ストレージ RAID - アダプター、構成、設定、相互接続、アレイ、ドライブ・エンクロージャー。
- VD. VPD - 構成設定、EPROM、コミュニケーション。

システム管理 - FSM、PSM、HMC、FDMC UEFI、CMM、IOMC、CCE、PMC、DPSM、SVC、ストレージの管理/サービス、IMM、FSP、システム管理ネットワーク。

- BR. システム管理 - バックアップ/復元 & フェイルオーバー (HA)。
- BT. システム管理 - ブート、リブート、ハード/ウォーム・リセット、シャットダウン。
- CL. LEPT クローン。
- CN. システム管理 - コンソール。
- CP. システム管理 - 構成パターン。
- CR. システム管理 - コア/仮想アプライアンス。
- DD. デバイス・ドライバ - AIX、IBM I、サブシステム・デバイス・ドライバ (SDD)、IPMI サービス。
- DM. システム管理 - データ管理。
- EA. ベンダー・イベント。
- EM. イベント監視 - LEPT ダッシュボード。
- EM. システム管理 - イベント/監視。
- FC. システム管理 - FlexCat OS/Config デプロイメント。
- FW. システム管理 - ファームウェア。
- HA. ハイパーバイザー - 仮想コンポーネント、ブート、クラッシュ、SRIOV、LPAR。
- IF. インターコネクト (ファブリック) - 共通、podm、icm、lrim (SWFW メジャー、各種マイナー & 機能)。
- II. インターコネクト (インターフェース) - cimp、smis、cli、mapi (SCFG メジャー)。
- IM. インターコネクト (PCI Manager) - pcim (SWFW メジャー、各種マイナーおよび機能)。
- IN. インターコネクト (ネットワーク) - bos、bo m、fcf、npiv (FCF メジャープラス SWFW、各種マイナー & 機能) データ・ネットワーク、ネットワーク設定、ポート、セキュリティ、アダプター、スイッチ、ファイバー・チャネル、光ポート、イーサネット。
- IP. インターコネクト (PIE) - tbd。
- IU. インターコネクト (ユーティリティ/インフラストラクチャー) - util、infr、serv、isds (IBIS メジャー)、リモート・コピー (ストレージ)。
- NM. ネットワーク管理 - LEPT Welcompage。
- NM. システム管理 - ネットワーク管理。
- OH. OS/ハイパーバイザー・インターフェース - エラー・ログ、パーティション管理、サービス (時刻、その他) の引き渡し。
- OS. LEPT OS デプロイメント。

- OS。OS - Power Linux、AIX の IPL、AIX、クラッシュとダンプ・コード、IBM i kernal コード、IBM i OS、ストレージの管理に関する機能。
- PR。システム管理 - エンティティの存在。
- RC。システム管理 - リモート制御。
- SD。LEPT ストレージ・テスト。
- SE。システム管理 - セキュリティー。
- SR。LEPT RAID セットアップ。
- SS。サービス & サポート - LEPT FFDC コレクション。
- SS。システム管理 - サービス & サポート。
- TR。時間参照 - RTC、マスター・クロック、ドロワー・クロック、NTP。
- UN。不明/いずれかのエンティティ。
- UP。LEPT ファームウェア更新。
- UP。システム管理 - 更新。
- WD。システム管理 - ウォッチドッグ。
- *xxxx*は、サブ・システム・イベント・セットの増分値です。
- *c*は、以下のように重大度を示しています。
 - A。即時操作として予約されています。
 - B。不明/操作なし。
 - D。予約済み - 即時決定。
 - E。予約済み - 最終的操作。
 - F。警告/操作なし。
 - G。警告/遅延操作。
 - H。マイナー/遅延操作。
 - I。情報/操作なし。
 - J。マイナー/即時操作。
 - K。メジャー/遅延操作。
 - L。メジャー/即時操作。
 - M。クリティカル/即時操作。
 - N。致命的/即時操作。
 - W。予約済み - システムの待機。

第 2 章 XClarity Controller イベント

ハードウェア・イベントがサーバー上の Lenovo XClarity Controller によって検出されると、Lenovo XClarity Controller はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに書き込みます。

注：イベント識別子 (ID) は XCC イベントの検索に使用される固有の識別子です。イベント・メッセージには 1 つ以上の引数を含む場合があります。この引数は、FRU 名またはセンサー名の交換可能テキストで、障害が発生したコンポーネントを識別するために使用できます。したがって、1 つの XCC イベント ID は、異なるハードウェア・コンポーネントで起こった一般的なイベントまたは類似の障害を表す可能性があります。一般的な問題判別方法は、イベントを ID で確認し、ハードウェア・コンポーネント名が含まれている場合は、メッセージ引数でハードウェア・コンポーネントを識別してから、ユーザー操作で定義されたアクションを実行します。

例:

FQXSPCA0017M: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から、以下のクリティカルな状態に移りました。

- FQXSPCA0017M はイベント ID です。
- [SensorElementName] は、センサー変数で、ハードウェア・コンポーネントの名前を示しています。CPU、PCI アダプター、OCP カード、またはチップ・セットを使用できます。イベント ID FQXSPCA0017M でイベントを検索し、コンポーネントのユーザー操作で定義されたアクションを実行できます。

Lenovo XClarity Controller イベント・ログに関する追加情報については、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/>にあるご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料の「イベント・ログの表示」セクションを参照してください。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントを一意的に識別する ID。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。この資料では、この追加情報は変数として表示され、以下を含むがこれに限定されません。

- [SensorElementName], [ManagedElementName], [ProcessorElementName], [ComputerSystemElementName], [PowerSupplyElementName], ...
- [arg1], [arg2], [arg3], [arg4], [arg5]...

説明

追加情報でそのイベントが発生した理由を説明します。

重大度

状態の懸念度が示されます。以下の重大度が表示されることがあります。

- 「情報」。イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザー操作または正常に動作する状態の変更です。
- 「警告」。このイベントは、エラーほど重大ではありませんが、可能であれば、エラーになる前に状態を修正する必要があります。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
- 「エラー」。このイベントは、サービスや正常な機能が損なわれる障害状態またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー

同類のイベントがカテゴリごとに分類されます。アラート・カテゴリの形式は *severity - device* です。

- *severity* は、以下の重大度レベルのいずれかです。
 - 「クリティカル」。サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
 - 「警告」。イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
 - 「システム」。イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。
- *device* は、イベント生成の原因となったサーバー内の特定のデバイスです。

保守可能

問題を修正するためにユーザー操作が必要かどうかを指定します。

CIM 情報

CIM メッセージ・レジストリーによって使用されるメッセージ ID のプレフィックスとシーケンス番号を提供します。

SNMP Trap ID

SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP trap ID。

自動的にサービスに連絡

特定のタイプのエラーが発生した場合に自動的にサポートに通知するよう (コール・ホームとも呼ばれます)、Lenovo XClarity Administrator を構成することができます。この機能とこのフィールドを「はい」に設定すると、イベントが生成された場合に、Lenovo サポートに自動的に通知されます。Lenovo サポートからの連絡を待つ間に、そのイベントに対する推奨処置を実行することができます。

注：この資料には、IBM Web サイトへの言及 およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、Lenovo サーバー製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

Lenovo XClarity Administrator からのコール・ホームの有効化について詳しくは、https://pubs.lenovo.com/lxca/admin_setupcallhome を参照してください。さらに、Lenovo サポートにコール・ホームされるすべての Lenovo XClarity Controller イベントの統合化されたリストについては、[6 ページの「自動的にサポートに通知する XCC イベント」](#) を参照してください。

ユーザー処置

イベントを解決するために実行すべき処置を示しています。問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。すべての手順を実行しても問題を解決できない場合、Lenovo サポートにお問い合わせください。

自動的にサポートに通知する XCC イベント

特定のタイプのエラーが発生した場合に自動的にサポートに通知するよう (コール・ホームとも呼ばれます)、XClarity Administrator を構成することができます。この機能を構成してある場合、自動的にサポートに通知されるイベントのリストについては、表を参照してください。

表 1. 自動的にサポートに通知されるイベント

イベント ID	メッセージ・ストリング
FQXSPCA0002M	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。
FQXSPPEM4014I	RAID コントローラーはバッテリーに問題があります。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
FQXSPPEM4015I	RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出しました。コントローラーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

表 1. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング
FQXSPPEM4025I	1 つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
FQXSPPEM4026I	RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
FQXSPPIO0001L	コネクタ [PhysicalConnectorElementName] で構成エラーが発生しました。
FQXSPPIO0011N	[SensorElementName] で訂正不能エラーが発生しました。
FQXSPPIO0015M	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。
FQXSPMA0011G	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。
FQXSPPU0004M	[ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。
FQXSPPW0035M	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。
FQXSPPW0063M	センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。
FQXSPSD0001L	[StorageVolumeElementName] に障害があります。
FQXSPSD0002G	[StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。
FQXSPSD0002L	エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] に障害があります。
FQXSPSD0003G	エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] の障害が予知されました。
FQXSPSD0005L	アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。
FQXSPSD0006L	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。
FQXSPSD0008L	エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイ障害が検出されました。
FQXSPSS4004I	ユーザー [arg1] によって、テスト用のコールホームが生成されました。
FQXSPSS4005I	ユーザー [arg1] による手動コールホーム: [arg2]。

重大度別に整理された XCC イベント

次の表は、重大度別 (情報、エラー および警告) に整理されたすべての XCC イベントの一覧です。

表 2. 重大度別に整理されたイベント

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPBR4000I	管理コントローラー [arg1]: IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によって構成がファイルから復元されました。	情報
FQXSPBR4002I	デフォルト値を復元するため、管理コントローラー [arg1] のリセットが発生しました。	情報

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPBR4004I	ユーザー [arg1] によってサーバーのタイムアウトが設定されました。EnableOSWatchdog=[arg2]、OSWatchdogTimeout=[arg3]、EnableLoaderWatchdog=[arg4]、LoaderTimeout=[arg5] です。	情報
FQXSPBR4005I	管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルに保存されました。	情報
FQXSPBR4006I	管理コントローラー [arg1]: IP アドレス [arg4] の [arg3] から完了したユーザー [arg2] によって構成がファイルから復元されました。	情報
FQXSPBR4009I	管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成です。	情報
FQXSPBR400AI	管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成が完了しました。	情報
FQXSPBR400BI	管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成を完了できませんでした。	情報
FQXSPBR400CI	管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成を開始できませんでした。	情報
FQXSPBR400DI	ネイバー・グループのクローン構成がユーザー [arg1] により開始されました。	通知
FQXSPBR400EI	ネイバー・グループのファームウェア更新がユーザー [arg1] により開始されました。	通知
FQXSPBR400FI	IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりネイバー・グループ管理は [arg1] です。	通知
FQXSPBT0007I	システム [ComputerSystemElementName] に使用可能なブート可能メディアがありません。	通知
FQXSPCA2002I	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。	通知
FQXSPCA2007I	数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。	通知
FQXSPCA2009I	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。	通知
FQXSPCA2011I	数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。	通知
FQXSPCA2015I	センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。	通知
FQXSPCA2017I	センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。	通知
FQXSPCA2019I	センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。	通知
FQXSPCN4000I	ユーザー [arg1] によってシリアル・リダイレクトが設定されました。Mode=[arg2]、BaudRate=[arg3]、StopBits=[arg4]、Parity=[arg5]、SessionTerminateSequence=[arg6] です。	情報
FQXSPCN4001I	ユーザー [arg1] によってリモート制御セッションが [arg2] モードで開始されました。	通知

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPCN4002I	ユーザー [arg1] がアクティブな CLI コンソール・セッションを終了しました。	通知
FQXSPCN4003I	ユーザー [arg1] によって [arg2] モードで開始されたりモート制御セッションが終了されました。	通知
FQXSPCN4004I	ユーザー [arg1] がアクティブな [arg2] コンソール・セッションを作成しました。	通知
FQXSPCN4005I	[arg1] コンソール・セッションがタイムアウトになりました。	情報
FQXSPCN4006I	ユーザー [arg1] がアクティブな IPMI コンソール・セッションを終了しました。	情報
FQXSPDM4000I	デバイス [arg1] のインベントリ・データが変更されました。新しいデバイス・データ・ハッシュ=[arg2]、新しいマスター・データ・ハッシュ=[arg3] です。	情報
FQXSPDM4001I	ストレージ [arg1] が変更されました。	情報
FQXSPDM4003I	TKLM サーバーがユーザー [arg1] によって設定されました。TKLMServer1=[arg2] Port=[arg3]、TKLMServer2=[arg4] Port=[arg5]、TKLMServer3=[arg6] Port=[arg7]、TKLMServer4=[arg8] Port=[arg9] です。	情報
FQXSPDM4004I	ユーザー [arg1] によって TKLM サーバーのデバイス・グループが設定されました。TKLMServerDeviceGroup=[arg2] です。	情報
FQXSPDM4005I	ユーザー [arg1] が新規暗号鍵ペアを生成し、TKLM クライアントの自己署名証明書をインストールしました。	情報
FQXSPDM4006I	ユーザー [arg1] が新規暗号鍵と TKLM クライアントの証明書署名要求を生成しました。	情報
FQXSPDM4007I	ユーザー [arg1] が [arg2] から TKLM クライアントの署名された証明書をインポートしました。	情報
FQXSPDM4008I	ユーザー [arg1] が TKLM サーバーのサーバー証明書をインポートしました。	情報
FQXSPDM4009I	ユーザー [arg1] が [arg4] からのファイル [arg3] を [arg2] しました。	情報
FQXSPDM4010I	[arg1] のインベントリ・データ収集および処理が完了しました。シーケンス番号は [arg2] です。	情報
FQXSPDM4011I	ユーザー [arg1] によって EKMS サーバー・プロトコルが設定されました: TKLMServerProtocol=[arg2]。	通知
FQXSPDM4012I	ユーザー [arg1] が鍵管理サーバーのポーリング構成を変更しました: ポーリング有効=[arg2] 間隔=[arg3]	通知
FQXSPDM4013I	ユーザー [arg1] が鍵管理サーバーのキャッシング構成を変更しました: キャッシング有効=[arg2] 間隔=[arg3]	通知
FQXSPEA2001I	センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。	通知
FQXSPEA2002I	センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。	情報
FQXSPEA2003I	PCIe デバイス [arg2] のポート [arg1] でリンク・アップが検出されました。	通知

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPeM0003I	ログ [RecordLogElementName] が消去されました。	情報
FQXSPeM0004I	ログ [RecordLogElementName] がフルです。	情報
FQXSPeM0005I	ログ [RecordLogElementName] がほとんどフルです。	通知
FQXSPeM0009I	システム [ComputerSystemElementName] がログ [RecordLogElement] に補助ログ項目を生成しました。	通知
FQXSPeM4000I	システム [arg2] の [arg1] がユーザー [arg3] によりクリアされました。	情報
FQXSPeM4001I	システム [arg2] の [arg1] は 75% 使用中です。	情報
FQXSPeM4002I	システム [arg2] の [arg1] は 100% 使用中です。	情報
FQXSPeM4003I	[arg3] によって LED の [arg1] 状態が [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPeM4004I	ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が有効にされました。	情報
FQXSPeM4005I	ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が無効にされました。	情報
FQXSPeM4006I	ユーザー [arg1] によってアラート構成のグローバル・イベント通知が設定されました。RetryLimit=[arg2]、RetryInterval=[arg3]、EntryInterval=[arg4] です。	情報
FQXSPeM4007I	アラート受信者番号 [arg1] が更新されました。Name=[arg2]、DeliveryMethod=[arg3]、Address=[arg4]、IncludeLog=[arg5]、Enabled=[arg6]、EnabledAlerts=[arg7]、AllowedFilters=[arg8] (IP アドレス [arg11] の [arg10] からユーザー [arg9] により) です。	通知
FQXSPeM4008I	ユーザー [arg1] によって SNMP トラップが有効にされました。EnabledAlerts=[arg2]、AllowedFilters=[arg3] です。	情報
FQXSPeM4009I	UEFI 定義が変更されました。	情報
FQXSPeM4010I	UEFI の報告: [arg1]。	情報
FQXSPeM4011I	XCC は、前のイベント [arg1] を記録しませんでした。	情報
FQXSPeM4012I	ユーザー [arg1] は、システム [arg2] を Encapsulation ライト・モードにしました。	情報
FQXSPeM4013I	RAID コントローラーによってバッテリー・エラーが検出されました。バッテリーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	情報
FQXSPeM4014I	RAID コントローラーはバッテリーに問題があります。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	情報
FQXSPeM4015I	RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出しました。コントローラーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	情報
FQXSPeM4016I	RAID コントローラーは、1 つ以上の問題を検出しました。追加のサポートが必要な場合は、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	情報
FQXSPeM4017I	RAID コントローラーは、サブシステム内に 1 つ以上の構成の変更が行われた可能性を検出しました。ドライブ LED のステータスを確認してください。必要の場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	通知

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPPEM4018I	1つ以上のユニットでエンクロージャー/シャーシの問題が検出されました。エンクロージャー/シャーシを確認して問題を修復してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	通知
FQXSPPEM4019I	エンクロージャー/シャーシで接続の問題が検出されました。ケーブル構成を確認して問題を修復してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	通知
FQXSPPEM4020I	エンクロージャー/シャーシでファンの問題が検出されました。エンクロージャー/シャーシのユニットのファンが正常に動作しているか確認してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	通知
FQXSPPEM4022I	エンクロージャー/シャーシのパワー・サプライに問題が発生しています。エンクロージャー/シャーシのパワー・サプライが正常に動作しているか確認してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	情報
FQXSPPEM4023I	1つ以上の仮想ドライブが異常な状態で、この状態が原因で仮想ドライブが使用できなくなる可能性があります。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライバーを交換してください。必要場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	情報
FQXSPPEM4024I	RAID コントローラーは、サブシステム内に1つ以上の構成の問題が発生した可能性を検出しました。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	情報
FQXSPPEM4025I	1つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	情報
FQXSPPEM4026I	RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	情報
FQXSPPEM4027I	RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	情報
FQXSPPEM4028I	[arg3] の PCIe デバイス [arg2] のポート [arg1] にリンク [arg4] があります。	情報
FQXSPPEM4029I	現行の CPU 装着に基づく、[arg1] のすべての PCIe スロットが機能しない場合があります。	情報
FQXSPPEM4030I	RAID コントローラーで予定されていた操作に問題が発生しました。詳細については、サーバー管理、ローカル・ストレージの RAID ログを参照してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	通知
FQXSPPEM4031I	SSD: 装着しきい値設定は IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により [arg1] から [arg2] に変更されました。	通知
FQXSPPEM4032I	音響モード [arg1] が作動しています。ファン速度制限が所定の位置にあります。	通知
FQXSPPEM4033I	音響モード [arg1] は解放され、十分に冷却されます。	通知

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPPEM4036I	ダスト・フィルター測定スケジュールが、IP アドレス [arg4] で [arg3] から ユーザー [arg2] によってサーバー [arg1] で構成されています。	通知
FQXSPPEM4037I	サーバー [arg1] でスケジュールされたダスト・フィルター測定を実行しています。	通知
FQXSPPEM4038I	ダスト・フィルター測定スケジュールが、IP アドレス [arg4] で [arg3] から ユーザー [arg2] によってサーバー [arg1] で無効化されました。	通知
FQXSPPEM4039I	IP アドレス [arg4] で [arg3] から ユーザー [arg2] によってサーバー [arg1] で即時ダスト・フィルター測定を実行しています。	通知
FQXSPPEM4041I	スロット [arg1] の SmartNIC でブート・タイムアウトが発生しました。	情報
FQXSPPEM4042I	スロット [arg1] の SmartNIC がクラッシュ・ダンプを通過しました。	通知
FQXSPPEM4044I	ダスト・フィルターが正常に測定されました。操作は不要です。	通知
FQXSPFC4000I	ベア・メタル接続プロセスが開始されました。	情報
FQXSPFC4001I	ベア・メタル更新アプリケーションがステータス [arg1] を報告しました。	情報
FQXSPFC4002I	システムがセットアップを実行中です。	情報
FQXSPFC4003I	UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextBoot のため有効になっています。	情報
FQXSPFC4004I	UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextAc のため有効になっています。	情報
FQXSPFC4005I	UEFI デプロイメント・ブート・モードは無効にされました。	通知
FQXSPFW0003I	システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの処理が発生しました。	通知
FQXSPIO0000I	コネクタ [PhysicalConnectorElementName] の存在または接続が検出されました。	通知
FQXSPIO0010I	バス [SensorElementName] で訂正可能なバス・エラーが発生しました。	情報
FQXSPIO0016I	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] を識別しています。	情報
FQXSPIO2001I	コネクタ [PhysicalConnectorElementName] の構成エラーが修復されました。	通知
FQXSPIO2003I	システム [ComputerSystemElementName] が診断割り込みからリカバリーしました。	情報
FQXSPIO2004I	バス [SensorElementName] がバス・タイムアウトからリカバリーしました。	通知
FQXSPIO2006I	システム [ComputerSystemElementName] が NMI からリカバリーしました。	情報
FQXSPIO2007I	システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR リカバリーが発生しました。	情報
FQXSPIO2008I	システム [ComputerSystemElementName] の PCI SERR の解消が検出されました。	通知

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPIO2010I	バス [SensorElementName] が訂正可能なバス・エラーからリカバリーしました。	情報
FQXSPIO4003I	IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によって PCIe スイッチが通常モードに変更されました。	通知
FQXSPIO4004I	IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によって PCIe スイッチが更新可能モードに変更されました。	通知
FQXSPMA0022I	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] のポスト・パッケージの修復が成功しました。	情報
FQXSPMA0025I	センサー [SensorElementName] が表明されました。	通知
FQXSPMA2001I	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で検出され、訂正されたエラーは、検出されませんでした。	通知
FQXSPMA2007I	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。	通知
FQXSPMA2010I	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。	情報
FQXSPMA2012I	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。	通知
FQXSPMA2024I	センサー [SensorElementName] が表明解除されました。	情報
FQXSPNM4000I	管理コントローラー [arg1] でネットワークの初期化が完了しました。	情報
FQXSPNM4001I	ユーザー [arg3] によってイーサネット・データ転送速度が [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4002I	ユーザー [arg3] によってイーサネット二重化設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4003I	ユーザー [arg3] によってイーサネット MTU 設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4004I	ユーザー [arg3] によってイーサネットのローカル管理 MAC アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4005I	ユーザー [arg2] によるイーサネット・インターフェース [arg1]。	情報
FQXSPNM4006I	ユーザー [arg2] によってホスト名が [arg1] に変更されました。	情報
FQXSPNM4007I	ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4008I	ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP サブネット・マスクが [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4009I	ユーザー [arg3] によってデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4011I	ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2]、DN=[arg3]、IP@=[arg4]、SN=[arg5]、GW@=[arg6]、DNS1@=[arg7] .	情報
FQXSPNM4012I	ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2]、IP@=[arg3]、NetMsk=[arg4]、GW@=[arg5].	情報
FQXSPNM4013I	LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースはアクティブではなくなりました。	情報

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPNM4014I	LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースがアクティブになりました。	情報
FQXSPNM4015I	ユーザー [arg2] によって DHCP 設定が [arg1] に変更されました。	情報
FQXSPNM4016I	ユーザー [arg2] によってドメイン名が [arg1] に設定されました。	情報
FQXSPNM4017I	ユーザー [arg2] によってドメイン・ソースが [arg1] に変更されました。	情報
FQXSPNM4018I	ユーザー [arg2] によって DDNS 設定が [arg1] に変更されました。	情報
FQXSPNM4019I	DDNS の登録が正常に完了しました。ドメイン名は [arg1] です。	情報
FQXSPNM4020I	ユーザー [arg1] によって IPv6 が有効にされました。	情報
FQXSPNM4021I	ユーザー [arg1] によって IPv6 が無効にされました。	情報
FQXSPNM4022I	ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が有効にされました。	情報
FQXSPNM4023I	ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が有効化されました。	情報
FQXSPNM4024I	ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が有効化されました。	情報
FQXSPNM4025I	ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が無効化されました。	情報
FQXSPNM4026I	ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が無効化されました。	情報
FQXSPNM4027I	ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が無効化されました。	情報
FQXSPNM4028I	ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2]、IP@=[arg3]、Pref=[arg4]	情報
FQXSPNM4029I	ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2]、IP@=[arg3]、Pref=[arg4]、GW@=[arg5]。	情報
FQXSPNM4030I	ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2]、DN=[arg3]、IP@=[arg4]、Pref=[arg5]、DNS1@=[arg5] です。	情報
FQXSPNM4031I	ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IPv6 静的アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4033I	ユーザー [arg3] によって Telnet ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4034I	ユーザー [arg3] によって SSH ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4035I	ユーザー [arg3] によって Web-HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4036I	ユーザー [arg3] によって Web-HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4037I	ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4038I	ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4039I	ユーザー [arg3] によって SNMP エージェント・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPNM4040I	ユーザー [arg3] によって SNMP トラップのポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4041I	ユーザー [arg3] によって Syslog ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4042I	ユーザー [arg3] によってリモート・プレゼンス・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPNM4043I	ユーザー [arg1] によって SMTP サーバーが [arg2]: [arg3] に設定されました。	情報
FQXSPNM4044I	ユーザー [arg2] による Telnet [arg1] です。	情報
FQXSPNM4045I	ユーザー [arg1] によって DNS サーバーが設定されました。UseAdditionalServers=[arg2]、PreferredDNStype=[arg3]、IPv4Server1=[arg4]、IPv4Server2=[arg5]、IPv4Server3=[arg6]、IPv6Server1=[arg7]、IPv6Server2=[arg8]、IPv6Server3=[arg9] です。	情報
FQXSPNM4046I	ユーザー [arg2] による LAN over USB [arg1] です。	情報
FQXSPNM4047I	ユーザー [arg1] によって LAN over USB ポート転送設定が設定されました。ExternalPort=[arg2]、USB-LAN port=[arg3] です。	情報
FQXSPNM4048I	ユーザー [arg1] によって PXE ブートが要求されました。	情報
FQXSPNM4049I	ユーザー [arg1] がサーバー [arg2] との接続性を確認するために TKLM サーバー接続テストを開始しました。	情報
FQXSPNM4050I	ユーザー [arg1] が SMTP サーバー接続テストを開始しました。	情報
FQXSPNM4051I	ユーザー [arg1] が SMTP サーバーのリバースパスを [arg2] に設定しました。	情報
FQXSPNM4052I	ユーザー [arg2] によって DHCP の指定ホスト名が [arg1] に設定されました。	情報
FQXSPNM4053I	ユーザー [arg2] によって Lenovo XClarity Administrator の DNS 検出が [arg1] にされました。	情報
FQXSPNM4054I	ユーザー [arg2] によって DHCP のホスト名が [arg1] に設定されます。	情報
FQXSPNM4055I	DHCP からのホスト名が無効です。	情報
FQXSPNM4056I	NTP サーバー・アドレス [arg1] が無効です。	情報
FQXSPNM4057I	セキュリティ: IP アドレス: [arg1] へのログインに [arg2] 回失敗しました。[arg3] 分間はアクセスがブロックされます。	情報
FQXSPNM4058I	ユーザー [arg4] によってネットワーク・インターフェース [arg1] の IP アドレスが [arg2] から [arg3] に変更されました。	通知
FQXSPNM4059I	ユーザー [arg4] によってネットワーク・インターフェース [arg1] の IP サブネット・マスクが [arg2] から [arg3] に変更されました。	通知
FQXSPNM4060I	ユーザー [arg4] によってネットワーク・インターフェース [arg1] のデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg2] から [arg3] に変更されました。	通知
FQXSPNM4061I	Wi-Fi インターフェースは IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] による [arg1] です。	通知
FQXSPNM4062I	ユーザー [arg3] によって Wi-Fi の IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。	通知

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPNM4063I	ユーザー [arg3] によって Wi-Fi インターフェースの IP サブネット・マスクが [arg1] から [arg2] に変更されました。	通知
FQXSPNM4064I	ユーザー [arg3] によって Wi-Fi インターフェースのデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。	通知
FQXSPNM4065I	IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によって Wi-Fi インターフェースの国別コードが [arg1] に変更されました。	通知
FQXSPOS4000I	[arg2] によって OS ウォッチドッグ応答が [arg1] になりました。	情報
FQXSPOS4001I	ウォッチドッグ [arg1] のスクリーン・キャプチャーが発生しました。	情報
FQXSPOS4004I	オペレーティング・システムのステータスが [arg1] に変更されました。	情報
FQXSPOS4005I	ホスト始動パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] により変更されました。	情報
FQXSPOS4006I	ホスト始動パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によりクリアされました。	情報
FQXSPOS4007I	ホスト管理パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] により変更されました。	情報
FQXSPOS4008I	ホスト管理パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によりクリアされました。	情報
FQXSPOS4009I	OS クラッシュ・ビデオがキャプチャーされました。	情報
FQXSPOS4011I	ハードウェア・エラーが発生した OS 障害のスクリーン・キャプチャーがユーザー [arg2] により IP アドレス [arg4] で [arg3] から [arg1] になりました。	情報
FQXSPOS4012I	POST ウォッチドッグ・スクリーン・キャプチャーが発生しました。	情報
FQXSPPP4000I	ユーザー [arg3] がサーバー [arg2] を [arg1] にしようとしています。	情報
FQXSPPP4001I	ユーザー [arg2] によってサーバーの電源オフ遅延が [arg1] に設定されました。	情報
FQXSPPP4002I	ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が [arg2] 日の [arg3] 時にスケジュールされました。	情報
FQXSPPP4003I	ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が毎週 [arg2] の [arg3] 時にスケジュールされました。	情報
FQXSPPP4004I	ユーザー [arg3] によってサーバーの [arg1] [arg2] がクリアされました。	情報
FQXSPPP4005I	ユーザー [arg3] によって電源キャップ値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。	情報
FQXSPPP4006I	電源キャップの最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。	情報
FQXSPPP4007I	電源キャップの最大値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。	情報
FQXSPPP4008I	電源キャップ値のソフト最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。	情報
FQXSPPP4011I	ユーザー [arg1] によって電源キャップがアクティブ化されました。	情報

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPPP4012I	ユーザー [arg1] によって電源キャップが非アクティブ化されました。	情報
FQXSPPP4013I	ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオンにされました。	情報
FQXSPPP4014I	ユーザー [arg1] によって静的電源節減モードがオフにされました。	情報
FQXSPPP4015I	ユーザー [arg1] によって動的電源節減モードがオンにされました。	情報
FQXSPPP4016I	ユーザー [arg1] によって動的電源節減モードがオフにされました。	情報
FQXSPPP4017I	電源キャップ・スロットルと外部スロットルが発生しました。	情報
FQXSPPP4018I	外部スロットルが発生しました。	情報
FQXSPPP4019I	電源キャップ・スロットルが発生しました。	情報
FQXSPPP4020I	計測された電源値が電源キャップ値を下回りました。	情報
FQXSPPP4021I	新規最小電源キャップ値が電源キャップ値を下回りました。	情報
FQXSPPP4022I	サーバーが不明の理由で再起動されました。	情報
FQXSPPP4023I	サーバーがシャース制御コマンドによって再起動されました。	情報
FQXSPPP4024I	プッシュボタンを介してサーバーがリセットされました。	情報
FQXSPPP4025I	電源プッシュボタンを介してサーバーに電源が入りました。	情報
FQXSPPP4026I	ウォッチドッグが満了したときにサーバーが再起動されました。	情報
FQXSPPP4027I	サーバーが OEM の理由で再起動されました。	情報
FQXSPPP4028I	電源復元ポリシーが常にオンになるように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。	情報
FQXSPPP4029I	電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。	情報
FQXSPPP4030I	サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介してリセットされました。	情報
FQXSPPP4031I	プラットフォーム・イベント・フィルターを介してサーバーの電源サイクルが実行されました。	情報
FQXSPPP4032I	サーバーがソフト・リセットされました。	情報
FQXSPPP4033I	リアルタイム・クロックを介してサーバーの電源が入りました (スケジュール電源投入)。	情報
FQXSPPP4034I	サーバーが不明の理由で電源オフされました。	情報
FQXSPPP4035I	サーバーがシャース制御コマンドによって電源オフされました。	情報
FQXSPPP4036I	サーバーの電源がプッシュボタンを介してオフになりました。	情報
FQXSPPP4037I	ウォッチドッグが満了したときにサーバーが電源オフされました。	情報
FQXSPPP4038I	電源復元ポリシーが常にオフに設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。	情報
FQXSPPP4039I	電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。	情報
FQXSPPP4040I	サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介して電源オフされました。	情報

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPPP4041I	リアルタイム・クロックを介してサーバーが電源オフされました (スケジュールされた電源オフ)。	情報
FQXSPPP4042I	電源オン・リセットによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。	情報
FQXSPPP4043I	PRESET によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。	情報
FQXSPPP4044I	CMM によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。	情報
FQXSPPP4045I	XCC ファームウェアによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。	情報
FQXSPPP4046I	リモート電源の権限は [arg1] です。	情報
FQXSPPP4047I	ユーザー [arg2] によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。	情報
FQXSPPP4048I	ユーザー [arg2] がサーバー [arg1] を AC 電源サイクルにしようとしています。	情報
FQXSPPP4049I	前面パネルによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。	情報
FQXSPPP4050I	PFR ファームウェアをアクティブにするために管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。	通知
FQXSPPP4051I	スロット [arg1] のプログラム可能な GPU 合計電源キャッピング値は IP アドレス [arg5] でユーザー [arg3] により [arg4] から [arg2] ワットに変更されました。	通知
FQXSPPP4052I	スロット [arg1] のプログラム可能な GPU ピーク電源キャッピング値は IP アドレス [arg5] でユーザー [arg3] により [arg4] から [arg2] ワットに変更されました。	通知
FQXSPPP4053I	このメッセージは予約済みです。	通知
FQXSPPP4054I	不均衡な PSU 構成が検出されました。システムのノード PSU 容量の使用が少なくなっています。	情報
FQXSPPU2001I	[ProcessorElementName] で過熱状態が取り除かれました。	情報
FQXSPPU2002I	プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。	通知
FQXSPPW0001I	[PowerSupplyElementName] がコンテナー [PhysicalPackageElementName] に追加されました。	通知
FQXSPPW0005I	[PowerSupplyElementName] が範囲外の入力状態で動作しています。	通知
FQXSPPW0008I	[SensorElementName] が電源オフになっています。	通知
FQXSPPW0009I	[PowerSupplyElementName] の電源が入れ直されました。	通知
FQXSPPW2001I	[PowerSupplyElementName] がコンテナー [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。	通知
FQXSPPW2002I	[PowerSupplyElementName] が OK 状態に戻りました。	通知
FQXSPPW2003I	[PowerSupplyElementName] で予知される障害はなくなりました。	通知
FQXSPPW2006I	[PowerSupplyElementName] が正常入力状態に戻りました。	通知

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPPW2007I	[PowerSupplyElementName] の構成は正常です。	情報
FQXSPPW2008I	[PowerSupplyElementName] が電源オンになっています。	通知
FQXSPPW2018I	[PowerSupplyElementName] 範囲外が正常入力状態に戻りました。	通知
FQXSPPW2031I	数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。	通知
FQXSPPW2035I	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。	通知
FQXSPPW2057I	センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。	通知
FQXSPPW2059I	センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。	通知
FQXSPPW2061I	センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。	情報
FQXSPPW2063I	センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。	通知
FQXSPPW2101I	[RedundancySetElementName] の冗長性低下の解消が検出されました。	通知
FQXSPPW2104I	[RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」の解消が検出されました。	通知
FQXSPPW2110I	[RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が表明解除されました。	通知
FQXSPPW4001I	PCIe 電源ブレーキ [arg1] が [arg2] になりました。	通知
FQXSPPW4003I	カスタマイズされた合計グラフィックス電源は、事前構成された限度内です。	通知
FQXSPSD0000I	[StorageVolumeElementName] が追加されました。	通知
FQXSPSD0001I	エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内の [StorageVolumeElementName] ドライブ [arg1] が追加されました。	通知
FQXSPSD0003I	[ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。	通知
FQXSPSD0005I	エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] でホット・スペアが有効になっています。	通知
FQXSPSD0007I	システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。	通知
FQXSPSD0008I	エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイの再構築が進行中です。	通知
FQXSPSD2000I	[StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。	通知
FQXSPSD2001I	[StorageVolumeElementName] が障害からリカバリーしました。	通知
FQXSPSD2002I	[StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。	通知
FQXSPSD2003I	[ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。	通知

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPSD2005I	重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。	通知
FQXSPSD2006I	システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。	通知
FQXSPSD2007I	システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。	通知
FQXSPSD2008I	エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] が障害からリカバリーしました。	通知
FQXSPSD2010I	エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] が削除されました。	通知
FQXSPSD2011I	エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で障害が予知されなくなりました。	通知
FQXSPSD2012I	エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] でホット・スペアが無効になっています。	通知
FQXSPSD2013I	エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイのクリティカルな状態が表明解除されました。	通知
FQXSPSD2014I	エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイが復元されました。	通知
FQXSPSD2015I	エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイの再構築が完了しました。	通知
FQXSPSE2000I	シャーシ [PhysicalPackageElementName] が閉じられました。	通知
FQXSPSE2010I	システム・ガードが準拠状態に変更されました。	情報
FQXSPSE4001I	リモート・ログインに成功しました。IP アドレス [arg4] の [arg3] からの [arg2] を使用したログイン ID: [arg1] です。	情報
FQXSPSE4002I	セキュリティ: Userid: [arg2] を使用する [arg1] は IP アドレス [arg4] の WEB クライアントから [arg3] 回ログインを失敗しました。	情報
FQXSPSE4003I	セキュリティ: ログイン ID: [arg1] によって [arg3] の CLI から [arg2] 回のログイン障害が発生しました。	情報
FQXSPSE4004I	リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の Web ブラウザーからの Userid は [arg1] です。	情報
FQXSPSE4005I	リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の TELNET クライアントからの Userid は [arg1] です。	情報
FQXSPSE4007I	セキュリティ: Userid: [arg2] を使用する [arg1] は IP アドレス [arg4] の SSH クライアントから [arg3] 回ログインを失敗しました。	情報
FQXSPSE4008I	ユーザー [arg2] によって SNMPv1 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、AccessType=[arg4]、Address=[arg5] です。	情報
FQXSPSE4009I	ユーザー [arg1] によって LDAP サーバー構成が設定されました。SelectionMethod=[arg2]、DomainName=[arg3]、Server1=[arg4]、Server2=[arg5]、Server3=[arg6]、Server4=[arg7] です。	情報

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPSE4010I	ユーザー [arg1] によって LDAP が設定されました。 RootDN=[arg2]、UIDSearchAttribute=[arg3]、BindingMethod=[arg4]、 EnhancedRBS=[arg5]、TargetName=[arg6]、GroupFilter=[arg7]、 GroupAttribute=[arg8]、LoginAttribute=[arg9] です。	情報
FQXSPSE4011I	ユーザー [arg2] によるセキュア Web サービス (HTTPS) [arg1] です。	情報
FQXSPSE4012I	ユーザー [arg2] によるセキュアな CIM/XML(HTTPS) [arg1] です。	情報
FQXSPSE4013I	ユーザー [arg2] によるセキュア LDAP [arg1] です。	情報
FQXSPSE4014I	ユーザー [arg2] による SSH [arg1] です。	情報
FQXSPSE4015I	ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインの一般設定が設定 されました。AuthenticationMethod=[arg2]、LockoutPeriod=[arg3]、 SessionTimeout=[arg4] です。	情報
FQXSPSE4016I	ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインの アカウント・セキュリティが設定されました。 PasswordRequired=[arg2]、PasswordExpirationPeriod=[arg3]、 MinimumPasswordReuseCycle=[arg4]、 MinimumPasswordLength=[arg5]、 MinimumPasswordChangeInterval=[arg6]、 MaximumLoginFailures=[arg7]、LockoutAfterMaxFailures=[arg8] です。	情報
FQXSPSE4017I	ユーザー [arg1] が作成されました。	情報
FQXSPSE4018I	ユーザー [arg1] が削除されました。	情報
FQXSPSE4019I	ユーザー [arg1] のパスワードが変更されました。	情報
FQXSPSE4020I	ユーザー [arg1] の役割が [arg2] に設定されました。	情報
FQXSPSE4021I	ユーザー [arg1] のカスタム特権が設定されました。 [arg2][arg3][arg4][arg5][arg6][arg7][arg8][arg9] です。	通知
FQXSPSE4022I	SNMPv3 セットにおけるユーザー [arg1]: AuthenticationProtocol=[arg2]、PrivacyProtocol=[arg3]、 AccessType=[arg4]、HostforTraps=[arg5] (IP アドレス [arg8] の [arg7] からユーザー [arg6] による)。	通知
FQXSPSE4023I	IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] 用に SSH クライアント・キーが追加されました。	情報
FQXSPSE4024I	IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により、ユーザー [arg1] 用に SSH クライアント・キーが [arg2] からインポートされま した。	情報
FQXSPSE4025I	IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] から SSH クライアント・キーが削除されました。	通知
FQXSPSE4026I	セキュリティ: ユーザー ID: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の CIM クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。	情報
FQXSPSE4027I	リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid また はパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の CIM クライアント の Userid は [arg1] です。	情報
FQXSPSE4028I	セキュリティ: Userid: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の IPMI ク ライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。	情報
FQXSPSE4029I	セキュリティ: Userid: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の SNMP クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。	情報

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPSE4030I	セキュリティ: Userid: [arg1] によって IPMI シリアル・クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。	情報
FQXSPSE4031I	リモート・ログインに成功しました。[arg2] シリアル・インターフェースからのログイン ID: [arg1] です。	情報
FQXSPSE4032I	IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] がログオフしました。	情報
FQXSPSE4033I	IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] はログオフしています。	情報
FQXSPSE4034I	ユーザー [arg1] が証明書を削除しました。	情報
FQXSPSE4035I	証明書が取り消されました。	情報
FQXSPSE4036I	[arg1] 証明書は有効期限切れで削除されました。	情報
FQXSPSE4037I	ユーザー [arg3] によって暗号モードが [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPSE4038I	ユーザー [arg3] によって最小 TLS レベルが [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPSE4039I	一時ユーザー・アカウント [arg1] がインバンド・ツールにより作成されました。	情報
FQXSPSE4040I	一時ユーザー・アカウント [arg1] の有効期限が切れました。	情報
FQXSPSE4041I	セキュリティ: Userid: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の SFTP クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。	通知
FQXSPSE4042I	IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によるサード・パーティー・パスワード関数 [arg1] です。	情報
FQXSPSE4043I	IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりサード・パーティー・パスワード [arg1] を取得しています。	情報
FQXSPSE4044I	IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] によりユーザー [arg1] のサード・パーティー・ハッシュ・パスワードが [arg2] されました。	情報
FQXSPSE4045I	IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] によりユーザー [arg1] サード・パーティー・パスワードの Salt が [arg2] されました。	情報
FQXSPSE4046I	IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] のサード・パーティー・パスワードが取得されました。	情報
FQXSPSE4047I	役割 [arg1] は [arg2] であり、ユーザー [arg12] によりカスタム権限 [arg3][arg4][arg5][arg6][arg7][arg8][arg9][arg10][arg11] が割り当てられました。	情報
FQXSPSE4048I	役割 [arg1] がユーザー [arg2] により削除されました。	情報
FQXSPSE4049I	役割 [arg1] がユーザー [arg3] によりユーザー [arg2] に割り当てられました。	情報
FQXSPSE4050I	[arg1] が [arg2] から IPMI コマンドを送信しました。生データ: [arg3] [arg4] [arg5]。	情報
FQXSPSE4051I	IP アドレス [arg4] のユーザー [arg3] により管理コントローラー [arg1] がネイバー・グループ [arg2] に参加しました。	通知
FQXSPSE4052I	IP アドレス [arg4] の [arg2] [arg3] によりネイバー・グループ [arg1] のパスワードが変更されました。	通知

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPSE4053I	IP アドレス [arg4] のユーザー [arg3] により管理コントローラー [arg1] がネイバー・グループ [arg2] を離れました。	通知
FQXSPSE4054I	IP アドレス [arg3] のユーザー [arg2] により IPMI SEL ラッピング・モードが [arg1] になっています。	通知
FQXSPSE4055I	IP アドレス [arg2] のユーザー [arg1] により SED 暗号化が有効になっています。	通知
FQXSPSE4056I	IP アドレス [arg3] のユーザー [arg2] により SED AK が [arg1] になっています。	通知
FQXSPSE4057I	IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] が作成されました。	情報
FQXSPSE4058I	IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] が削除されました。	情報
FQXSPSE4059I	IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] のパスワードが変更されました。	情報
FQXSPSE4060I	IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] によりユーザー [arg1] の役割が [arg2] に設定されました。	通知
FQXSPSE4061I	ユーザー [arg1] のカスタム権限セット: IP アドレス [arg12] の [arg11] からのユーザー [arg10] による [arg2][arg3][arg4][arg5][arg6][arg7][arg8][arg9]。	通知
FQXSPSE4062I	IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によりシステム・ガードのスナップショットがキャプチャーされました。	情報
FQXSPSE4063I	システム・ガードの構成が IP アドレス [arg6] の [arg5] からユーザー [arg4] により更新されました。ステータス=[arg1]、ハードウェア・インベントリー=[arg2] およびアクション=[arg3] です。	情報
FQXSPSE4064I	SNMPv3 エンジン ID は IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPSE4065I	IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] による SFTP [arg1]	情報
FQXSPSE4066I	IP アドレス [arg5] の [arg4] からのユーザー [arg3] によって、セキュリティ・モードが [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPSE4067I	ユーザー [arg1] のアクセス可能インターフェースが IP アドレス [arg9] の [arg8] からのユーザー [arg7] によって [arg2][arg3][arg4][arg5][arg6] に設定されました。	通知
FQXSPSE4068I	セキュリティ: Userid: [arg2] を使用する [arg1] は IP アドレス [arg4] の Redfish クライアントから [arg3] 回ログインを失敗しました。	情報
FQXSPSE4069I	ユーザー [arg1] が設定した LDAP: RootDN=[arg2]、UIDSearchAttribute=[arg3]、BindingMethod=[arg4]、TargetName=[arg5]、GroupFilter=[arg6]、GroupAttribute=[arg7]、LoginAttribute=[arg8]。	通知
FQXSPSE4070I	ロックダウン・モードは、IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] により [arg1] です。	通知
FQXSPSE4071I	シャシ侵入検出は、IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] により [arg1] です。	通知

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPSE4072I	ランダム SED AK は、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] により再生成されています。	通知
FQXSPSE4073I	動作検出は、IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] により [arg1] です。	通知
FQXSPSE4074I	XCC2 Platinum アップグレード・キーの有効期限が切れた、または削除されたため、セキュリティ・モードがダウングレードされます。	通知
FQXSPSE4075I	IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によって、KCS による [arg1] のセキュア・ブートが有効にされました。	通知
FQXSPSE4076I	IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によって、KCS による [arg1] のセキュア・ブートが無効にされました。	通知
FQXSPSE4077I	前面パネルのBluetooth ボタンは、IP アドレス [arg5] のユーザー [arg4] から [arg3] によるサーバー [arg2] の [arg1] です。	通知
FQXSPSE4078I	Bluetooth は、前面パネルの Bluetooth ボタンを押すことで、[arg1] になりました。	通知
FQXSPSE4079I	IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によるリモート・コンソール・アクセス許可を含むオペレーター・ロールが [arg1] です。	情報
FQXSPSE4080I	ユーザー [arg1] が IP アドレス [arg4] の [arg2] から CMOS をクリアしました。	通知
FQXSPSE4081I	BMC: UEFI は、SED ドライブの UEFI に有効なローカル・キャッシュ・キーを返します。	通知
FQXSPSE4082I	リモート鍵管理サーバーにアクセスできません。	通知
FQXSPSE4083I	ローカル・キャッシュ・キーの有効期限が切れ、破棄されました。	情報
FQXSPSE4084I	リモート鍵管理サーバーへの定期的な接続に成功しました。	情報
FQXSPSE4085I	リモート鍵管理サーバーへの定期的な接続に失敗しました。	通知
FQXSPSE4088I	シャーシ・ケアテイカー・ノード ID が [arg1] から [arg2] に変更されました。	通知
FQXSPSE4089I	ノード ID [arg1] のシャーシ・ノードが挿入されました。	通知
FQXSPSE4090I	ノード ID [arg1] のシャーシ・ノードが削除されました。	通知
FQXSPSE4091I	ユーザー [arg2] によって SNMPv2 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、AccessType=[arg4]、Address=[arg5] です。	通知
FQXSPSE4092I	ユーザー [arg2] によって SNMPv1 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、AccessType=[arg4] です。	通知
FQXSPSE4093I	SNMPv1 [arg1] がユーザー [arg2] によって設定されています。アドレス=[arg3] です。	通知
FQXSPSE4094I	ユーザー [arg2] によって SNMPv2 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、AccessType=[arg4] です。	通知
FQXSPSE4095I	SNMPv2 [arg1] がユーザー [arg2] によって設定されています。アドレス=[arg3] です。	通知
FQXSPSR2001I	センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリ不能な状態への遷移を表明解除しました。	情報

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPSS4000I	[arg1] によって管理コントローラーのテスト・アラートが生成されました。	情報
FQXSPSS4001I	ユーザー [arg1] によってサーバー全般設定が設定されました。 Name=[arg2]、Contact=[arg3]、Location=[arg4]、Room=[arg5]、 RackID=[arg6]、Rack U-position=[arg7]、Address=[arg8] です。	情報
FQXSPSS4002I	ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが追加されました。	情報
FQXSPSS4003I	ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが削除されました。	情報
FQXSPSS4004I	ユーザー [arg1] によって、テスト用のコールホームが生成されました。	情報
FQXSPSS4005I	ユーザー [arg1] による手動コールホーム: [arg2]。	情報
FQXSPSS4006I	[arg1] へのコール・ホームを完了できませんでした。[arg2] です。	情報
FQXSPSS4007I	BMC 機能層は [arg1] から [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPSS4008I	ユーザー [arg3] によって [arg1] 設定が [arg2] に変更されました。	情報
FQXSPSS4009I	システムは LXPM 保守モードになります。	情報
FQXSPSS4010I	ユーザー [arg1] によって、テスト用の監査ログが生成されました。	通知
FQXSPSS4011I	ファン速度ブースト設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。	通知
FQXSPTR4000I	管理コントローラー [arg1] の時計が NTP サーバー [arg2] から設定されています。	情報
FQXSPTR4001I	ユーザー [arg1] によって日付と時刻が設定されました。Date=[arg2]、 Time=[arg3]、DST Auto-adjust=[arg4]、Timezone=[arg5] です。	情報
FQXSPTR4002I	ユーザー [arg1] によって同期時刻が設定されました。 Mode=NTP サーバーとの同期、NTPServerHost1=[arg2]:[arg3]、 NTPServerHost2=[arg4]:[arg5]、NTPServerHost3=[arg6]:[arg7]、 NTPServerHost4=[arg8]:[arg9]、NTPUpdateFrequency=[arg10] です。	情報
FQXSPTR4003I	ユーザー [arg1] による同期時刻設定: Mode=サーバー・クロックとの同期です。	通知
FQXSPUN0017I	センサー [SensorElementName] が正常な状態に遷移しました。	通知
FQXSPUN0026I	デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。	通知
FQXSPUN2009I	センサー [SensorElementName] が表明解除されました。	通知
FQXSPUN2012I	センサー [SensorElementName] が表明解除されました。	通知
FQXSPUN2018I	センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。	通知
FQXSPUN2019I	センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。	通知
FQXSPUN2023I	センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。	情報
FQXSPUN2049I	PCI スロット [arg1] の RAID コントローラーが警告状況ではありませんでした。	情報
FQXSPUN2058I	すべての SSD の残量は、しきい値 [arg1] を超えています。	通知

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPUP0002I	システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアまたはソフトウェアの変更が発生しました。	通知
FQXSPUP4001I	ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに成功しました。	情報
FQXSPUP4002I	ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに失敗しました。	通知
FQXSPUP4006I	プライマリー XCC のバックアップへの自動プロモーションは IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によって [arg1] になっています。	情報
FQXSPUP4007I	XCC SPI フラッシュへの違反アクセスが検出および分離されました。	情報
FQXSPUP4008I	UEFI SPI フラッシュへの違反アクセスが検出および分離されました。	通知
FQXSPUP4010I	ユーザー [arg4] が [arg3] からの [arg2] の [arg1] のフラッシュに成功しました。	通知
FQXSPUP4011I	ユーザー [arg4] が [arg3] からの [arg2] の [arg1] のフラッシュに失敗しました。	通知
FQXSPWD0000I	[WatchdogElementName] のウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。	情報
FQXSPWD0001I	ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] のリブートが開始されました。	情報
FQXSPWD0002I	ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源オフが開始されました。	情報
FQXSPWD0003I	ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源サイクルが開始されました。	情報
FQXSPWD0004I	[WatchdogElementName] でウォッチドッグ・タイマーの割り込みが発生しました。	情報
FQXSPBR4001I	バックアップ管理コントローラー [arg1] のメイン・アプリケーションを実行中です。	警告
FQXSPCA0007J	数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。	警告
FQXSPCA0015J	センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。	警告
FQXSPDM4002I	デバイス [arg1] の VPD が無効です。	警告
FQXSPEA0001J	センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。	警告
FQXSPEA0003J	PCIe デバイス [arg2] のポート [arg1] でリンク・ダウンが検出されました。	警告
FQXSPDM4040I	ダスト・フィルターの測定が完了しました。通気経路に障害が発生しました。ダスト・フィルターを確認して交換するか、障害物を取り除いてください。	警告
FQXSPDM4043I	[arg1] 障害が検出され、回復するには [arg2] が必要です。	警告
FQXSPIO0014J	バス [SensorElementName] が機能低下状態で動作しています。	警告
FQXSPIO2000J	コネクタ [PhysicalConnectorElementName] が切断されています。	警告

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPMA0001I	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でエラーが検出され訂正されました。	警告
FQXSPMA0010J	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。	警告
FQXSPMA0011G	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	警告
FQXSPMA0024G	センサー [SensorElementName] が表明されました。	警告
FQXSPMA0034G	DIMM [arg1] のヘルスが警告状態で、サブ状態が [arg2] です。	警告
FQXSPNM4010I	DHCP [[arg1]] でエラーがありました。IP アドレスが割り当てられていません。	警告
FQXSPNM4032I	DHCPv6 エラーです。IP アドレスが割り当てられていません。	警告
FQXSPPP4009I	計測電力値が電源キャップ値を超えました。	警告
FQXSPPP4010I	新規の電源キャップの最小値が電源キャップ値を超えました。	警告
FQXSPPU0010G	プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態で [ProcessorElementName] により動作しています。	警告
FQXSPPU0013G	[ProcessorElementName] で訂正可能エラーが発生しました。	警告
FQXSPPW0003G	[PowerSupplyElementName] で障害が予知されました。	警告
FQXSPPW0006I	[PowerSupplyElementName] の入力が失われました。	警告
FQXSPPW0031J	数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。	警告
FQXSPPW0057J	センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。	警告
FQXSPPW0059J	センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。	警告
FQXSPPW0101J	[RedundancySetElementName] の冗長性低下が検出されました。	警告
FQXSPPW0104J	[RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なりソース」が検出されました。	警告
FQXSPPW4002I	グラフィックス電源の合計値が事前構成された上限を超えました。	警告
FQXSPSD0002G	[StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	警告
FQXSPSD0003G	エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] の障害が予知されました。	警告
FQXSPSE0000F	シャーシ [PhysicalPackageElementName] が開かれました。	警告
FQXSPSE0010J	システム・ガードがインベントリとトラステッド・スナップショットとの不一致を検出しました。	警告
FQXSPSE4006I	XCC が管理コントローラー [arg1] で無効な SSL 証明書を検出しました。	警告
FQXSPUN0009G	センサー [SensorElementName] が表明されました。	警告
FQXSPUN0018J	センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。	警告

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPUN0058J	[arg1] の残量は、しきい値 [arg2] より低いです。	警告
FQXSPUN0059J	センサー [SensorElementName] が正常な状態から警告状態に遷移しました。	警告
FQXSPUN0060G	センサー [SensorElementName] が表明されました。	警告
FQXSPBR4003I	[arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。	エラー
FQXSPBR4007I	管理コントローラー [arg1]: IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元を完了できませんでした。	エラー
FQXSPBR4008I	管理コントローラー [arg1]: IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元を開始できませんでした。	エラー
FQXSPCA0002M	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。	エラー
FQXSPCA0009M	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。	エラー
FQXSPCA0011N	数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。	エラー
FQXSPCA0017M	センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。	エラー
FQXSPCA0019N	センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。	エラー
FQXSPEA0002M	センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。	エラー
FQXSPFW0000N	システム [ComputerSystemElementName] で POST エラーが発生しました。	エラー
FQXSPFW0002N	システム [ComputerSystemElementName] でファームウェア・ハングが発生しました。	エラー
FQXSPIO0001L	コネクタ [PhysicalConnectorElementName] で構成エラーが発生しました。	エラー
FQXSPIO0004L	バス [SensorElementName] でバス・タイムアウトが発生しました。	エラー
FQXSPIO0006N	システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェア NMI が発生しました。	エラー
FQXSPIO0007N	システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR が発生しました。	エラー
FQXSPIO0008N	システム [ComputerSystemElementName] で PCI SERR が発生しました。	エラー
FQXSPIO0011N	[SensorElementName] で訂正不能エラーが発生しました。	エラー
FQXSPIO0013N	バス [SensorElementName] で致命的なバス・エラーが発生しました。	エラー
FQXSPIO0015M	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	エラー

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPMA0002N	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。	エラー
FQXSPMA0006N	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でパリティ・エラーが発生しました。	エラー
FQXSPMA0007L	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。	エラー
FQXSPMA0008N	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。	エラー
FQXSPMA0012M	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。	エラー
FQXSPMA4035M	DIMM [arg1] のヘルスがエラー状態で、サブ状態が [arg2] です。	エラー
FQXSPPOS4002I	ウォッチドッグ [arg1] がスクリーン・キャプチャーに失敗しました。	エラー
FQXSPPOS4003I	[arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。	エラー
FQXSPPOS4010I	OS クラッシュ・ビデオのキャプチャーに失敗しました。	エラー
FQXSPPU0001N	[ProcessorElementName] で過熱状態が検出されました。	エラー
FQXSPPU0003N	[ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。	エラー
FQXSPPU0004M	[ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。	エラー
FQXSPPU0009N	[ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。	エラー
FQXSPPU0011N	[ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーが表明されました。	エラー
FQXSPPU0012M	[ProcessorElementName] にマシン・チェック・エラーが発生しました。	エラー
FQXSPPW0002L	[PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。	エラー
FQXSPPW0007L	[PowerSupplyElementName] で構成不一致が発生しました。	エラー
FQXSPPW0035M	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。	エラー
FQXSPPW0061M	センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。	エラー
FQXSPPW0063M	センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。	エラー
FQXSPPW0110M	[RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。	エラー
FQXSPSD0001L	[StorageVolumeElementName] に障害があります。	エラー
FQXSPSD0002L	エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] に障害があります。	エラー
FQXSPSD0005L	アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。	エラー
FQXSPSD0006L	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	エラー
FQXSPSD0007L	エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイのクリティカルな状態が検出されました。	エラー

表 2. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSPSD0008L	エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイ障害が検出されました。	エラー
FQXSPSE4000I	証明機関 [arg1] が [arg2] 証明書エラーを検出しました。	エラー
FQXSPSR0001N	センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。	エラー
FQXSPUN0019M	センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。	エラー
FQXSPUN0023N	センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。	エラー
FQXSPUP0007L	システム [ComputerSystemElementName] で無効またはサポートされていないファームウェアまたはソフトウェアが検出されました。	エラー
FQXSPUP4000I	管理コントローラー [arg1] が正しいファームウェアでフラッシュされていることを確認してください。管理コントローラーがファームウェアをサーバーと一致させることができません。	エラー
FQXSPUP4003I	[arg1] ファームウェアがシステム [arg2] と内部で一致しません。 [arg3] ファームウェアのフラッシュを試みてください。	エラー
FQXSPUP4004I	XCC ファームウェアがノード/サーバー [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノード/サーバーの XCC ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。	エラー
FQXSPUP4005I	FPGA ファームウェアがノード/サーバー [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノード/サーバーの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。	エラー
FQXSPUP4009I	システムが正しい [arg1] ファームウェアでフラッシュされていることを確認してください。管理コントローラーがファームウェアをサーバーと一致させることができません。	エラー

XClarity Controller イベントのリスト

このセクションでは、XClarity Controller から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

- FQXSPBR4000I: 管理コントローラー [arg1]: IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によって構成がファイルから復元されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0027

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPBR4001I: バックアップ管理コントローラー [arg1] のメイン・アプリケーションを実行中です。**
このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0030

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. BMC ファームウェアを更新します。
2. 注: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPBR4002I: デフォルト値を復元するため、管理コントローラー [arg1] のリセットが発生しました。**

このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0032

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPBR4003I: [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。**
このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - OS タイムアウト
SNMP Trap ID: 21
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0039

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。

2. BMC Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。
4. ウォッチドッグ・タイマーを無効にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
7. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPBR4004I**: ユーザー [arg1] によってサーバーのタイムアウトが設定されました。EnableOSWatchdog=[arg2]、OSWatchdogTimeout=[arg3]、EnableLoaderWatchdog=[arg4]、LoaderTimeout=[arg5] です。

ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0095

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPBR4005I**: 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルに保存されました。

ユーザーが管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0109

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPBR4006I**: 管理コントローラー [arg1]: IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によって構成がファイルから復元されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユー
 ス・ケースに表示されます。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0136

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPBR4007I**: 管理コントローラー [arg1]: IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元を完了できませんでした。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0137

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 操作を再試行します。
2. システムの AC サイクルを実行します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPBR4008I**: 管理コントローラー [arg1]: IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元を開始できませんでした。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始に失敗したユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0138

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 暗号化されたバックアップ構成ファイルのパスワードが正しいかどうかを確認します。
2. 操作を再試行します。
3. システムの AC サイクルを実行します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
5. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPBR4009I**: 管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成です。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をフェデレーションにより同期するユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0255

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPBR400AI: 管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成が完了しました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をフェデレーションにより同期し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0256

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPBR400BI: 管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成を完了できませんでした。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をフェデレーションにより同期しようとして、復元の完了が失敗したユース・ケースに表示されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0257

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPBR400CI: 管理コントローラー [arg1]: グループ名 [arg3] によるネイバー・サーバー [arg2] からのクローン構成を開始できませんでした。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をフェデレーションにより同期しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0258

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPBR400DI: ネイバー・グループのクローン構成がユーザー [arg1] により開始されました。

このメッセージは、ユーザーがフェデレーション・クローン構成を開始した場合に使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0259

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPBR400EI**: ネイバー・グループのファームウェア更新がユーザー [arg1] により開始されました。
このメッセージは、ユーザーがフェデレーション更新を開始した場合に使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0260

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPBR400FI**: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりネイバー・グループ管理は [arg1] です。
ネイバー・グループ管理がユーザーによって有効または無効にされました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0272

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPBT0007I**: システム [ComputerSystemElementName] に使用可能なブート可能メディアがありません。
このメッセージは、ブート可能メディアがないシステムが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0286

ユーザー処置:

ブート可能メディアが正しく取り付けられていることを確認してください。

- **FQXSPCA0002M**: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害
SNMP Trap ID: 11
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0480

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ファンが正しく取り付けられていることを確認してください。
2. ファンに問題がある場合は、ファンを再び取り付けてください。
3. 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPCA0007J: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルでない状態の上限を上回ったことが検出されました。**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 温度
SNMP Trap ID: 12
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0490

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. System Management Module のイベント・ログおよび XClarity Controller を参照して、ファンまたは冷却機構に関連する問題または電源に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと およびフィルターが所定の位置にあり、清潔で正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

- **FQXSPCA0009M: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0494

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 部屋の温度が、サーバー環境仕様の範囲内になるように温度調節をします。
2. 問題の問題が解決しない場合は、XCC Web GUI を参照して、温度の値が、システム使用より高いことを確認します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPCA0011N**: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0498

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 部屋の温度が、サーバー環境仕様の範囲内になるように温度調節をします。
2. 問題の問題が解決しない場合は、XCC Web GUI を参照して、温度の値が、システム使用より高いことを確認します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPCA0015J**: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルでない状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 温度
SNMP Trap ID: 12
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0520

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XClarity Controller のイベント・ログを参照して、冷却機構または電源に関連する問題がないか確認します。
2. 通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置に正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

- **FQXSPCA0017M**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0522

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XClarity Controller のイベント・ログを参照して、ファンや冷却、または電源に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと およびフィルターが所定の位置にあり、清潔で正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

- **FQXSPCA0019N: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0524

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XClarity Controller のイベント・ログを参照して、ファンや冷却、または電源に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと およびフィルターが所定の位置にあり、清潔で正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

- **FQXSPCA2002I: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。**

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害
SNMP Trap ID: 11
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0481

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPCA2007I: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルでない状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 温度
SNMP Trap ID: 12
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0491

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPCA2009I: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0495

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPCA2011I: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0499

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPCA2015I: センサー [SensorElementName] で正常な状態からクリティカルでない状態への遷移の解消が検出されました。

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 温度
SNMP Trap ID: 12
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0521

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPCA2017I: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0523

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPCA2019I: センサー [SensorElementName] でさほど重大でない状態からリカバリー不能状態への遷移の解消が検出されました。**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0525

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPCN4000I: ユーザー [arg1] によってシリアル・リダイレクトが設定されました。Mode=[arg2]、BaudRate=[arg3]、StopBits=[arg4]、Parity=[arg5]、SessionTerminateSequence=[arg6] です。**

ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0078

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPCN4001I: ユーザー [arg1] によってリモート制御セッションが [arg2] モードで開始されました。**

リモート制御セッションが開始されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0128

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPCN4002I: ユーザー [arg1] がアクティブな CLI コンソール・セッションを終了しました。**
ユーザーが、アクティブな CLI コンソール・セッションを終了しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0145

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPCN4003I: ユーザー [arg1] によって [arg2] モードで開始されたりリモート制御セッションが終了されました。**
リモート制御セッションが終了されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0194

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPCN4004I: ユーザー [arg1] がアクティブな [arg2] コンソール・セッションを作成しました。**
ユーザーが、IPMI/CLI コンソール・セッションを作成しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0317

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPCN4005I: [arg1] コンソール・セッションがタイムアウトになりました。**
IPMI/CLI コンソール・セッションがタイムアウトになりました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0318

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPCN4006I: ユーザー [arg1] がアクティブな IPMI コンソール・セッションを終了しました。**
ユーザーが、アクティブな IPMI コンソール・セッションを終了しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0319

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPDM4000I: デバイス [arg1] のインベントリー・データが変更されました。新しいデバイス・データ・ハッシュ=[arg2]、新しいマスター・データ・ハッシュ=[arg3] です。**
何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0072

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPDM4001I: ストレージ [arg1] が変更されました。**
このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0139

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPDM4002I: デバイス [arg1] の VPD が無効です。**
デバイスの VPD が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0142

ユーザー処置:

サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSPDM4003I: TKLM サーバーがユーザー [arg1] によって設定されました。TKLMServer1=[arg2] Port=[arg3]、TKLMServer2=[arg4] Port=[arg5]、TKLMServer3=[arg6] Port=[arg7]、TKLMServer4=[arg8] Port=[arg9] です。

ユーザーが TKLM サーバーを構成しました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0146

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPDM4004I: ユーザー [arg1] によって TKLM サーバーのデバイス・グループが設定されました。TKLMServerDeviceGroup=[arg2] です。

ユーザーが TKLM デバイス・グループを構成しました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0147

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPDM4005I: ユーザー [arg1] が新規暗号鍵ペアを生成し、TKLM クライアントの自己署名証明書をインストールしました。

ユーザーが新規暗号鍵ペアを生成し、TKLM クライアントの自己署名証明書をインストールしました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0148

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPDM4006I: ユーザー [arg1] が新規暗号鍵と TKLM クライアントの証明書署名要求を生成しました。

ユーザーが新規暗号鍵と、TKLM クライアントに対する証明書署名要求を生成しました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0149

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPDM4007I**: ユーザー [arg1] が [arg2] から TKLM クライアントの署名された証明書をインポートしました。

ユーザーが TKLM クライアントの署名済み証明書をインポートしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0150

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPDM4008I**: ユーザー [arg1] が TKLM サーバーのサーバー証明書をインポートしました。

ユーザーが TKLM サーバーのサーバー証明書をインポートしました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0151

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPDM4009I**: ユーザー [arg1] が [arg4] からのファイル [arg3] を [arg2] しました。

ユーザーが URL またはサーバーからファイルをマウント/アンマウントしました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0162

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPDM4011I**: ユーザー [arg1] によって EKMS サーバー・プロトコルが設定されました: TKLMServerProtocol=[arg2]。

ユーザーが EKMS サーバー・プロトコルを構成しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0293

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPDM4012I: ユーザー [arg1] が鍵管理サーバーのポーリング構成を変更しました: ポーリング有効=[arg2] 間隔 =[arg3]

ユーザーが鍵管理サーバーのポーリング構成を変更

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0334

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPDM4013I: ユーザー [arg1] が鍵管理サーバーのキャッシング構成を変更しました: キャッシング有効=[arg2] 間隔 =[arg3]

ユーザーが鍵管理サーバーのキャッシング構成を変更

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0335

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPEA0001J: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルでない状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0520

ユーザー処置:

Storcli または LSA を使用して、警告またはクリティカル RAID イベントがないかどうかを確認します。

- **FQXSPEA0002M: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0522

ユーザー処置:

Storcli または LSA ソフトウェア・ツールを使用して、警告またはクリティカルな RAID イベントがないかどうかを確認します。

- **FQXSPEA0003J: PCIe デバイス [arg2] のポート [arg1] でリンク・ダウンが検出されました。**

このメッセージは、実装環境で PCIe のリンク・ダウンが検出された際のユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0520

ユーザー処置:

ネットワーク・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認してください。

- **FQXSPEA2001I: センサー [SensorElementName] で正常な状態からクリティカルでない状態への遷移の解消が検出されました。**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0521

ユーザー処置:

Storcli または LSA を使用して、警告またはクリティカル RAID イベントがないかどうかを確認します。

- **FQXSPEA2002I: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0523

ユーザー処置:

Storcli または LSA を使用して、警告またはクリティカル RAID イベントがないかどうかを確認します。

- **FQXSPEA2003I: PCIe デバイス [arg2] のポート [arg1] でリンク・アップが検出されました。**

このメッセージは、実装環境で PCIe のリンク・アップが検出された際のユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0521

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4000I: システム [arg2] の [arg1] はユーザー [arg3] によってクリアされました。**

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0020

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4001I: システム [arg2] の [arg1] は 75% 使用中です。**

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルであるユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログの満杯率
SNMP Trap ID: 35
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0037

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4002I: システム [arg2] の [arg1] は 100% 使用中です。**

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルであるユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - イベント・ログの満杯率
SNMP Trap ID: 35
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0038

ユーザー処置:

古いログ項目がなくならないようにするには、古いログをテキスト・ファイルとして保存し、そのログを消去します。

- **FQXSPeM4003I**: [arg3] によって LED の [arg1] 状態が [arg2] に変更されました。
ユーザーが LED の状態を変更しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0071

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4004I**: ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が有効にされました。
ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0073

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4005I**: ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が無効にされました。
ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0074

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4006I**: ユーザー [arg1] によってアラート構成のグローバル・イベント通知が設定されました。RetryLimit=[arg2]、RetryInterval=[arg3]、EntryInterval=[arg4] です。
ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0110

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4007I**: アラート受信者番号 [arg1] が更新されました。Name=[arg2]、DeliveryMethod=[arg3]、Address=[arg4]、IncludeLog=[arg5]、Enabled=[arg6]、EnabledAlerts=[arg7]、AllowedFilters=[arg8] (IP アドレス [arg11] の [arg10] からユーザー [arg9] により) です。

ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0111

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4008I**: ユーザー [arg1] によって SNMP トラップが有効にされました。EnabledAlerts=[arg2]、AllowedFilters=[arg3] です。

ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0112

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4009I**: UEFI 定義が変更されました。

UEFI 定義変更が検出されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0152

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4010I**: UEFI が [arg1] を報告しました。

UEFI 監査イベントがログに記録されました。

重大度: 情報

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0161

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4011I: XCC は、前のイベント [arg1] を記録しませんでした。
XCC は、前のイベントを記録しませんでした。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0196

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4012I: ユーザー [arg1] は、システム [arg2] を Encapsulation ライト・モードにしました。
Encapsulation ライト・モードのステータスの変更

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0201

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4013I: RAID コントローラーによってバッテリー・エラーが検出されました。バッテリーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
RAID コントローラーによってバッテリー・エラーが検出されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0202

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4014I: RAID コントローラーはバッテリーに問題があります。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
RAID コントローラーはバッテリーに問題があります

重大度: 情報

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0203

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4015I: RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出しました。コントローラーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出しました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0204

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4016I: RAID コントローラーは、1 つ以上の問題を検出しました。追加のサポートが必要な場合は、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーは、1 つ以上の問題を検出しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0205

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4017I: RAID コントローラーは、サブシステム内に 1 つ以上の構成の変更が行われた可能性を検出しました。ドライブ LED のステータスを確認してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーは、サブシステム内に 1 つ以上の構成の変更が行われた可能性を検出しました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0206

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4018I: 1 つ以上のユニットでエンクロージャー/シャーシの問題が検出されました。エンクロージャー/シャーシを確認して問題を修復してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

1つ以上のユニットでエンクロージャー/シャーシの問題が検出されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0207

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPEM4019I: エンクロージャー/シャーシで接続の問題が検出されました。ケーブル構成を確認して問題を修復してください。** ([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

エンクロージャー/シャーシで接続の問題が検出されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0208

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPEM4020I: エンクロージャー/シャーシでファンの問題が検出されました。エンクロージャー/シャーシのユニットのファンが正常に動作しているか確認してください。** ([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

エンクロージャー/シャーシでファンの問題が検出されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0209

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPEM4022I: エンクロージャー/シャーシのパワー・サプライに問題が発生しています。エンクロージャー/シャーシのパワー・サプライが正常に動作しているか確認してください。** ([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

エンクロージャー/シャーシのパワー・サプライに問題が発生しています

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0210

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSP4023I: 1 つ以上の仮想ドライブが異常な状態で、この状態が原因で仮想ドライブが使用できなくなる可能性があります。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライバーを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

1 つ以上の仮想ドライブが異常な状態で、この状態が原因で仮想ドライブが使用できなくなる可能性があります

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0211

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSP4024I: RAID コントローラーは、サブシステム内に 1 つ以上の構成の問題が発生した可能性を検出しました。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーは、サブシステム内に 1 つ以上の構成の問題が発生した可能性を検出しました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0212

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSP4025I: 1 つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

1 つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0213

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSP4026I: RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0214

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4027I: RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0215

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4028I: [arg3] の PCIe デバイス [arg2] のポート [arg1] にリンク [arg4] があります。

PCI デバイスのリンク

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0220

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4029I: 現行の CPU 装着に基づく、[arg1] のすべての PCIe スロットが機能しない場合があります。

PCIe が機能しない

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0221

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4030I: RAID コントローラーで予定されていた操作に問題が発生しました。詳細については、サーバー管理、ローカル・ストレージの RAID ログを参照してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーで予定されていた操作に問題があります

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0223

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4031I: SSD 装着しきい値設定は IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により [arg1] から [arg2] に変更されました。

SSD 装着しきい値設定はユーザーにより変更されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0273

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4032I: 音響モード [arg1] が作動しています。ファン速度制限が所定の位置にあります。
このメッセージは、音響モードが作動しているユース・ケースで使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0274

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4033I: 音響モード [arg1] は解放され、十分に冷却されます。
このメッセージは、音響モードが作動しているユース・ケースで使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0275

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPeM4036I: ダスト・フィルター測定スケジュールが、IP アドレス [arg4] で [arg3] から ユーザー [arg2] によってサーバー [arg1] で構成されています。

ダスト・フィルター測定スケジュールが構成されています

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0305

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4037I:** サーバー [arg1] でスケジュールされたダスト・フィルター測定を実行しています。
スケジュールされたダスト・フィルター測定の実行試行

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0306

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4038I:** ダスト・フィルター測定スケジュールが、IP アドレス [arg4] で [arg3] から ユーザー [arg2] によってサーバー [arg1] で無効化されました。
ダスト・フィルター測定スケジュールが無効です

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0307

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4039I:** IP アドレス [arg4] で [arg3] から ユーザー [arg2] によってサーバー [arg1] で即時ダスト・フィルター測定を実行しています。
即時ダスト・フィルター測定の実行試行

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0308

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPeM4040I:** ダスト・フィルターの測定が完了しました。通気経路に障害が発生しました。ダスト・フィルターを確認して交換するか、障害物を取り除いてください。

ダスト・フィルターの測定に失敗すると、ユーザーにアラートが送信されます

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0309

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPEM4041I:** スロット [arg1] の SmartNIC でブート・タイムアウトが発生しました。
特定のスロットの SmartNIC でブート・タイムアウトが発生しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0312

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPEM4042I:** スロット [arg1] の SmartNIC がクラッシュ・ダンプを通過しました。
特定のスロットの SmartNIC がクラッシュ・ダンプを通過しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0313

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPEM4043I:** [arg1] 障害が検出され、回復するには [arg2] が必要です。
バックプレーンの障害が検出されました

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0320

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPEM4044I:** ダスト・フィルターが正常に測定されました。操作は不要です。
ダスト・フィルターの測定が完了すると、ユーザーにアラートが送信されます。

重大度: 通知

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0321

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPFC4000I: ベア・メタル接続プロセスが開始されました。**
ベア・メタル接続プロセスが開始されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0143

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPFC4001I: ベア・メタル更新アプリケーションがステータス [arg1] を報告しました。**
ベア・メタル更新アプリケーションのステータスです。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0144

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPFC4002I: システムがセットアップを実行中です。**
システムがセットアップを実行中です

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0193

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPFC4003I: UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextBoot のため有効になっています。**
UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextBoot のため有効になっています

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0197

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPFC4004I: UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextAc のため有効になっています**
UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextAC のため有効になっています

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0198

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPFC4005I: UEFI デプロイメント・ブート・モードは無効にされました。**
UEFI デプロイメント・ブート・モードは無効にされました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0199

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPFW0000N: システム [ComputerSystemElementName] で POST エラーが発生しました。**
このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0184

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 元の UEFI 設定はまだ存在しています。お客さまが元の設定を引き続き使用することを希望する場合は、「設定の保存」を選択します。
2. ユーザーが意図的にリブートをトリガーしたのでない場合は、ログに推定原因がないか確認してください。例えば、バッテリー障害イベントがある場合は、そのイベントを解決するステップを実行してください。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。

4. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。該当する場合は UEFI ファームウェアを更新します。
5. システム・ボードの CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。ブートが正常に行われたら、システム設定を復元します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
7. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPFW0002N: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェア・ハングが発生しました。**

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム-ブート障害
SNMP Trap ID: 25
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0186

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 元の UEFI 設定はまだ存在しています。お客さまが元の設定を引き続き使用することを希望する場合は、「設定の保存」を選択します。
2. ユーザーが意図的にリブートをトリガーしたのではない場合は、ログに推定原因がないか確認してください。例えば、バッテリー障害イベントがある場合は、そのイベントを解決するステップを実行してください。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
4. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。該当する場合は UEFI ファームウェアを更新します。
5. システム・ボードの CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。ブートが正常に行われたら、システム設定を復元します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
7. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPIO0000I: コネクタ [PhysicalConnectorElementName] の存在または接続が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でコネクタが接続されていることが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0264

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPIO0001L : コネクター [PhysicalConnectorElementName] で構成エラーが発生しました。**
このメッセージは、実装環境でインターコネクト構成エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0266

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. システム・ボードに USB ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。
2. 問題が解決しない場合は、USB モジュールを交換します。

- **FQXSPIO0004L : バス [SensorElementName] でバス・タイムアウトが発生しました。**
このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0224

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. プロセッサを取り付け直し、サーバーをリブートしてください。
2. (サービス技術員のみ) 問題が解決しない場合、システム・ボードを交換してください。
3. 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPIO0006N : システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェア NMI が発生しました。**
このメッセージは、実装環境でソフトウェア NMI が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0228

ユーザー処置:

システム・イベント・ログのイベント・ログを確認し、NMI に関連する問題をすべて解決する

- **FQXSPIO0007N : システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR が発生しました。**
このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0232

ユーザー処置:

解決するには、以下の手順に従います。

1. アダプターまたは他のスロットを取り付け直します。
2. 問題が解決しない場合は、アダプターを交換してください。
3. 問題が解決しない場合は、お住まいの地域のサービスに連絡してください。

- **FQXSPIO0008N : システム [ComputerSystemElementName] で PCI SERR が発生しました。**

このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0234

ユーザー処置:

解決するには、以下の手順に従います。

1. アダプターまたは他のスロットを取り付け直します。
2. 問題が解決しない場合は、アダプターを交換してください。
3. 問題が解決しない場合は、お住まいの地域のサービスに連絡してください。

- **FQXSPIO00010I : バス [SensorElementName] で訂正可能なバス・エラーが発生しました。**

このメッセージは、実装環境でバスの訂正可能エラーが検出されたユース・ケースで使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0238

ユーザー処置:

通知メッセージ。このエラーを解決するにはシステム・ログに記録されているエラーを修正してください

- **FQXSPIO00011N : [SensorElementName] で訂正不能エラーが発生しました。**

このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0240

ユーザー処置:

<http://support.lenovo.com/> で TECH のヒント、またはエラーを訂正する可能性があるファームウェア更新がないかを確認します。

1. すべての I/O 拡張アダプターに、正しい適合するレベルのデバイス・ドライバおよびファームウェアが備わっていることを確認します。
2. 障害のあるコンポーネントの追加情報について、XClarity Controller のイベント・ログまたを調べます。
3. イベント・ログにこのエラーに関連した項目がない場合は、Lenovo サポートに連絡します。

- **FQXSPIO0013N: バス [SensorElementName] で致命的バス・エラーが発生しました。**

このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0244

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPIO0014J: バス [SensorElementName] が機能低下状態で動作しています。**

このメッセージは、実装環境でバスの機能低下が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0246

ユーザー処置:

解決するには、以下の手順に従います。

1. アダプターまたは他のスロットを取り付け直します。
2. 問題が解決しない場合は、アダプターを交換してください。
3. 問題が解決しない場合は、お住まいの地域のサービスに連絡してください。

- **FQXSPIO0015M: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。**

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0330

ユーザー処置:

エラーを修正するには、次の手順を実行してください。

1. すべての I/O 拡張アダプターに、正しい適合するレベルのデバイス・ドライバおよびファームウェアが備わっていることを確認します。
2. 障害のあるコンポーネントの追加情報について、XClarity Controller のイベント・ログまたは調べます。<http://support.lenovo.com/> で TECH のヒント、またはエラーを訂正する可能性があるファームウェア更新がないかを確認します。
3. イベント・ログにこのエラーに関連した項目がない場合は、Lenovo サポートに連絡します。

- **FQXSPIO0016I: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] を識別しています。**

このメッセージは、実装環境でスロットの識別が有効になったことが検出されたユース・ケースで使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0332

ユーザー処置:

取り付けられたデバイスはシステム・スロットにあります。

- **FQXSPIO2000J: コネクタ [PhysicalConnectorElementName] が切断されています。**

このメッセージは、コネクタが切断された実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0265

ユーザー処置:

ケーブルが正しく接続されていることを確認する

- **FQXSPIO2001I: コネクタ [PhysicalConnectorElementName] の構成エラーが修復されました。**

このメッセージは、インターコネクト構成が修復されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0267

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPIO2003I**: システム [ComputerSystemElementName] が診断割り込みからリカバリーしました。

このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

SNMP Trap ID: 50

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0223

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPIO2004I**: バス [SensorElementName] がバス・タイムアウトからリカバリーしました。

このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

SNMP Trap ID: 50

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0225

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPIO2006I**: システム [ComputerSystemElementName] が NMI からリカバリーしました。

このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

SNMP Trap ID: 50

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0230

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPIO2007I**: システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR のリカバリーが発生しました。

このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0233

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPIO2008I**: システム [ComputerSystemElementName] の PCI SERR の解消が検出されました。
このメッセージは、PCI SERR の解消が実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0235

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPIO2010I**: バス [SensorElementName] が訂正可能なバス・エラーからリカバリーしました。
このメッセージは、システムがバスの訂正可能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0239

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPIO4003I**: IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によって PCIe スイッチが通常モードに変更されました。
ユーザーによって、PCIe スイッチが通常モードに変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0349

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPIO4004I**: IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によって PCIe スイッチが更新可能モードに変更されました。
ユーザーによって、PCIe スイッチが更新可能モードに変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0350

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPMA0001I: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でエラーが検出され訂正されました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正済みエラーが検出されたユース・ケースで使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー
SNMP Trap ID: 43
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0124

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPMA0002N: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー
SNMP Trap ID: 41
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0126

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この障害が発生する前に DIMM 構成を変更した場合、DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
2. POST メモリー・テストに失敗した DIMM と隣接するスロットの DIMM (装着されている場合) を取り付け直します。ブートして F1 セットアップを表示し、DIMM を有効にします。システムをリブートします。
3. その問題が発生する直前に DIMM をアップグレードした場合、UEFI を最新バージョンに更新します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
5. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPMA0006N: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でパリティ・エラーが発生しました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーのパリティ・エラーが検出されたユース・ケースで使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー
SNMP Trap ID: 41
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0134

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のアクションを実行します。

1. リストされているエラーを修正するには、エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
2. 特定された DIMM を取り付け直し、PIN の DIMM ダストをクリーニングして、リストされているエラーを解決します。
3. 確認された DIMM を削除し、パリティ・チェックを再度実行します。
4. 上記の手順で問題が解決しない場合は、Lenovo サービスに連絡してください。

- **FQXSPMA0007L : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラップ障害が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー
SNMP Trap ID: 41
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0136

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. 既存のメモリー・エラーがある場合は、それを解決します。
3. メモリーの障害がログに記録されていない場合は、Setup Utility または OneCLI ユーティリティーを使用して、すべての DIMM コネクタが有効になっていることを確認します。
4. 本製品のサービス情報に従って DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認して、すべての DIMM を取り付け直します。
5. CMOS システム・ボード上のメモリーをクリアします。ファームウェアの設定はすべてデフォルトに戻されることに注意してください。
6. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
7. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
8. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPMA0008N : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー
SNMP Trap ID: 41
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0138

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを目視で確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の FQXSFMA0011I イベントが記録されている場合があります。)
 2. DIMM コネクタ上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Lightpath あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
 3. 同じ DIMM コネクタで問題が再発生した場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を交換します。
 4. Lenovo サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
 5. 同じ DIMM コネクタで問題が再発生した場合は、コネクタに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合、または問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
 6. Lenovo サポートに連絡してください。」
- FQXSPMA0010J: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0142

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. System Management Module のイベント・ログおよび XClarity Controller を参照して、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
 2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと およびフィルターが所定の位置にあり、清潔で正しく取り付けられていることを確認します。
 3. 室温が運用規格内であることを確認します。
 4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
- FQXSPMA0011G: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。
- このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー
SNMP Trap ID: 43
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0144

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを目視で確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の FQXSFMA0011I イベントが記録されている場合があります。)
2. DIMM コネクタ上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Lightpath あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクタで問題が再発生した場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を交換します。
4. Lenovo サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. 同じ DIMM コネクタで問題が再発生した場合は、コネクタに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合、または問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
6. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPMA0012M: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0146

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. XClarity Controller (XCC) のイベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、所定の位置に正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

- **FQXSPMA0022I: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] のポスト・パッケージの修復が成功しました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーのダブル・チップ・スペアリングが開始されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0140

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPMA0024G: センサー [SensorElementName] が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー
SNMP Trap ID: 43
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0508

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この障害が発生する前に DIMM 構成を変更した場合、DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
2. POST メモリー・テストに失敗した DIMM と隣接するスロットの DIMM (装着されている場合) を取り付け直します。ブートして F1 セットアップを表示し、DIMM を有効にします。システムをリブートします。
3. その問題が発生する直前に DIMM をアップグレードした場合、UEFI を最新バージョンに更新します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
5. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPMA0025I: センサー [SensorElementName] が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0508

ユーザー処置:

取り付け済み DIMM が Lenovo によってサポートされていることを確認します。

- **FQXSPMA2001I: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で検出され訂正されたエラーは検出されませんでした。**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正済みエラーが検出されなかったユース・ケースで使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0125

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPMA2007I: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー
SNMP Trap ID: 41
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0137

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPMA2010I: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。**

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0143

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPMA2012I: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における温度過熱状態が取り除かれました。**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0147

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPMA2024I: センサー [SensorElementName] の解消が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー
SNMP Trap ID: 43
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0509

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4000I: 管理コントローラー [arg1] でネットワークの初期化が完了しました。**

このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0001

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4001I: ユーザー [arg3] によってイーサネット・データ転送速度が [arg1] から [arg2] に変更されました。**

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0003

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4002I: ユーザー [arg3] によってイーサネット二重化設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。**

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重化設定を変更したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他

SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0004

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4003I: ユーザー [arg3] によってイーサネット MTU 設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0005

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4004I: ユーザー [arg3] によってイーサネットのローカル管理 MAC アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0006

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4005I: ユーザー [arg2] によってイーサネット・インターフェースが [arg1] になりました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを有効または無効にした場合に使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0007

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4006I: ユーザー [arg2] によってホスト名が [arg1] に設定されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0008

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4007I: ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0009

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4008I: ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP サブネット・マスクが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0010

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4009I: ユーザー [arg3] によってデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルト・ゲートウェイ IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0011

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4010I: DHCP[[arg1]] エラーです。IP アドレスが割り当てられていません。**

このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができないユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
 SNMP Trap ID: 37
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0013

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. XCC/BMC 管理ネットワーク・ケーブルが接続され、ネットワーク・ポートがアクティブになっていることを確認します。
2. XCC/BMC に IP アドレスを割り当てることができるネットワーク上に DHCP サーバーがあることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPNM4011I: ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2]、DN=[arg3]、IP@=[arg4]、SN=[arg5]、GW@=[arg6]、DNS1@=[arg7]。**

このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
 SNMP Trap ID: 37
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0022

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4012I: ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2]、IP@=[arg3]、NetMsk=[arg4]、GW@=[arg5]。**

このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
 SNMP Trap ID: 37
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0023

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4013I: LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースはアクティブではなくなりました。**

このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなったユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0024

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4014I: LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースがアクティブになりました。**

このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになったユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0025

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4015I: ユーザー [arg2] によって DHCP 設定が [arg1] に変更されました。**

このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0026

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4016I: ユーザー [arg2] によってドメイン名が [arg1] に設定されました。**

ユーザーによってドメイン名が設定されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0043

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4017I: ユーザー [arg2] によってドメイン・ソースが [arg1] に変更されました。**

ドメイン・ソースがユーザーによって変更されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0044

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4018I: ユーザー [arg2] によって DDNS 設定が [arg1] に変更されました。**
DDNS 設定がユーザーによって変更されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0045

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4019I: DDNS の登録が正常に完了しました。ドメイン名は [arg1] です。**
DDNS の登録および値

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0046

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4020I: ユーザー [arg1] によって IPv6 が有効にされました。**
ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0047

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4021I: ユーザー [arg1] によって IPv6 が無効にされました。**
ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

重大度: 情報

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0048

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4022I: ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が有効にされました。
ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0049

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4023I: ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が有効にされました。
ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0050

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4024I: ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が有効化されました。
ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0051

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4025I: ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が無効化されました。
ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0052

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4026I**: ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が無効にされました。
ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0053

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4027I**: ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が無効化されました。
ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0054

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4028I**: ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2]、IP@[arg3]、Pref=[arg4]。
IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0055

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4029I**: ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2]、IP@[arg3]、Pref=[arg4]、GW@[arg5]。
IPv6 静的アドレスがアクティブです。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0056

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4030I: ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2]、DN=[arg3]、IP@[arg4]、Pref=[arg5]、DNS1@[arg5] です。

IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID: 37

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0057

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4031I: ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IPv6 固定アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 静的アドレスを変更しました。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0058

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4032I: DHCPv6 エラーです。IP アドレスが割り当てられていません。

DHCP6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID: 37

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0059

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. XCC/BMC 管理ネットワーク・ケーブルが接続され、ネットワーク・ポートがアクティブになっていることを確認します。
2. XCC/BMC に IP アドレスを割り当てることができるネットワーク上に DHCPv6 サーバーが存在することを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。」

- FQXSPNM4033I: ユーザー [arg3] によって Telnet ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。
ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0061

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4034I: ユーザー [arg3] によって SSH ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。
ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0062

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4035I: ユーザー [arg3] によって Web-HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。
ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0063

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4036I: ユーザー [arg3] によって Web-HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。
ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0064

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4037I**: ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0065

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4038I**: ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0066

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4039I**: ユーザー [arg3] によって SNMP エージェント・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0067

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4040I**: ユーザー [arg3] によって SNMP トラップのポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0068

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4041I: ユーザー [arg3] によって Syslog ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。**
ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0069

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4042I: ユーザー [arg3] によってリモート・プレゼンス・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。**
ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0070

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4043I: ユーザー [arg1] によって SMTP サーバーが [arg2]:[arg3] に設定されました。**
ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0086

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4044I: ユーザー [arg2] による Telnet [arg1] です。**
ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0087

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4045I**: ユーザー [arg1] によって DNS サーバーが設定されました。
UseAdditionalServers=[arg2]、PreferredDNStype=[arg3]、IPv4Server1=[arg4]、IPv4Server2=[arg5]、
IPv4Server3=[arg6]、IPv6Server1=[arg7]、IPv6Server2=[arg8]、IPv6Server3=[arg9] です。

ユーザーが DNS サーバーを構成しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0088

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4046I**: ユーザー [arg2] による LAN over USB [arg1] です。

ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0089

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4047I**: ユーザー [arg1] によって LAN over USB ポート転送設定が設定されました。
ExternalPort=[arg2]、USB-LAN port=[arg3] です。

ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0090

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4048I**: ユーザー [arg1] によって PXE ブートが要求されました。

PXE ブートが要求されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0129

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4049I: ユーザー [arg1] がサーバー [arg2] との接続性を確認するために TKLM サーバー接続テストを開始しました。

ユーザーが TKLM サーバー接続テストを開始しました。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0159

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4050I: ユーザー [arg1] が SMTP サーバー接続テストを開始しました。

ユーザーが SMTP サーバー接続テストを開始しました。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0160

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4051I: ユーザー [arg1] が SMTP サーバーのリバースパスを [arg2] に設定しました。

ユーザーが SMTP サーバーのリバースパス・アドレスを設定しました

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0163

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4052I: ユーザー [arg2] によって DHCP の指定ホスト名が [arg1] に設定されました。

DHCP の指定ホスト名がユーザーによって設定されました

重大度: 通知
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリ: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0216

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4053I**: ユーザー [arg2] によって Lenovo XClarity Administrator の DNS 検出が [arg1] にされました。

Lenovo XClarity Administrator の DNS 検出

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0217

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4054I**: ユーザー [arg2] によって DHCP のホスト名が [arg1] に設定されます。
このメッセージは、DHCP からホスト名を取得するために使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0244

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4055I**: DHCP からのホスト名が無効です。
このメッセージは、DHCP からのホスト名が無効であることを意味します。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0245

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4056I**: NTP サーバー・アドレス [arg1] が無効です。
レポート NTP サーバーが無効です

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0249

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4057I: セキュリティー: IP アドレス: [arg1] へのログインに [arg2] 回失敗しました。
[arg3] 分間はアクセスがブロックされます。

このメッセージは、IP アドレスがブロックされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0250

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4058I: ユーザー [arg4] によってネットワーク・インターフェース [arg1] の IP アドレスが [arg2] から [arg3] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0286

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4059I: ユーザー [arg4] によってネットワーク・インターフェース [arg1] の IP サブネット・マスクが [arg2] から [arg3] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0287

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4060I: ユーザー [arg4] によってネットワーク・インターフェース [arg1] のデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg2] から [arg3] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルト・ゲートウェイ IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0288

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4061I: Wi-Fi インターフェースは IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] による [arg1] です。

このメッセージは、ユーザー Wi-Fi が有効/無効のユースケースに使用されます。

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0340

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4062I: ユーザー [arg3] によって Wi-Fi の IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザー Wi-Fi インターフェースが設定されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0341

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4063I: ユーザー [arg3] によって Wi-Fi インターフェースの IP サブネット・マスクが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザー Wi-Fi IP サブネット・マスクが設定されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0342

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPNM4064I: ユーザー [arg3] によって Wi-Fi インターフェースのデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザー Wi-Fi IP デフォルト・ゲートウェイが設定されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0343

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPNM4065I:** IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によって Wi-Fi インターフェースの国別コードが [arg1] に変更されました。

このメッセージは、ユーザー Wi-Fi の国別コードが変更された場合に使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0344

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPOS4000I:** [arg2] によって OS ウォッチドッグ応答が [arg1] になりました。

このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが有効または無効にされた場合に使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0012

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPOS4001I:** ウォッチドッグ [arg1] のスクリーン・キャプチャーが発生しました。

このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされたユーース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0028

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. オペレーティング・システム・エラーがない場合:
2. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
3. BMC Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
4. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。

5. ウォッチドッグを無効にします。
6. オペレーティング・システム・エラーがあった場合は、インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

- **FQXSPOS4002I: ウォッチドッグ [arg1] が画面キャプチャーに失敗しました。**

このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、スクリーン・キャプチャーが失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0029

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. BMC Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
7. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPOS4003I: [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。**

実装環境で OS ロダー・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - ロダー・タイムアウト
SNMP Trap ID: 26
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0060

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. BMC Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
6. Lenovo サポートに連絡してください。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を確認します。

- **FQXSPOS4004I: オペレーティング・システムのステータスが [arg1] に変更されました。**
オペレーティング・システムのステータスが変更されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0191

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPOS4005I: ホスト始動パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] により変更されました。**
このメッセージは、ホスト始動パスワードが変更されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0231

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPOS4006I: ホスト始動パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によりクリアされました。**
このメッセージは、ホスト始動パスワードがクリアされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0232

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPOS4007I: ホスト管理パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] により変更されました。**
このメッセージは、ホスト管理パスワードが変更されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0233

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPOS4008I: ホスト管理パスワードが、IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によりクリアされました。**

このメッセージは、ホスト管理パスワードがクリアされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0234

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPOS4009I: OS クラッシュ・ビデオがキャプチャーされました。**

このメッセージは、OS クラッシュ・ビデオがキャプチャーされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0235

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPOS4010I: OS クラッシュ・ビデオのキャプチャーに失敗しました。**

このメッセージは、OS クラッシュ・ビデオのキャプチャーに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0236

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. OS ウォッチドッグが有効になっているかどうかを確認します。
2. クラッシュ・ビデオ記録が有効になっているかどうかを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPOS4011I: ハードウェア・エラーが発生した OS 障害のスクリーン・キャプチャーがユーザー [arg2] により IP アドレス [arg4] で [arg3] から [arg1] にされています。**

ハードウェア・エラーの OS 障害スクリーン・キャプチャーが、ユーザーにより有効または無効になりました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0280

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPOS4012I: POST ウォッチドック のスクリーン・キャプチャーが発生しました。**

このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされたユー
ス・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0302

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4000I: ユーザー [arg3] がサーバー [arg2] を [arg1] にしようとしています。**

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行してい
るユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 37
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0015

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4001I: ユーザー [arg2] によってサーバーの電源オフ遅延が [arg1] に設定されました。**

ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0081

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4002I: ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が [arg2] 日の [arg3] 時にスケジュー
ルされました。**

ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0082

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPPP4003I: ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が毎週 [arg2] の [arg3] 時にスケジュールされました。

ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0083

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPPP4004I: ユーザー [arg3] によってサーバーの [arg1] [arg2] がクリアされました。

ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0084

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPPP4005I: ユーザー [arg3] によって電源キャップ値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。

電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0113

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPPP4006I: 電源キャップの最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。

電源キャップの最小値が変更されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0114

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4007I**: 電源キャップの最大値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。
電源キャップの最大値が変更されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0115

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4008I**: 電源キャップ値のソフト最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。
ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0116

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4009I**: 計測電力値が電源キャップ値を超えました。
電力上限値を超えました。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0117

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4010I**: 新規の電源キャップの最小値が電源キャップ値を超えました。
最小電源キャップが電源キャップを超えています。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0118

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPPP4011I: ユーザー [arg1] によって電源キャッピングがアクティブになりました。
電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0119

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPPP4012I: ユーザー [arg1] によって電源キャッピングが非アクティブになりました。
電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0120

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPPP4013I: ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオンにされました。
ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0121

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPPP4014I: ユーザー [arg1] によって静的電源節減モードがオフにされました。
ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0122

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4015I**: ユーザー [arg1] によって動的電源節減モードがオンにされました。
ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0123

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4016I**: ユーザー [arg1] によって動的電源節減モードがオフにされました。
ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0124

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4017I**: 電源キャップ・スロットルと外部スロットルが発生しました。
電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0125

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4018I**: 外部スロットルが発生しました。
外部スロットルが生じました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0126

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4019I**: 電源キャップ・スロットルが発生しました。

電源キャップ・スロットルが発生しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0127

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4020I**: 計測された電源値が電源キャップ値を下回りました。

電力上限値を超えた状態から回復しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0130

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4021I**: 新規最小電源キャップ値が電源キャップ値を下回りました。

最小電力上限が、回復された電力上限を超えています。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0131

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4022I**: サーバーが不明の理由で再起動されました。

サーバーが不明の理由で再起動されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0166

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4023I**: サーバーがシャシー制御コマンドによって再起動されました。

サーバーがシャシー制御コマンドによって再起動されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0167

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4024I: プッシュボタンを介してサーバーがリセットされました。**
サーバーがプッシュボタンを介してリセットされました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0168

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4025I: 電源プッシュボタンを介してサーバーに電源が入りました。**
電源プッシュボタンを介してサーバーに電源が入りました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0169

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4026I: ウォッチドッグが満了したときにサーバーが再起動されました。**
ウォッチドッグが満了したときにサーバーが再起動されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0170

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4027I: サーバーが OEM の理由で再起動されました。**
サーバーが OEM の理由で再起動されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0171

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4028I**: 電源復元ポリシーが常にオンになるように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。

電源復元ポリシーが常にオンになるように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0172

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4029I**: 電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。

電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0173

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4030I**: サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介してリセットされました。
サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介してリセットされました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0174

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4031I**: プラットフォーム・イベント・フィルターを介してサーバーの電源サイクルが実行されました。

プラットフォーム・イベント・フィルターを介してサーバーの電源サイクルが実行されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0175

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4032I**: サーバーがソフト・リセットされました。

サーバーがソフト・リセットされました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0176

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4033I**: リアルタイム・クロックを介してサーバーの電源が入りました (スケジュール電源投入)。

リアルタイム・クロックを介してサーバーの電源が入りました (スケジュール電源投入)

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0177

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4034I**: サーバーが不明の理由で電源オフされました。

サーバーが不明の理由で電源オフされました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0178

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4035I**: サーバーがシャース制御コマンドによって電源オフされました。

サーバーがシャース制御コマンドによって電源オフされました

重大度: 情報

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0179

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4036I: サーバーの電源がプッシュボタンを介してオフになりました。**
サーバーの電源がプッシュボタンを介してオフになりました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0180

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4037I: ウォッチドッグが満了したときにサーバーが電源オフされました。**
ウォッチドッグが満了したときにサーバーが電源オフされました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0181

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4038I: 電源復元ポリシーが常にオフに設定されているため、サーバーは電源オフのままでした。**
電源復元ポリシーが常にオフに設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0182

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4039I: 電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。**
電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0183

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4040I**: サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介して電源オフされました。
サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介して電源オフされました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0184

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4041I**: リアルタイム・クロックを介してサーバーが電源オフされました (スケジュールされた電源オフ)。
リアルタイム・クロックによってサーバーの電源がオフにされました (スケジュールされた電源オフ)

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0185

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4042I**: 電源オン・リセットによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。
電源オン・リセットによって管理コントローラーのリセットが開始されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0186

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4043I**: PRESET によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。
PRESET によって管理コントローラーのリセットが開始されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0187

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4044I: CMM によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。**
CMM によって管理コントローラーのリセットが開始されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0188

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4045I: XCC ファームウェアによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。**
XCC ファームウェアによって管理コントローラーのリセットが開始されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0189

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4047I: ユーザー [arg2] によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。**
このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0021

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4048I: ユーザー [arg2] がサーバー [arg1] を AC 電源サイクルにしようとしています。**
サーバーの AC 電源サイクル

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0227

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4049I: 前面パネルによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。**
前面パネルによって管理コントローラーのリセットが開始されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0252

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4050I: PFR ファームウェアをアクティブにするために管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。**
PFR ファームウェアをアクティブにするために管理コントローラーのリセットが開始されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0253

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4051I: スロット [arg1] のプログラム可能 GPU 合計電源キャッピング値は IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により [arg2] ワットに変更されました。**
ユーザーにより変更された、プログラム可能な GPU 合計電源キャッピング

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0296

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4052I: スロット [arg1] のプログラム可能 GPU ピーク電源キャッピング値は IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により [arg2] ワットに変更されました。**
ユーザーにより変更された、プログラム可能な GPU ピーク電源キャッピング

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0297

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4053I: このメッセージは予約済みです。**
このメッセージは予約済みです。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0301

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPP4054I: 不均衡な PSU 構成が検出されました。システムのノード PSU 容量の使用が少なくなっています。**
このメッセージは、ユーザーにより取り付けられた不均衡状態の PSU のユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0316

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPU0001N: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が検出されました。**
このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が検出されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0036

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. XClarity Controller (XCC) のイベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと およびフィルターが所定の位置にあり、清潔で正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. マイクロプロセッサ 1 のヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. マイクロプロセッサ 1 のヒートシンクが正しく取り付けられていること および熱伝導インターフェースが正しく塗布されていることを確認します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **FQXSPPU0003N : [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。**

このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU
SNMP Trap ID: 40
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0042

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPPU0004M : [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。**

このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU
SNMP Trap ID: 40
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0044

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システム・ボードまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、Lenovo サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPPU0009N : [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。**

このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU
SNMP Trap ID: 40
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0062

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin またはこのプロセッサ・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPPU0010G: プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態で [ProcessorElementName] により動作しています。**

このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - CPU
SNMP Trap ID: 42
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0038

ユーザー処置:

XCC イベント・ログを参照して、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認し、あればまずそれを解決します。

1. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと およびフィルターが正しく取り付けられており所定の位置にあることを確認します。
2. 室温が運用規格内であることを確認します。
3. すべてのシステムおよびシャーシ (該当する場合) のファームウェアを最新レベルにアップグレードします。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
5. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPPU0011N : [ProcessorElementName] の SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが検出されました。**

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明されたユース・ケースに使用されます

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU
SNMP Trap ID: 40
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0816

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPPU0012M: [ProcessorElementName] にマシン・チェック・エラーが発生しました。**

このメッセージは、実装環境でプロセッサにマシン・チェック・エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU
SNMP Trap ID: 40
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0058

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin またはこのプロセッサ・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPPU0013G: [ProcessorElementName] で訂正可能エラーが発生しました。**

このメッセージは、実装環境でプロセッサに訂正可能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - CPU
SNMP Trap ID: 42
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0059

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin またはこのプロセッサ・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPPU2001I : [ProcessorElementName] で温度過熱状態が取り除かれました。**

このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が除去されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度
SNMP Trap ID: 0
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0037

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPU2002I: プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。**
このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - CPU
SNMP Trap ID: 42
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0039

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW0001I: [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] に追加されました。**
このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0084

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW0002L: [PowerSupplyElementName] が失敗しました。**
このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源
SNMP Trap ID: 4
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0086

ユーザー処置:

xClarity Controller (XCC) Web GUIのイベント・ログを確認して、パワー・サプライ・ユニットの障害を識別してください。システム仕様を確認し、パワー・サプライ・ユニットを同じ仕様に交換します。

- **FQXSPPW0003G: [PowerSupplyElementName] で障害が予知されました。**

このメッセージは、パワー・サプライ障害が予知されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0088

ユーザー処置:

xClarity Controller (XCC) Web GUIのイベント・ログを確認して、パワー・サプライ・ユニットの障害を識別してください

- **FQXSPPW0005I : [PowerSupplyElementName] が範囲外の入力状態で動作しています。**

このメッセージは、パワー・サプライの入力が範囲外であることが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0098

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW0006I : [PowerSupplyElementName] の入力が失われました。**

このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0100

ユーザー処置:

電源ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

- **FQXSPPW0007L : [PowerSupplyElementName] で構成不一致が発生しました。**

このメッセージは、構成エラーが発生したパワー・サプライが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源
SNMP Trap ID: 4
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0104

ユーザー処置:

xClarity Controller (XCC) Web GUI で PSU の整合性を確認してください。

- **FQXSPPW0008I : [SensorElementName] が電源オフになっています。**

このメッセージは、実装環境で無効にされた電源装置が検出された場合に表示されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - 電源オフ
SNMP Trap ID: 23
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0106

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW0009I : [PowerSupplyElementName] の電源が入れ直されました。**

このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0108

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW0031J : 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルでない状態の下限を下回った状況が検出されました。**

このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧
SNMP Trap ID: 13
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0476

ユーザー処置:

CMOS バッテリーを新しいものと交換することをお勧めします。

- **FQXSPPW0035M : 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。**

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧
SNMP Trap ID: 1
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0480

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V の場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。
2. 指定されたセンサーが Planar 12V である場合は、PDB ボードが正しく取り付けられていることを確認し、パワー・サプライ関連の問題がないか XClarity Controller イベント・ログを調べて、それらの問題を解決します。
3. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) PDB ボードまたはシステム・ボードを交換します。

- **FQXSPPW0057J**: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルでない状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0520

ユーザー処置:

XClarity Controller Web インターフェースでイベント・ログを確認してください。

- **FQXSPPW0059J**: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルでない状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電圧
SNMP Trap ID: 13
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0520

ユーザー処置:

この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. CMOS バッテリーを交換して、システムを再起動してください。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPPW0061M**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい

自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源
SNMP Trap ID: 4
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0522

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. パワー・サプライ・ユニットがシステム仕様のワット数、変換効率レベルおよびサポート対象リストに一致していることを確認します。
2. xClarity Controller (XCC) Web GUI のイベント・ログで詳細情報を確認して、パワー・サプライ・ユニットの取り付け直し/再取り付け/アップグレードを行います。
3. 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPPW0063M : センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧
SNMP Trap ID: 1
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0522

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合、システム・ボードを交換してください (トレーニングを受けた技術員のみ)。
2. 指定されたセンサーが Planar 12V である場合は、パワー・サプライ関連の問題がないか XClarity Controller (XCC) イベント・ログを調べて、それらの問題を解決します。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換します (トレーニングを受けた技術員のみ)。
3. お住まいの地域のサービス・プロバイダーに連絡します。保証サービスを提供する Lenovo 認定販売店を見つけるには、<http://www.ibm.com/partnerworld> にアクセスし、「Business Partner Locator」をクリックします。

- **FQXSPPW0101J : [RedundancySetElementName] の冗長性低下が検出されました。**

このメッセージは、冗長性低下がアサートされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 冗長パワー・サプライ
SNMP Trap ID: 10
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0804

ユーザー処置:

PSU のワット数、PSU の変換効率レベルおよびパワー・サプライがシステムでサポートされていることを確認してください。

- FQXSPPW0104J : [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」が検出されました。

このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化したユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 冗長パワー・サプライ
SNMP Trap ID: 10
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0806

ユーザー処置:

PSU のワット数、PSU の変換効率レベルおよびパワー・サプライがシステムでサポートされていることを確認してください。

- FQXSPPW0110M : [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。

このメッセージは、Redundancy Set が「冗長性なし: リソース不足」状態に移行したユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 冗長パワー・サプライ
SNMP Trap ID: 9
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0810

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. パワー・アダプターが欠落、故障、または正しく取り付けられていないかを確認します。該当する場合は、取り付け直すか交換します。
2. パワー・アダプターの最大定格および電源キャッピング・ポリシーを確認します。必要な電源リソースを満たしていない場合、パワー・アダプターを変更するか、電源キャッピング・メカニズムを変更します。

- FQXSPPW2001I : [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0085

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPPW2002I : [PowerSupplyElementName] が OK ステータスに戻りました。

このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源
SNMP Trap ID: 4
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0087

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2003I : [PowerSupplyElementName] で予知される障害はなくなりました。**

このメッセージは、実装環境でパワー・サプライ障害が現在は予知されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0089

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2006I : [PowerSupplyElementName] が正常入力状態に戻りました。**

このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0099

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2007I : [PowerSupplyElementName] の構成は正常です。**

このメッセージは、パワー・サプライ構成が OK であるユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源
SNMP Trap ID: 4
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0105

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2008I : [PowerSupplyElementName] が電源オンになっています。**

このメッセージは、電源装置が有効にされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - 電源オン
SNMP Trap ID: 24
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0107

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2018I: [PowerSupplyElementName] 許容範囲外が正常入力状態に戻りました。**

このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0099

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2031I: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルでない状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。**

このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電圧
SNMP Trap ID: 13
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0477

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2035I: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。**

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧
SNMP Trap ID: 1
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0481

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2057I: センサー [SensorElementName] で正常な状態からクリティカルでない状態への遷移の解消が検出されました。**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電源
SNMP Trap ID: 164
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0521

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2059I: センサー [SensorElementName] で正常な状態からクリティカルでない状態への遷移の解消が検出されました。**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 電圧
SNMP Trap ID: 13
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0521

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2061I: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源
SNMP Trap ID: 4
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0523

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2063I: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧
SNMP Trap ID: 1
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0523

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2101I: [RedundancySetElementName] の冗長性低下の解消が検出されました。**

このメッセージは、冗長性低下の解消が検出された場合に使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 冗長パワー・サプライ
SNMP Trap ID: 10
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0805

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2104I: [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なりソース」の解消が検出されました。**

このメッセージは、Redundancy Set が「冗長性なし: 十分なりソース」状態から変化したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - 冗長パワー・サプライ
SNMP Trap ID: 10
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0807

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW2110I: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」の解消が検出されました。**

このメッセージは、Redundancy Set が「冗長性なし: リソース不足」状態から変化したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - 冗長パワー・サプライ
SNMP Trap ID: 9
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0811

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW4001I: PCIe 電源ブレーキ [arg1] が [arg2] になりました。**

このメッセージは、PCIe 電源ブレーキのユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0243

ユーザー処置:

システムにファン障害エラーや Raidlink CEM 障害の発生がないか、または周囲温度が 35°C を超えていないか確認し、システムを回復して周囲温度を 35°C 未満に下げするための「エラー」サービス操作を実行します。

- **FQXSPPW4002I: グラフィックス電源の合計値が事前構成された上限を超えました。**
このメッセージは、グラフィックス電源の合計値が事前構成された上限を超えた場合に使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0328

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPPW4003I: カスタマイズされた合計グラフィックス電源は、事前構成された限度内です。**
このメッセージは、カスタマイズされた合計グラフィックス電源が事前構成された限度内にある場合に使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0329

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD0000I: [StorageVolumeElementName] が追加されました。**
このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0162

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD0001I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内の [StorageVolumeElementName] ドライブ [arg1] が追加されました。**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0162

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD0001L: [StorageVolumeElementName] に障害があります。**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0164

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. <https://serverproven.lenovo.com/> を確認して、報告されたデバイスと互換性があることを確認してください
2. 管理コントローラー・インターフェースからサービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPSD0002G: [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: システム - 予知された障害
SNMP Trap ID: 27
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0168

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 次の保守期間に識別したドライブを交換します。
2. 交換後も問題が解決しない場合は、XCC WebGUI からサービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSPSD0002L: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] に障害があります。**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0164

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サポート・ポータル (<http://support.lenovo.com/>) で Service Bulletin および TECH のヒントを参照し、ドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
2. RAID 関連のエラーが他にないかを確認します。
3. ドライブを交換します。

- **FQXSPSD0003G: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で障害が予知されました。**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: システム - 予知された障害
SNMP Trap ID: 27
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0168

ユーザー処置:

次の保守期間にハード・ディスク 0 を交換します。

- **FQXSPSD0003I: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0170

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD0005I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] でホット・スペアが有効になっています。**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0170

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD0005L: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリー: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0174

ユーザー処置:

点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **FQXSPSD0006L: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリー: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0176

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ステータス LED が点灯しているハード・ディスクをすべて交換します。
2. アレイを再作成します。
3. バックアップからデータをリストアします。

- **FQXSPSD0007I: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。**

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0178

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD0007L: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイのクリティカルな状態が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
 保守可能: はい
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリー: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID: 5
 CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0174

ユーザー処置:

点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **FQXSPSD0008I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイの再構築が進行中です。**

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリー: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0178

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD0008L: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイ障害が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
 保守可能: はい
 自動的にサポートに通知: はい
 アラート・カテゴリー: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID: 5
 CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0176

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ステータス LED が点灯しているハード・ディスクをすべて交換します。
2. アレイを再作成します。
3. バックアップからデータをリストアします。

- **FQXSPSD2000I: [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0163

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、ドライブ・ベイにフィラーが取り付けられていることを確認します。
2. ドライブが正しく装着されていることを確認します。
3. ドライブが正しく装着されている場合は、ドライブを交換します。

- **FQXSPSD2001I: [StorageVolumeElementName] が障害からリカバリーしました。**

このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0167

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD2002I: [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - 予知された障害
SNMP Trap ID: 27
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0169

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD2003I: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。**

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0171

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD2005I: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の解消が検出されました。**

このメッセージは、クリティカルなアレイがアサート解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID: 5

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0175

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD2006I: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。**

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID: 5

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0177

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD2007I: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。**

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0179

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD2008I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] が障害からリカバリーしました。**

このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0167

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD2010I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] が削除されました。**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0163

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、ドライブ・ベイにフィラーが取り付けられていることを確認します。
2. ドライブが正しく装着されていることを確認します。
3. ドライブが正しく装着されている場合は、ドライブを交換します。

- **FQXSPSD2011I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で障害が予知されなくなりました。**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - 予知された障害
SNMP Trap ID: 27
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0169

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD2012I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-SN: [arg2]) 内のドライブ [arg1] でホット・スペアが無効になっています。**

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0171

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD2013I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイのクリティカルな状態が表明解除されました。**

このメッセージは、クリティカルなアレイがアサート解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID: 5

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0175

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD2014I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイが復元されました。**

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID: 5

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0177

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSD2015I: エンクロージャー/シャーシ (MTM-S/N: [arg2]) 内のドライブ [arg1] で、アレイの再構築が完了しました。**

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0179

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE0000F : シャーシ [PhysicalPackageName] が開かれました。**

このメッセージは、シャーシが開かれたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告

保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0004

ユーザー処置:

シャーシが開かれたか、正しく密封されていません。シャーシがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

- **FQXSPSE0010J: システム・ガードがインベントリーとトラステッド・スナップショットの不一致を検出しました。**

このメッセージは、実装環境でシステム・ガードがインベントリーとトラステッド・スナップショットとの不一致が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0520

ユーザー処置:

前のエラーを修正するために取り付けられたデバイスが、サポートされた構成で適切に固定されていることを確認してください。

- **FQXSPSE2000I: シャーシ [PhysicalPackageName] が閉じられました。**
このメッセージは、シャーシがクローズされたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0005

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE2010I: システム・ガードが準拠ステータスに変更されました。**
このメッセージは、システム・ガードが準拠状態に変更されたことが実装環境で検出された場合のユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0521

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4000I: 証明機関 [arg1] が [arg2] 証明書エラーを検出しました。**

このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラステッド CA 証明書のエラーがあるユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0002

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPSE4001I: リモート・ログインに成功しました。** IP アドレス [arg4] の [arg3] からの [arg2] を使用したログイン ID: [arg1] です。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインするユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0014

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4002I: セキュリティー: Userid: [arg2] を使用する [arg1] は IP アドレス [arg4] の WEB クライアントから [arg3] 回ログインを失敗しました。**

このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0016

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- **FQXSPSE4003I: セキュリティー: ログイン ID: [arg1] によって [arg3] の CLI から [arg2] 回のログイン障害が発生しました。**

このメッセージは、ユーザーがレガシー CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0017

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- **FQXSPSE4004I: リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の Web ブラウザーからの Userid は [arg1] です。**

このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかったユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0018

ユーザー処置:

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

- **FQXSPSE4005I: リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の TELNET クライアントからの Userid は [arg1] です。**

このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0019

ユーザー処置:

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

- **FQXSPSE4006I: XCC が管理コントローラー [arg1] で無効な SSL 証明書を検出しました。**

このメッセージは、管理コントローラーが構成データに無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を無効にしているユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他

SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0034

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていること、CSR 証明書が正しいことを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPSE4007I : セキュリティー: Userid: [arg2] を使用する [arg1] は IP アドレス [arg4] の SSH クライアントから [arg3] 回ログインを失敗しました。**

このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0041

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- **FQXSPSE4008I : ユーザー [arg2] によって SNMPv1 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、AccessType=[arg4]、Address=[arg5] です。**

ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0075

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4009I : ユーザー [arg1] によって LDAP サーバー構成が設定されました。SelectionMethod=[arg2]、DomainName=[arg3]、Server1=[arg4]、Server2=[arg5]、Server3=[arg6]、Server4=[arg7] です。**

ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0076

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4010I: ユーザー [arg1] によって LDAP が設定されました。RootDN=[arg2]、UIDSearchAttribute=[arg3]、BindingMethod=[arg4]、EnhancedRBS=[arg5]、TargetName=[arg6]、GroupFilter=[arg7]、GroupAttribute=[arg8]、LoginAttribute=[arg9] です。

ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0077

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4011I: ユーザー [arg2] によってセキュア Web サービス (HTTPS) が [arg1] にされました。

ユーザーが、セキュア Web サービスを有効または無効にしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0091

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4012I: ユーザー [arg2] によってセキュア CIM/XML(HTTPS) が [arg1] にされました。

ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0092

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4013I: ユーザー [arg2] によってセキュア LDAP が [arg1] にされました。

ユーザーが、セキュア LDAP サービスを有効または無効にしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他

SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0093

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4014I: ユーザー [arg2] によって SSH が [arg1] にされました。
ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0094

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4015I: ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインの全般設定が設定されました。
AuthenticationMethod=[arg2]、LockoutPeriod=[arg3]、SessionTimeout=[arg4] です。
ユーザーがグローバル・ログインの全般設定を変更しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0098

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4016I: ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインのアカウント・セキュリティが設定されました。PasswordRequired=[arg2]、PasswordExpirationPeriod=[arg3]、MinimumPasswordReuseCycle=[arg4]、MinimumPasswordLength=[arg5]、MinimumPasswordChangeInterval=[arg6]、MaximumLoginFailures=[arg7]、LockoutAfterMaxFailures=[arg8] です。
ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティ設定を「レガシー」に変更しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0099

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4017I: ユーザー [arg1] が作成されました。
ユーザー・アカウントが作成されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0100

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4018I: ユーザー [arg1] が削除されました。**
ユーザー・アカウントが削除されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0101

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4019I: ユーザー [arg1] のパスワードが変更されました。**
ユーザー・アカウントが変更されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0102

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4020I: ユーザー [arg1] の役割が [arg2] に設定されました。**
ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0103

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4021I: ユーザー [arg1] のカスタム特権が設定されました。**
[arg2][arg3][arg4][arg5][arg6][arg7][arg8][arg9] です。
ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました

重大度: 通知

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0104

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4022I: SNMPv3 セットにおけるユーザー [arg1]: AuthenticationProtocol=[arg2]、PrivacyProtocol=[arg3]、AccessType=[arg4]、HostforTraps=[arg5] (IP アドレス [arg8] の [arg7] からユーザー [arg6] により) です。

ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0105

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4023I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] 用に SSH クライアント・キーが追加されました。

ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0106

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4024I: IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により、ユーザー [arg1] 用に SSH クライアント・キーが [arg2] からインポートされました。

ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0107

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4025I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] から SSH クライアント・キーが削除されました。

ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0108

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4026I: セキュリティー: Userid: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の CIM クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。**

このメッセージは、ユーザーが CIM から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0140

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4027I: リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の CIM クライアントの Userid は [arg1] です。**

このメッセージは、リモート・ユーザーが CIM からリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0141

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4028I: セキュリティー: Userid: [arg1] は IP アドレス [arg3] の IPMI クライアントから [arg2] 回ログインを失敗しました。**

このメッセージは、ユーザーが IPMI から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0153

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4029I: セキュリティー: Userid: [arg1] は IP アドレス [arg3] の SNMP クライアントから [arg2] 回ログインを失敗しました。

このメッセージは、ユーザーが SNMP から管理コントローラーへのアクセスに失敗した場合に使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0154

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4030I: セキュリティー: Userid: [arg1] によって IPMI シリアル・クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

このメッセージは、ユーザーが IPMI シリアル・クライアントから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0155

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4031I: リモート・ログインに成功しました。[arg2] シリアル・インターフェースからのログイン ID: [arg1] です。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインするユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0156

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4032I: IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] がログオフしました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーからログオフした場合に使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0157

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4033I**: IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] はログオフしています。
このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーからログオフ済みである場合に使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0158

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4034I**: ユーザー [arg1] が証明書を削除しました。
ユーザーが証明書を削除しました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0164

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4035I**: 証明書が取り消されました。
証明書が取り消されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0165

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4036I**: [arg1] 証明書は有効期限切れで削除されました。
有効期限が切れた証明書が削除されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0190

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4037I: ユーザー [arg3] によって暗号モードが [arg1] から [arg2] に変更されました。
変更された暗号モード

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0218

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4038I: ユーザー [arg3] によって最小 TLS レベルが [arg1] から [arg2] に変更されました。
最小 TLS レベルが変更されました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0219

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4039I: 一時ユーザー・アカウント [arg1] がインバンド・ツールにより作成されました。
一時ユーザー・アカウントの作成

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0228

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4040I: 一時ユーザー・アカウント [arg1] の有効期限が切れました。
一時ユーザー・アカウントの有効期限が切れました

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0229

ユーザー処置:

入力したユーザー・アカウントは有効期限が切れています。

- FQXSPSE4041I: セキュリティー: Userid: [arg1] は IP アドレス [arg3] の SFTP クライアントから [arg2] 回ログインを失敗しました。

このメッセージは、ユーザーが SFTP から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン
 SNMP Trap ID: 30
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0230

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4042I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によるサード・パーティー・パスワード関数 [arg1] です。

このメッセージは、ユーザーがサード・パーティーのパスワード機能に正常に切り替えるユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリー: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0238

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4043I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりサード・パーティー・パスワード [arg1] を取得しています。

このメッセージは、ユーザーがサード・パーティーのパスワードの取得を正常に切り替えるユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリー: システム - その他
 SNMP Trap ID: 22
 CIM Prefix: IMM CIM ID: 0239

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4044I: IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] によりユーザー [arg1] のサード・パーティー・ハッシュ・パスワードが [arg2] されました。

このメッセージは、ユーザーがサード・パーティーのハッシュド・パスワードを正常に管理するユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
 保守可能: いいえ
 自動的にサポートに通知: いいえ
 アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0240

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4045I: IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] によりユーザー [arg1] サード・パーティー・パスワードの Salt が [arg2] されました。

このメッセージは、ユーザーがサード・パーティーのパスワード salt を正常に管理するユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0241

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4046I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] のサード・パーティー・パスワードが取得されました。

このメッセージは、ユーザーがサード・パーティーのパスワードを正常に取得するユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0242

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4047I: 役割 [arg1] は [arg2] であり、ユーザー [arg12] によりカスタム権限 [arg3][arg4][arg5][arg6][arg7][arg8][arg9][arg10][arg11] が割り当てられました。

役割の作成変更および割り当て

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0246

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4048I: 役割 [arg1] がユーザー [arg2] により削除されました。

役割が削除されました

重大度: 情報

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0247

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4049I: 役割 [arg1] がユーザー [arg3] によりユーザー [arg2] に割り当てられました。
役割が割り当てられました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0248

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4050I: [arg1] が [arg2] から IPMI コマンドを送信しました。生データ: [arg3] [arg4] [arg5]。
このメッセージは、IPMI コマンドが送信されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0251

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4051I: IP アドレス [arg4] のユーザー [arg3] により管理コントローラー [arg1] がネイバー・グループ [arg2] に参加しました。
このメッセージは、MC がグループに参加するユース・ケースで使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0261

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4052I: IP アドレス [arg4] の [arg2] [arg3] によりネイバー・グループ [arg1] のパスワードが変更されました。
このメッセージは、グループ・ユーザー・パスワードが変更されるユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0262

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4053I: IP アドレス [arg4] のユーザー [arg3] により管理コントローラー [arg1] がネイバー・グループ [arg2] を離れました。

このメッセージは、MC がグループを離れるユース・ケースで使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0263

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4054I: IP アドレス [arg3] のユーザー [arg2] により IPMI SEL ラッピング・モードが [arg1] になっています。

IPMI SEL ラッピング・モードが変更されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0264

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4055I: IP アドレス [arg2] のユーザー [arg1] により SED 暗号化が有効になっています。

SED 暗号化が有効です。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0265

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4056I: IP アドレス [arg3] のユーザー [arg2] により SED AK が [arg1] になっています。

SED AK が再生成またはリカバリーされます。

重大度: 通知

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0266

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4057I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] が作成されました。

ユーザーによりユーザー・アカウントが作成されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0267

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4058I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] が削除されました。

ユーザーによりユーザー・アカウントが削除されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0268

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4059I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりユーザー [arg1] のパスワードが変更されました。

ユーザーによりユーザー・アカウントが変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0269

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4060I: IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] によりユーザー [arg1] の役割が [arg2] に設定されました。

ユーザーにより割り当てられたユーザー・アカウントの役割

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0270

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4061I: ユーザー [arg1] のカスタム権限セット: IP アドレス [arg12] の [arg11] からのユーザー [arg10] による [arg2][arg3][arg4][arg5][arg6][arg7][arg8][arg9]

ユーザーにより割り当てられたユーザー・アカウント特権

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0271

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4062I: IP アドレス [arg3] の [arg2] からユーザー [arg1] によりシステム・ガードのスナップショットがキャプチャーされました。

システム・ガードのスナップショットはユーザーによりキャプチャーされます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0278

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4063I: システム・ガードの構成が IP アドレス [arg6] の [arg5] からユーザー [arg4] により更新されました。ステータス =[arg1]、ハードウェア・インベントリー =[arg2]、およびアクション =[arg3] です。

システム・ガードの構成はユーザーによりキャプチャーされます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0279

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4064I: SNMPv3 エンジン ID は IP アドレス [arg5] の [arg4] からユーザー [arg3] により [arg1] から [arg2] に変更されました。

SNMPv3 エンジン ID が変更されました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0282

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4065I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] による SFTP [arg1] ユーザーが SFTP サービスを有効および無効にしました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0283

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4066I: IP アドレス [arg5] の [arg4] からのユーザー [arg3] によって、セキュリティー・モードが [arg1] から [arg2] に変更されました。
セキュリティー・モードがユーザーによって変更されました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0284

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4067I: ユーザー [arg1] のアクセス可能インターフェースが IP アドレス [arg9] の [arg8] からのユーザー [arg7] によって [arg2][arg3][arg4][arg5][arg6] に設定されました。
ユーザー・アカウントのアクセス可能インターフェースがユーザーによって割り当てられました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0285

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4068I: セキュリティー: Userid: [arg2] を使用する [arg1] は IP アドレス [arg4] の Redfish クライアントから [arg3] 回ログインを失敗しました。

このメッセージは、ユーザーが Redfish から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースで使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID: 30
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0289

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4069I: ユーザー [arg1] が設定した LDAP: RootDN=[arg2]、UIDSearchAttribute=[arg3]、BindingMethod=[arg4]、TargetName=[arg5]、GroupFilter=[arg6]、GroupAttribute=[arg7]、LoginAttribute=[arg8]。

ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0290

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4070I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりロックダウン・モードは [arg1] になっています。

ユーザーがロックダウン・モードを有効または無効にする

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0291

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4071I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によりシャーシ侵入検出が [arg1] になっています。

ユーザーが、シャーシ侵入検出を有効または無効にする

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0292

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4072I:** IP アドレス [arg3] のユーザー [arg2] からユーザー [arg1] によりランダム SED AK が再生成されています。

ユーザーはランダム SED AK を再生成する

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0294

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4073I:** IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] により動作検出が [arg1] になっています。

動作検出がユーザーによって有効または無効にされる

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0295

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4074I:** XCC2 Platinum アップグレード・キーの有効期限が切れているか、削除されたため、セキュリティー・モードがダウングレードされます。

このメッセージは、XCC2 Platinum アップグレード・キーの有効期限が切れた、または削除されたため、セキュリティー・モードがダウングレードされるユース・ケースで使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0300

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4075I:** IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によって、KCS による [arg1] のセキュア・ブートが有効にされました。

KCS によるセキュア・ブートを有効にできます

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0310

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4076I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からのユーザー [arg2] によって、KCS による [arg1] のセキュア・ブートが無効にされました。

KCS によるセキュア・ブートを無効にできます

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0311

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4077I: 前面パネルの Bluetooth ボタンは、IP アドレス [arg5] で [arg4] からユーザー [arg3] によって、サーバー [arg2] で [arg1] です。

前面パネルの Bluetooth ボタンは、ユーザーが有効・無効にします

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0314

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4078I: Bluetooth は、前面パネルの Bluetooth ボタンを押すことで、[arg1] になりました。

Bluetooth は、前面パネルの Bluetooth ボタンを押すことで、有効/無効になりました

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0315

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4079I: IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によるリモート・コンソール・アクセス許可を含むオペレーター・ロールが [arg1] です。

オペレーターによるリモート・コンソールへのアクセスを有効/無効に設定する更新特権

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0322

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4080I: ユーザー [arg1] が IP アドレス [arg4] の [arg2] から CMOS をクリアしました。**
CMOS をクリアしようとした

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0323

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4081I: BMC は、SED ドライブの UEFI に有効なローカル・キャッシュ・キーを返します。**
このメッセージは、BMC がローカル・キャッシュ・キーを SED ドライブの UEFI に返すユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0327

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4082I: リモート鍵管理サーバーにアクセスできません。**
このメッセージは、リモート鍵管理サーバーがアクセスできないユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0330

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPSE4083I: ローカル・キャッシュ・キーの有効期限が切れ、破棄されました。**
このメッセージは、ローカル・キャッシュ・キーの有効期限が切れ、破棄されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0331

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4084I: リモート鍵管理サーバーへの定期的な接続に成功しました。

このメッセージは、リモート鍵管理サーバーのポーリング機能が成功したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0332

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4085I: リモート鍵管理サーバーへの定期的な接続に失敗しました。

このメッセージは、リモート鍵管理サーバーのポーリング機能が失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0333

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4088I: シャーシ・ケアテイカー・ノード ID が [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、シャーシ・ケアテイカー・ノードが変更された場合に使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0336

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4089I: ノード ID [arg1] のシャーシ・ノードが挿入されました。

このメッセージは、ノードがシャーシに挿入された場合に使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0337

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4090I: ノード ID [arg1] のシャーシ・ノードが削除されました。
このメッセージは、ノードがシャーシから取り外された場合に使用されます。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0338

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4091I: ユーザー [arg2] によって SNMPv2 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、AccessType=[arg4]、Address=[arg5] です。
ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0339

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4092I: ユーザー [arg2] によって SNMPv1 [arg1] が設定されています。Name=[arg3]、AccessType=[arg4] です。
ユーザーが、SNMPv1 コミュニティー名を変更しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0345

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4093I: SNMPv1 [arg1] がユーザー [arg2] によって設定されています。アドレス=[arg3] です。
ユーザーが、SNMPv1 コミュニティー・アドレスを変更しました

重大度: 通知
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0346

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4094I: ユーザー [arg2] によって SNMPv2 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、AccessType=[arg4] です。

ユーザーが SNMPv2 コミュニティー名を変更しました

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0347

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSE4095I: SNMPv2 [arg1] がユーザー [arg2] によって設定されています。アドレス=[arg3] です。

ユーザーが、SNMPv1 コミュニティー・アドレスを変更しました

重大度: 通知

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0348

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSR0001N: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー

保守可能: はい

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID: 5

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0524

ユーザー処置:

XCC Web または LSA または Storcli を使用して、システム上の各仮想ディスクのステータスを確認し、問題が発生した仮想ディスクの問題を解決します。

- FQXSPSR2001I: センサー [SensorElementName] でさほど重大でない状態からリカバリー不能状態への遷移の解消が検出されました。

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID: 5
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0525

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSS4000I: [arg1] によって管理コントローラーのテスト・アラートが生成されました。
このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0040

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSS4001I: ユーザー [arg1] によってサーバー全般設定が設定されました。Name=[arg2]、Contact=[arg3]、Location=[arg4]、Room=[arg5]、RackID=[arg6]、Rack U-position=[arg7]、Address=[arg8] です。
ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0080

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSS4002I: ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが追加されました。
ユーザーがライセンス・キーをインストールしました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリー: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0096

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSS4003I: ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが削除されました。
ユーザーがライセンス・キーを削除しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0097

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSS4004I: ユーザー [arg1] によって、テスト用のコール・ホームが生成されました。
ユーザーによって、テスト用のコール・ホームが生成されました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0134

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSS4005I: ユーザー [arg1] による手動コール・ホーム: [arg2]。
ユーザーによる手動コール・ホーム

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: はい
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0135

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSS4006I: [arg1] へのコール・ホームを完了できませんでした。[arg2] です。
コール・ホームを完了できませんでした。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0195

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSS4007I: BMC 機能層は [arg1] から [arg2] に変更されました。
階層の変更

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0222

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSS4008I: ユーザー [arg3] によって [arg1] 設定が [arg2] に変更されました。
ユーザーによって設定が変更されました。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0225

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSS4009I: システムは LXPM 保守モードになります。
システムは保守モードになります

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0226

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSS4010I: ユーザー [arg1] によって、テスト用の監査ログが生成されました。
このメッセージは、OS クラッシュ・ビデオのキャプチャーに失敗したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0237

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPSS4011I: ファン速度ブースト設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。
ファン速度ブーストの設定が変更されました。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0254

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPTR4000I: 管理コントローラー [arg1] の時計が NTP サーバー [arg2] から設定されています。**
このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0033

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
2. 証明書のインポートを再試行します。

- **FQXSPTR4001I: ユーザー [arg1] によって日付と時刻が設定されました。Date=[arg2]、Time=[arg3]、DST Auto-adjust=[arg4]、Timezone=[arg5] です。**

ユーザーが日時設定を構成しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0079

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPTR4002I: ユーザー [arg1] によって同期時刻が設定されました。Mode=NTP サーバーとの同期、NTPServerHost1=[arg2]:[arg3]、NTPServerHost2=[arg4]:[arg5]、NTPServerHost3=[arg6]:[arg7]、NTPServerHost4=[arg8]:[arg9]、NTPUpdateFrequency=[arg10] です。**

ユーザーが日時の同期設定を構成しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0085

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPTR4003I: ユーザー [arg1] による同期時刻設定: Mode=サーバー・クロックとの同期です。**

ユーザーが日時の同期設定を構成しました。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0224

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUN0009G : センサー [SensorElementName] が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0508

ユーザー処置:

システムをリブートします。問題が解決しない場合、F1 を押すか LXPM を使用して XCC FW の更新を行います。

- **FQXSPUN0017I : センサー [SensorElementName] が正常な状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーが通常の状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0518

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUN0018J : センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルでない状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0520

ユーザー処置:

XClarity Controller のイベント・ログを確認して識別されたデバイスが拡張されているかどうかを調べます。

- **FQXSPUN0019M : センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0522

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XCC Web GUI で識別されたエラーを確認してください。
2. システム・イベント・ログを確認してエラーを修正します。
3. 問題が解決しない場合は、お住まいの地域のサービスに連絡してください。

- **FQXSPUN0023N : センサー [SensorElementName] がリカバリー不能状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0530

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。
3. エラーが続く場合は、システム・ボード・アセンブリーを交換します (ハードウェア・メンテナンス・マニュアルを参照)。

- **FQXSPUN0026I : デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。**

このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0536

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUN0058J: [arg1] の残りの寿命がしきい値 [arg2] よりも低くなっています。**

このメッセージは、実装環境でシステム内のいずれかの SSD の残量が定義されたしきい値以下であることが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0520

ユーザー処置:

特定されたコンポーネントの寿命が終わる可能性があることに注意してください。

- **FQXSPUN0059J: センサー [SensorElementName] が正常な状態から警告状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0520

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUN0060G: センサー [SensorElementName] が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 警告
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0508

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUN2009I: センサー [SensorElementName] の解消が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0509

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUN2012I: センサー [SensorElementName] の解消が検出されました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0509

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUN2018I: センサー [SensorElementName] で正常な状態からクリティカルでない状態への遷移の解消が検出されました。**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0521

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUN2019I: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0523

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUN2023I: センサー [SensorElementName] でリカバリー不能状態への遷移の解消が検出されました。**

このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0531

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUN2049I: PCI スロット [arg1] の RAID コントローラーが警告状況ではなくなりました。**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0521

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUN2058I: すべての SSD の残りの寿命がしきい値 [arg1] を超えています。**

このメッセージは、実装環境ですべての SSD の残量がしきい値を超えていることが検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: 警告 - その他
SNMP Trap ID: 60
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0521

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUP0002I: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアまたはソフトウェアの変更が発生しました。**

このメッセージは、実装環境でファームウェアまたはソフトウェアの変更が検出されたユース・ケースで使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0438

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUP0007L: システム [ComputerSystemElementName] で無効またはサポートされていないファームウェアまたはソフトウェアが検出されました。**

このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: はい
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: クリティカル - その他
SNMP Trap ID: 50

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0446

ユーザー処置:

XCC ファームウェアを再フラッシュするか、更新します

- **FQXSPUP4000I: 管理コントローラー [arg1] が正しいファームウェアでフラッシュされていることを確認してください。管理コントローラーがファームウェアをサーバーと一致させることができません。**

このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しないユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0031

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. BMC ファームウェアを更新します。
2. 注: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。」

- **FQXSPUP4001I: ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに成功しました。**

このメッセージは、ユーザーがファームウェア・コンポーネント (MC メイン・アプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサ) を正常にフラッシュしたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0035

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUP4002I: ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに失敗しました。**

このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかったユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリ: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: IMM CIM ID: 0036

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPUP4003I: [arg1] ファームウェアがシステム [arg2] と内部で一致しません。[arg3] ファームウェアのフラッシュを試みてください。

このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0042

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. システムの AC サイクルを実行します。
 2. XCC/BMC ファームウェアを再度フラッシュして、最新のバージョンにします。
 3. 注: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
 5. Lenovo サポートに連絡してください。」
- FQXSPUP4004I: XCC ファームウェアがノード/サーバー [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノード/サーバーの XCC ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。
ノード/サーバー間で XCC ファームウェアのミスマッチが検出されました。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0132

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. XCC/BMC ファームウェアを再度フラッシュして、すべてのサーバーで最新のバージョンにします。
 2. 注: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
 4. Lenovo サポートに連絡してください。」
- FQXSPUP4005I: FPGA ファームウェアがノード/サーバー [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノード/サーバーの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。

ノード/サーバー間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0133

ユーザー処置:

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. XCC/BMC ファームウェアを再度フラッシュして、すべてのサーバーで最新のバージョンにします。
2. 注: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。」

- FQXSPUP4006I: プライマリー XCC のバックアップへの自動プロモーションは IP アドレス [arg4] の [arg3] からユーザー [arg2] によって [arg1] になっています。

プライマリー XCC のバックアップへの自動プロモーションが有効または無効になっています。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0281

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPUP4007I: XCC SPI フラッシュへの違反アクセスが検出され、分離されています。

このメッセージは、XCC SPI フラッシュへの違反アクセスが検出および分離されたユース・ケースで使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0298

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSPUP4008I: UEFI SPI フラッシュへの違反アクセスが検出され、分離されています。

このメッセージは、UEFI SPI フラッシュへの違反アクセスが検出および分離されたユース・ケースで使用されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0299

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUP4009I:** システムが正しい [arg1] ファームウェアでフラッシュされていることを確認してください。管理コントローラーがファームウェアをサーバーと一致させることができません。

このメッセージは、ファームウェア・バージョンがサーバーと一致しないユース・ケースに使用されます。

重大度: エラー
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0324

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUP4010I:** ユーザー [arg4] が [arg3] からの [arg2] の [arg1] のフラッシュに成功しました。

このメッセージは、ユーザーがファームウェア・コンポーネント (MC メイン・アプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサ) を正常にフラッシュしたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0325

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPUP4011I:** ユーザー [arg4] が [arg3] からの [arg2] の [arg1] のフラッシュに失敗しました。

このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかったユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: IMM CIM ID: 0326

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPWD0000I:** [WatchdogElementName] のウォッチドック・タイマーの期限が切れました。

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0368

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPWD0001I: ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] のリブートが開始されました。**

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0370

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPWD0002I: ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源オフが開始されました。**

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0372

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPWD0003I: ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源サイクルが開始されました。**

このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

重大度: 情報
保守可能: いいえ
自動的にサポートに通知: いいえ
アラート・カテゴリ: システム - その他
SNMP Trap ID: 22
CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0374

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSPWD0004I : [WatchdogElementName] でウォッチドッグ・タイマーの割り込みが発生しました。**
このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 情報

保守可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

アラート・カテゴリー: システム - その他

SNMP Trap ID: 22

CIM Prefix: PLAT CIM ID: 0376

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

第 3 章 UEFI イベント

UEFI エラー・メッセージは、サーバーの起動時 (POST) またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI エラー・メッセージは、サーバー内の Lenovo XClarity Controller イベント・ログに記録されます。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントを一意的に識別する ID。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。

説明

追加情報でそのイベントが発生した理由を説明します。

重大度

状態の懸念度が示されます。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

- 「**情報**」。イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザー操作または正常に動作する状態の変更です。
- 「**警告**」。このイベントは、エラーほど重大ではありませんが、可能であれば、エラーになる前に状態を修正する必要があります。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
- 「**エラー**」。このイベントは、サービスや正常な機能が損なわれる障害状態またはクリティカルな状態です。

ユーザー処置

イベントを解決するために実行すべき処置を示しています。問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。すべての手順を実行しても問題を解決できない場合、Lenovo サポート にお問い合わせください。

重大度別に整理された UEFI イベント

次の表は、重大度別 (情報、エラー および警告) に整理されたすべての UEFI イベントの一覧です。

表 3. 重大度別に整理されたイベント

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSFDD0012I	SATA ハードディスク・ドライブ・エラー: [arg1] がリカバリーされました。	通知
FQXSFI00005I	UPI トポロジがダウングレードされたため、プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード内 UPI が無効になりました。	情報
FQXSFI00006I	UPI トポロジがダウングレードされたため、プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード間 UPI が無効になりました。	通知
FQXSFI00015I	IFM: アダプターをリセットするためにシステム・リセットが実行されました。	通知
FQXSFI00018I	IFM: 互換モードを使用するには構成が大きすぎます。	通知

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSFIO0020J	PCIe スロット [arg1] で PCIe 分離が発生しました。アダプターが正常に動作していない場合があります。	通知
FQXSFIO0021I	物理 [arg1] 番号 [arg2] で PCIe DPC ソフトウェアのトリガーが発生しました。	情報
FQXSFMA0001I	DIMM [arg1] 無効がリカバリーされました。[arg2]	情報
FQXSFMA0002I	訂正不能メモリー・エラー状態がクリアされました。	情報
FQXSFMA0006I	[arg1] DIMM [arg2] が検出されました。DIMM シリアル番号は [arg3] です。	情報
FQXSFMA0007I	[arg1] DIMM 番号 [arg2] が交換されました。[arg3]	情報
FQXSFMA0008I	DIMM [arg1] POST メモリー・テスト障害が復旧しました。[arg2]	情報
FQXSFMA0009I	ミラー・モードの無効なメモリー構成が復旧しました。[arg1]	通知
FQXSFMA0010I	スペアリング・モードの無効なメモリー構成が復旧しました。[arg1]	通知
FQXSFMA0011I	メモリー装着の変化が検出されました。[arg1]	通知
FQXSFMA0012I	DIMM [arg1] の PFA が解除されました。	通知
FQXSFMA0014I	メモリーのスペア・コピーが開始されました。[arg1]	通知
FQXSFMA0015I	メモリーのスペア・コピーが正常に完了しました。[arg1]	通知
FQXSFMA0026I	DIMM [arg1] 自己復旧、ポスト・パッケージ修復が成功しました。[arg2]	通知
FQXSFMA0027I	無効なメモリー構成 (サポートされない DIMM 装着) が回復しました。	情報
FQXSFMA0029I	DIMM [arg1] の PFA は、この DIMM に PPR を適用した後、解除されました。[arg2]	情報
FQXSFMA0052I	DIMM [arg2] エラーにより DIMM [arg1] が無効になりました。[arg3]	情報
FQXSFMA0053I	メモリー・モジュールの組み合わせが更新されたため、DIMM [arg1] が再度有効になりました。	情報
FQXSFMA0056I	POST パッケージの修復を実行した後、DIMM [arg1] で発生した訂正不能メモリー・エラーの解消が検出されました。DIMM 識別子は [arg2] です。	通知
FQXSFMA0058I	メモリー・モードがフラット・モードになっています。ニア・メモリー/ファア・メモリーの比率の問題がリカバリーされました。	通知
FQXSFMA0059I	CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャネル [arg2] の疑似チャネル [arg3] でバンク・スペアリングが実行されました。	通知
FQXSFMA0060I	CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャネル [arg2] の疑似チャネル [arg3] で部分キャッシュ・ライン・スペアリングが実行されました。	通知
FQXSFMA0061I	POST パッケージの修復を実行した後、CPU [arg1] 高帯域幅メモリーで発生した訂正不能メモリー・エラーの解消が検出されました。	通知
FQXSFMA0063I	DIMM [arg1] で訂正可能メモリー・エラーが ADDDC により処理されました。DIMM 識別子は [arg2] です。	情報
FQXSFMA0065I	POST パッケージの修復を実行した後、DIMM [arg1] の複数ビット CE の修正が検出されました。DIMM 識別子は [arg2] です。	通知

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSFMA0066I	CPU [arg1] の高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] 疑似チャンネル [arg3] で高帯域幅メモリー試行ポスト・パッケージ修復 (PPR) が成功しました。	通知
FQXSFMA0067I	POST パッケージの修復を実行した後、DIMM [arg1] での行のカウンターあたりのしきい値限界超過エラーの解消が検出されました。DIMM 識別子は [arg2] です。	通知
FQXSFMA0075I	POST パッケージの修復を実行した後、CPU [arg1] 高帯域幅メモリーで発生した複数ビット CE の解消が検出されました。	通知
FQXSFP00020I	UEFI ファームウェアのイメージ・カプセルの署名が無効です。	通知
FQXSFP00021I	TPM 物理プレゼンス状態がクリアされました。	情報
FQXSFP00023I	このラウンド・ブートで障害が発生しなかったため、セキュア・ブート・イメージ検証失敗がクリアされました。	情報
FQXSFP00025I	デフォルトのシステム設定が復元されました。	情報
FQXSFP04034I	TPM ファームウェアのリカバリーが終了しました。システムをリブートすると有効になります。	情報
FQXSFP04038I	TPM ファームウェアのリカバリーに成功しました。	情報
FQXSFP04041I	TPM ファームウェア更新が進行中です。システムを電源オフまたはリセットしないでください。	情報
FQXSFP04042I	TPM ファームウェアの更新が終了しました。システムをリブートすると有効になります。	情報
FQXSFP04044I	現在の TPM ファームウェア・バージョンでは、TPM バージョンの切り替えがサポートされていません。	情報
FQXSFP04046I	TPM ファームウェアが TPM1.2 から TPM2.0 に更新されます。	情報
FQXSFP04047I	TPM ファームウェアが TPM2.0 から TPM1.2 に更新されます。	情報
FQXSFP04049I	TPM ファームウェアの更新に成功しました。	通知
FQXSFP04059I	ユーザーが、AHCI 接続 SATA ドライブのロックの凍結をスキップするように要求しました。システム UEFI は要求を受け入れ、OS 再起動前に実行します。	通知
FQXSFP04060I	AHCI 接続 SATA ドライブのロックの凍結をスキップしました。	通知
FQXSFP04061I	AHCI 接続 SATA ドライブのデフォルトのロック動作を復元しました。	通知
FQXSFP04062I	DCI インターフェースに対する CPU デバッグが非アクティブ化されました。	通知
FQXSFP04080I	ホスト始動パスワードが変更されました。	情報
FQXSFP04081I	ホスト始動パスワードがクリアされました。	情報
FQXSFP04082I	ホスト管理パスワードが変更されました。	情報
FQXSFP04083I	ホスト管理パスワードがクリアされました。	情報
FQXSFP04084I	ホスト・ブート順序が変更されました。	情報
FQXSFP04085I	ホスト WOL ブート順序が変更されました。	情報
FQXSFSM0007I	XCC システム・イベント・ログ (SEL) がフルです。	通知

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSFDR0002I	[arg1] GPT の破損がリカバリーされました。DiskGUID: [arg2]	通知
FQXSFDD0001G	ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。	警告
FQXSFDD0002M	ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。	警告
FQXSFDD0003I	ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。	警告
FQXSFDD0005M	ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。	警告
FQXSFDD0006M	ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス・ステータスのドライバーが報告されました。	警告
FQXSFDD0007G	Security Key Lifecycle Manager (SKLM) IPMI のエラーです。	警告
FQXSFIO0008M	プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード内 UPI の動的リンク幅の縮小が検出されました。	警告
FQXSFIO0009M	プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード間 UPI の動的リンク幅の縮小が検出されました。	警告
FQXSFIO0013I	リソース制約のために、バス [arg1]、デバイス [arg2]、機能 [arg3] で検出されたデバイスを構成できませんでした。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。	警告
FQXSFIO0016M	IFM: リセットのループが回避されました - 複数回のリセットは許可されていません。	警告
FQXSFIO0021J	物理 [arg1] 番号 [arg2] で PCIe エラー回復が発生しました。[arg3] が正常に動作していない場合があります。	警告
FQXSFIO0022J	物理 [arg3] 番号 [arg4] で PCIe リンク幅が [arg1] から [arg2] に低下しました。	警告
FQXSFIO0023J	物理 [arg3] 番号 [arg4] で PCIe リンク速度が [arg1] から [arg2] に低下しました。	警告
FQXSFIO0024I	プロセッサ [arg1] で IEH によってエラーが検出されました。IEH のタイプは [arg2] です。IEH のインデックスは [arg3] です。IehErrorStatus レジスタの値は [arg4] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。	警告
FQXSFIO0025I	プロセッサ [arg1] で IIO によってエラーが検出されました。IIO スタックのインデックスは [arg2] です。IIO 内部エラーのタイプは [arg3] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。	警告
FQXSFIO0036G	セグメント 0x[arg1] バス 0x[arg2] デバイス 0x[arg3] 機能 0x[arg4] で PCIe 訂正可能エラーしきい値制限を超過しました。デバイスのベンダー ID は 0x[arg5] で、デバイス ID は 0x[arg6] です。物理 [arg7] 番号は [arg8] です。	警告
FQXSFIO0041J	PCIe バケットの漏れイベント: セグメント [arg2] バス [arg3] デバイス [arg4] 機能 [arg5] で [arg1] が発生しました。物理 [arg6] 番号は [arg7] です。	警告

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSFMA0016M	メモリー・スベア・コピーが失敗しました。[arg1]	警告
FQXSFMA0026G	DIMM [arg1] で複数ビット CE が発生しました。ポスト・パッケージの修復 (PPR) を試行するには、DIMM 自己修復のためにシステムを再起動する必要があります。	警告
FQXSFMA0027G	DIMM [arg1] 複数の行でマルチ・ビット CE が発生しました。[arg2]	警告
FQXSFMA0027M	デバイス [arg6] のランク [arg2] サブランク [arg3] バンク [arg4] 行 [arg5] で、DIMM [arg1] の自己復旧、ポスト・パッケージ修復が試行され、失敗しました。[arg7]	警告
FQXSFMA0028M	デバイス [arg7] のランク [arg3] サブランク [arg4] バンク [arg5] 行 [arg6] で、DIMM [arg1] の自己復旧、ポスト・パッケージ修復 (PPR) がレベルのしきい値 [arg2] を超えました。[arg8]	警告
FQXSFMA0029G	DIMM [arg1] 自己修復、リソースなしで POST パッケージ修復 (PPR) の試行が失敗しました。[arg2]	警告
FQXSFMA0047M	DIMM [arg1] で SPD CRC の検査が失敗しました。[arg2]	警告
FQXSFMA0048M	POST 中に PMIC 障害が発生したため DIMM [arg1] が無効になりました。DIMM 識別子は [arg2] です。	警告
FQXSFMA0049M	メモリー・モジュールの電源障害のため、DIMM [arg1] が無効になりました。DIMM [arg2] が検出され、正常な状態です。DIMM [arg3] は検出されませんでした。	警告
FQXSFMA0050G	DRAM: PFA しきい値限界を DIMM [arg1] サブチャネル [arg2] ランク [arg3] DRAM [arg4] で超えました。DIMM 識別子は [arg5] です。	警告
FQXSFMA0053G	アドレス [arg2] の DIMM [arg1] でミラーリングすることで、未解決のメモリー・エラーがリカバリーされました。[arg3]	警告
FQXSFMA0053M	DIMM [arg1] に障害はありませんが、CPU [arg2] におけるメモリー・モジュールの組み合わせがサポートされていないため無効になりました。	警告
FQXSFMA0054G	ミラーリングのフェイルオーバー操作に成功しました。DIMM [arg1] は、ミラーリングされた DIMM [arg2] にフェイルオーバーしました。[arg3]	警告
FQXSFMA0055G	ミラーリングのフェイルオーバー操作に失敗しました。DIMM [arg1] を再度フェイルオーバーすることができません。[arg2]	警告
FQXSFMA0057G	ページ・リタイア PFA しきい値限界を、アドレス [arg2] の DIMM [arg1] で超えました。[arg3] [arg4]	警告
FQXSFMA0058K	CPU 広帯域幅メモリー・キャッシュ・モード構成のニア・メモリー/ファー・メモリーの比率 (1: [arg1].[arg2]) が推奨範囲 (1:[arg3] - 1:[arg4]) にありません。	警告
FQXSFMA0064M	メモリー・モジュールの電源障害のため、DIMM [arg1] が無効になりました。DIMM [arg2] が検出され、正常な状態です。	警告
FQXSFMA0067G	DIMM [arg1] サブチャネル [arg2] ランク [arg3] DRAM [arg4] で行のカウンターあたりのエラーがしきい値限界を超えました。DIMM 自己修復のためにシステムを再起動し、ポスト・パッケージの修復 (PPR) を試行する必要があります。DIMM 識別子は [arg5] です。	警告

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSFMA0067M	CPU [arg1] の高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] 疑似チャンネル [arg3] で高帯域幅メモリー試行ポスト・パッケージ修復 (PPR) が失敗しました。	警告
FQXSFMA0068G	CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] の複数の行で複数ビット CE が発生しました。	警告
FQXSFMA0068M	CPU [arg1] の高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] 疑似チャンネル [arg3] で高帯域幅メモリー試行ポスト・パッケージ修復 (PPR) がしきい値を超えました。	警告
FQXSFMA0069G	ページ・リタイア PFA しきい値限界を、アドレス [arg2] の高帯域幅メモリー CPU[arg1] で超えました。[arg3]	警告
FQXSFMA0070G	CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] で POST 中に、POST パッケージ修復障害とバンク・スペアリングが発生しました。	警告
FQXSFMA0072M	装着エラーのため、CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] が無効になりました。	警告
FQXSFMA0075G	CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] で複数ビット CE が発生しました。高帯域幅メモリー自己修復のためにシステムを再起動し、POST パッケージの修復 (PPR) を試みる必要があります。	警告
FQXSFMA0076M	DIMM [arg1] はサポートされていません。DIMM 識別子は [arg2] です。	警告
FQXSFP0022G	TPM 構成がロックされていません。	警告
FQXSFP0023G	セキュア・ブートのイメージ検証失敗の警告。	警告
FQXSFP0033G	プロセッサが無効にされました。	警告
FQXSFP0062F	MC ステータス [arg4]、MC アドレス [arg5]、MC Misc [arg6] のプロセッサ [arg1] コア [arg2] MC バンク [arg3] で、未解決のリカバリー可能システム・エラーが発生しました。	警告
FQXSFP04033F	TPM ファームウェアのリカバリーが進行中です。システムを電源オフまたはリセットしないでください。	警告
FQXSFP04035M	TPM ファームウェアのリカバリーに失敗しました。TPM チップが破損している可能性があります。	警告
FQXSFP04040M	TPM セルフテストが失敗しました。	警告
FQXSFP04043G	TPM ファームウェアの更新が中止されました。システムをリブートしています...	警告
FQXSFP04050G	TPM ファームウェアの更新に失敗しました。	警告
FQXSFP04051G	未定義の TPM_POLICY が見つかりました	警告
FQXSFP04052G	TPM_POLICY がロックされていません。	警告
FQXSFP04053G	システム TPM_POLICY がブレーナーと一致しません。	警告
FQXSFP04054G	TPM カードの論理バインドに失敗しました。	警告
FQXSFP04062M	DCI インターフェースに対する CPU デバッグがアクティブ化されました。	警告
FQXSFPW0001L	CMOS がクリアされました。	警告

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSFSM0002N	管理モジュールによってブート許可が拒否されました: システム停止。	警告
FQXSFSM0003N	管理モジュールからのブート許可の待機がタイムアウトになりました: システム停止。	警告
FQXSFSM0004M	XCC 通信障害が発生しました。	警告
FQXSFSR0001M	[arg1] GPT の破損が検出されました。DiskGUID: [arg2]	警告
FQXSFSR0003G	ブート試行回数を超過しました。起動可能デバイスが見つかりません。	警告
FQXSFTTR0001L	無効な日時が検出されました。	警告
FQXSFD0004M	ドライバー・ヘルス・プロトコル:「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。	エラー
FQXSFD0012K	SATA ハードディスク・ドライブ・エラー: [arg1]。	エラー
FQXSFI0005M	プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード内 UPI 障害が検出されました。	エラー
FQXSFI0006M	プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード間 UPI 障害が検出されました。	エラー
FQXSFI0007M	バス [arg1] で組み込み I/O によってエラーが検出されました。グローバルな致命的エラー・ステータス・レジスターの値は [arg2] です。グローバルな非致命的エラー・ステータス・レジスターの値は [arg3] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。	エラー
FQXSFI0010M	訂正不能 PCIe エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理 [arg6] 番号は [arg7] です。	エラー
FQXSFI0011M	PCIe パリティ・エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。	エラー
FQXSFI0012M	PCIe システム・エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。	エラー
FQXSFI0014J	バス [arg1]、デバイス [arg2]、機能 [arg3] でデバイスの不正な option ROM チェックサムが検出されました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。	エラー
FQXSFI0017M	IFM: XCC との通信でエラーが発生しました - IFM が正常にデプロイされない可能性があります。	エラー
FQXSFI0019J	PCIe リソースの競合です。	エラー
FQXSFI0024M	プロセッサ [arg1] で IEH によってエラーが検出されました。IEH のタイプは [arg2] です。IEH のインデックスは [arg3] です。IehErrorStatus レジスターの値は [arg4] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。	エラー

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSFIO0025M	プロセッサ [arg1] で IIO によってエラーが検出されました。IIO スタックのインデックスは [arg2] です。IIO 内部エラーのタイプは [arg3] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。	エラー
FQXSFIO0035M	訂正不能 PCIe エラーがセグメント 0x[arg1] バス 0x[arg2] デバイス 0x[arg3] 機能 0x[arg4] で発生しました。デバイスのベンダー ID は 0x[arg5] で、デバイス ID は 0x[arg6] です。物理 [arg7] 番号は [arg8] です。	エラー
FQXSFMA0001M	POST 時にエラーが検出されたため、DIMM [arg1] が無効になりました。[arg2]	エラー
FQXSFMA0002M	DIMM [arg1] アドレス [arg2] で訂正不能メモリー・エラーが検出されました。[arg3]	エラー
FQXSFMA0003K	メモリーの不一致が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。[arg1]	エラー
FQXSFMA0004N	システム・メモリーが検出されませんでした。[arg1]	エラー
FQXSFMA0005N	システム内にメモリーが存在しますが、構成できませんでした。メモリー構成が有効であることを確認してください。[arg1]	エラー
FQXSFMA0008M	DIMM [arg1] が POST メモリー・テストに失敗しました。[arg2]	エラー
FQXSFMA0009K	ミラー・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。[arg1]	エラー
FQXSFMA0010K	スペアリング・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。[arg1]	エラー
FQXSFMA0023M	NVDIMM フラッシュでエラーが発生しました。NVDIMM のバックアップ/復元が正常に動作していない場合があります。[arg1]	エラー
FQXSFMA0024M	NVDIMM スーパーキャップでエラーが発生しました。NVDIMM のバックアップ/復元が正常に動作していない場合があります。[arg1]	エラー
FQXSFMA0025M	NVDIMM スーパーキャップが切断されました。接続されるまで、NVDIMM のバックアップ能力が失われます。[arg1]	エラー
FQXSFMA0027K	無効なメモリー構成 (サポートされない DIMM 装着) が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。	エラー
FQXSFMA0028K	メモリー容量が CPU の限度を超えました。[arg1]	エラー
FQXSFMA0056M	未解決のリカバリー可能メモリー・エラーがアドレス [arg2] の DIMM [arg1] で検出されました。[arg3]	エラー
FQXSFMA0061M	CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] で、未解決のリカバリー可能メモリー・エラーが発生しました。	エラー
FQXSFMA0062M	CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] で、訂正不能メモリー・エラーが発生しました。	エラー
FQXSFMA0065M	CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] で、メモリー・アドレス・パリティ・エラーが発生しました。	エラー
FQXSFMA0066M	DIMM [arg3] の CPU [arg1] チャンネル [arg2] で、メモリー・アドレス・パリティ・エラーが発生しました。	エラー
FQXSFMA0071M	CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] で POST 中にバンク・スペアリング障害が発生しました。	エラー

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSFMA0073M	CPU [arg1] で高帯域幅メモリー・ビルトイン・セルフテストが失敗しました。	エラー
FQXSFMA0074M	CPU [arg1] で高帯域幅メモリー・エラー・トレーニングが失敗しました。	エラー
FQXSFMA0077N	DIMM [arg1] の SPD へのアクセス中に SMBus 障害が発生しました。[arg2]。	エラー
FQXSFMA0078N	システム・ファームウェアでメモリー初期化中に致命的エラー [arg1] が発生しました。	エラー
FQXSFMA0084M	高帯域幅メモリー CPU [arg2] のメモリー・スペア行がしきい値 [arg1] 未満です。	エラー
FQXSFP00001N	サポートされていないプロセッサが検出されました。	エラー
FQXSFP00002N	無効なプロセッサ・タイプが検出されました。	エラー
FQXSFP00003K	システム内の 1 つ以上のプロセッサ間でプロセッサの不一致が検出されました。	エラー
FQXSFP00004K	システム内の 1 つ以上のプロセッサによって報告されたコアの数の不一致が検出されました。	エラー
FQXSFP00005K	1 つ以上のプロセッサで許容される最大 UPI リンク速度の不一致が検出されました。	エラー
FQXSFP00006K	1 つ以上のプロセッサで電源セグメントの不一致が検出されました。	エラー
FQXSFP00007K	プロセッサの内部 DDR 周波数が一致していません。	エラー
FQXSFP00008K	1 つ以上のプロセッサでコア速度の不一致が検出されました。	エラー
FQXSFP00009K	1 つ以上のプロセッサで外部クロック周波数の不一致が検出されました。	エラー
FQXSFP00010K	1 つ以上のプロセッサでキャッシュ・サイズの不一致が検出されました。	エラー
FQXSFP00011K	1 つ以上のプロセッサでキャッシュ・タイプの不一致が検出されました。	エラー
FQXSFP00012K	1 つ以上のプロセッサでキャッシュの結合順序の不一致が検出されました。	エラー
FQXSFP00013K	1 つ以上のプロセッサでプロセッサの型式の不一致が検出されました。	エラー
FQXSFP00014N	1 つ以上のプロセッサでプロセッサのファミリーの不一致が検出されました。	エラー
FQXSFP00015K	1 つ以上のプロセッサでプロセッサのステッピングの不一致が検出されました。	エラー
FQXSFP00016N	システム内のプロセッサが BIST に失敗しました。	エラー
FQXSFP00017G	プロセッサ・マイクロコードの更新に失敗しました。	エラー
FQXSFP00018N	CATERR(IERR) がプロセッサ [arg1] で検出されました。	エラー
FQXSFP00019N	プロセッサ [arg1] で訂正不能エラーが検出されました。	エラー

表 3. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXSFP0027N	MC ステータス [arg4]、MC アドレス [arg5]、MC Misc [arg6] のプロセッサ [arg1] コア [arg2] MC バンク [arg3] で、訂正不能エラーが発生しました。	エラー
FQXSFP0030N	UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。	エラー
FQXSFP0031N	POST 試行回数が F1 セットアップで構成された値に達しました。システムはデフォルト UEFI 設定でブートしました。ユーザー指定の設定は保持され、再起動前に変更しない限り、次回以降のブートで使用されます。	エラー
FQXSFP0034L	TPM を正しく初期化できませんでした。	エラー
FQXSFP0035N	プロセッサ [arg1] でスリープ・タイムアウトが発生しました。	エラー
FQXSFP04056M	TPM カードが変更されました。システム出荷時に同梱されていた元の TPM カードに取り付け直してください。	エラー
FQXSFSM0008M	ブート許可のタイムアウトが検出されました。	エラー

UEFI イベントのリスト

このセクションでは、UEFI から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

- FQXSFD0001G: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 「「F1 Setup」に進む」>「システム設定」>「設定」>「ドライバー・ヘルス・ステータス・リスト」に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見つけます。
2. 「システム設定」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存して、システムを再起動します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFD0002M: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」ステータスのコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。

3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFDD0003I: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 操作は不要です – POST の最後にシステムがリブートします。
2. アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFDD0004M: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。**

重大度: 致命的

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFDD0005M: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断が失敗しました。「リブート」が必要です。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートし、コントローラーを再接続します。
2. アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFDD0006M: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス・ステータスのドライバーが報告されました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。

3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFDD0007G: Security Key Lifecycle Manager (SKLM) IPMI のエラーです。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないか確認します。
2. システムの AC サイクルを実行します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFDD0012I: SATA ハードディスク・ドライブ・エラー: [arg1] がリカバリーされました。**

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] システムのスロット/ベイ・ラベル名

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSFDD0012K: SATA ハードディスク・ドライブ・エラー: [arg1]。**

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] システムのスロット/ベイ・ラベル名

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの電源をオフにします。
2. SATA ドライブを再度挿入し、バックプレーンに完全に接続されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFIO00005I: UPI トポロジーがダウングレードされたため、プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード内 UPI が無効になりました。**

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ポート番号

[arg3] ソケット番号、1 ベース

[arg4] ポート番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. このイベントの後に、UPI トポロジーのダウングレードの原因となる UPI リンクの障害を示す最新の FQXSFIO0005M / FQXSFIO0006M イベントが続く必要があります。
2. 先にイベント FQXSFIO0005M / FQXSFIO0006M を解決すると、このイベントは自動で解決されます。
3. 最近のイベント、または FQXSFIO0005M / FQXSFIO0006M 修正後のイベントがない場合でも、このイベントが引き続き発生する場合は、サービス・データ・ログを収集して、Lenovo サポートに連絡します。

- FQXSFIO0005M: プロセッサー [arg1] ポート [arg2] とプロセッサー [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード内 UPI 障害が検出されました。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ポート番号

[arg3] ソケット番号、1 ベース

[arg4] ポート番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。

- FQXSFIO0006I: UPI トポロジーがダウングレードされたため、プロセッサー [arg1] ポート [arg2] とプロセッサー [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード間 UPI が無効になりました。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ポート番号

[arg3] ソケット番号、1 ベース

[arg4] ポート番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. このイベントの後に、UPI トポロジーのダウングレードの原因となる UPI リンクの障害を示す最新の FQXSFIO0005M / FQXSFIO0006M イベントが続く必要があります。
2. 先にイベント FQXSFIO0005M / FQXSFIO0006M を解決すると、このイベントは自動で解決されます。
3. 最近のイベント、または FQXSFIO0005M / FQXSFIO0006M 修正後のイベントがない場合でも、このイベントが引き続き発生する場合は、サービス・データ・ログを収集して、Lenovo サポートに連絡します。

- FQXSFIO0006M: プロセッサー [arg1] ポート [arg2] とプロセッサー [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード間 UPI 障害が検出されました。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ポート番号

[arg3] ソケット番号、1 ベース

[arg4] ポート番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFIO0007M: バス [arg1] で IIO によってエラーが検出されました。グローバルな致命的エラー・ステータス・レジスターの値は [arg2] です。グローバルな非致命的エラー・ステータス・レジスターの値は [arg3] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] バス

[arg2] グローバルな致命的エラー・ステータスの登録値

[arg3] グローバルな非致命的エラー・ステータスの登録値

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。

- FQXSFIO0008M: プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード内 UPI の動的リンク幅の縮小が検出されました。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ポート番号

[arg3] ソケット番号、1 ベース

[arg4] ポート番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。

- FQXSFIO0009M: プロセッサ [arg1] ポート [arg2] とプロセッサ [arg3] ポート [arg4] 間のリンクでボード間 UPI の動的リンク幅の縮小が検出されました。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ポート番号

[arg3] ソケット番号、1 ベース

[arg4] ポート番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。

2. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFI00010M: 訂正不能 PCIe エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理 [arg6] 番号は [arg7] です。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] バス

[arg2] デバイス

[arg3] 機能

[arg4] VID

[arg5] DID

[arg6] スロット/ベイ

[arg7] インスタンス番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトで、このエラーに該当するデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないか確認します。新規のデバイス・ドライバーおよび必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このデバイスや、接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合。
 - a. アダプターまたはディスクと接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバーを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットを低速に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2/Gen3 の設定は、F1 セットアップ->「システム設定」->「デバイスおよび I/O ポート」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3/Gen4 速度選択」または OneCLI ユーティリティを使用して構成できます。
 - d. 同一ノード内の 2 番目のスロットでも PCIe エラーが報告されている場合は、そのアダプターまたはディスクでも上記の手順 a、b、c を実行してから次に進んでください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFI00011M: PCIe パリティ・エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] バス

[arg2] デバイス

[arg3] 機能

[arg4] VID

[arg5] DID

[arg6] インスタンス番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトで、このエラーに該当するデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないか確認します。新規のデバイス・ドライバーおよび必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
 2. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守またはアップグレードが最近行われた場合。
 - a. アダプターおよび接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバーを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」 または OneCLI ユーティリティーを使用して構成できます。
 - d. 同一ノード内の 2 番目のスロットでも PCIe エラーが報告されている場合は、そのアダプターでも上記の手順 a、b、c を実行してから次に進んでください。
 3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。
- FQXSFIO0012M: PCIe システム・エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] バス

[arg2] デバイス

[arg3] 機能

[arg4] VID

[arg5] DID

[arg6] インスタンス番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトで、このエラーに該当するデバイス・ドライバ、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないか確認します。新規のデバイス・ドライバおよび必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このデバイスや、接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合。
 - a. アダプターおよび接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」 または OneCLI ユーティリティーを使用して構成できます。
 - d. 同一ノード内の 2 番目のスロットでも PCIe エラーが報告されている場合は、そのアダプターでも上記の手順 a、b、c を実行してから次に進んでください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFIO00013I: リソース制約のために、バス [arg1]、デバイス [arg2]、機能 [arg3] で検出されたデバイスを構成できませんでした。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] バス

[arg2] デバイス

[arg3] 機能

[arg4] VID

[arg5] DID

[arg6] インスタンス番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないか確認します (注: アダプター・ファームウェアを更新するには、UEFI F1 セットアップ、OneCLI ユーティリティー、またはアダプター製造元のユーティリティーを使用して、未使用のオプション ROM を無効にする必要がある場合があります)。
3. アダプターを別のスロットに移動します。スロットが利用不能であるか、エラーが再発する場合は、アダプターを交換します。

4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFIO0014J: バス [arg1]、デバイス [arg2]、機能 [arg3] でデバイスの不正なオプションの ROM チェックサムが検出されました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。物理スロット番号は [arg6] です。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] バス

[arg2] デバイス

[arg3] 機能

[arg4] VID

[arg5] DID

[arg6] インスタンス番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合は、アダプターおよび接続ケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないか確認します。

注：アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティー・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、F1 セットアップ->「システム設定」->「デバイスおよび I/O ポート」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または OneCLI ユーティリティーを使用して構成できます。

4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFIO0015I: IFM: アダプターをリセットするためにシステム・リセットが実行されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSFIO0016M: IFM: リセットのループが回避されました - 複数回のリセットは許可されていません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFIO0017M: IFM: XCC との通信でエラーが発生しました - IFM が正常にデプロイされない可能性があります。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. すべてのシステム・ファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。

注: デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、更新の前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認します。

2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFIO0018I: IFM: 互換モードを使用するには構成が大きすぎます。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSFIO0019J: PCIe リソースの競合です。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないか確認します。

注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティ・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または OneCLI ユーティリティを使用して構成できます。

4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFIO0020J: PCIe スロット [arg1] で PCIe 分離が発生しました。アダプターが正常に動作していない場合があります。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] スロット番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当するシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. システム仕様をチェックして、PCIe デバイスが互換性のある PCIe スロットに取り付けられていること、および互換性のあるケーブルが使用されていることを確認してください。そうでない場合、このデバイスのパフォーマンスに影響する可能性があります。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFIO0021I: 物理 [arg1] 番号 [arg2] で PCIe DPC ソフトウェアのトリガーが発生しました。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] スロット/ベイ

[arg2] スロット番号/ベイ番号

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFIO0021J: 物理 [arg1] 番号 [arg2] で PCIe エラー回復が発生しました。[arg3] が正常に動作していない場合があります。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] スロット/ベイ

[arg2] インスタンス番号

[arg3] アダプター/ディスク

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスまたは NVME ディスクに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに該当するシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. システム仕様をチェックして、PCIe デバイスまたは NVME ディスクが互換性のある PCIe スロットか互換性のあるベイに取り付けられ、互換性のあるケーブルが使用されていることを確認してください。そうでない場合、このデバイスのパフォーマンスに影響する可能性があります。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。

- FQXSFIO0022J: 物理 [arg3] 番号 [arg4] で PCIe リンク幅が [arg1] から [arg2] に低下しました。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] x16/x8/x4/x2/x1

[arg2] x16/x8/x4/x2/x1

[arg3] スロット/ベイ

[arg4] インスタンス番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスまたは NVME ディスクに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに該当するシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. システム仕様をチェックして、PCIe デバイスまたは NVME ディスクが互換性のある PCIe スロットか互換性のあるベイに取り付けられ、互換性のあるケーブルが使用されていることを確認してください。そうでない場合、このデバイスのパフォーマンスに影響する可能性があります。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。

- FQXSFIO0023J: 物理 [arg3] 番号 [arg4] で PCIe リンク速度が [arg1] から [arg2] に低下しました。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] 32 GT/s / 16 GT/s / 8.0 GT/s / 5.0 GT/s / 2.5 GT/s

[arg2] 32 GT/s / 16 GT/s / 8.0 GT/s / 5.0 GT/s / 2.5 GT/s

[arg3] スロット/ベイ

[arg4] インスタンス番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスまたは NVME ディスクに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに該当するシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. システム仕様をチェックして、PCIe デバイスまたは NVME ディスクが互換性のある PCIe スロットか互換性のあるベイに取り付けられ、互換性のあるケーブルが使用されていることを確認してください。そうでない場合、このデバイスのパフォーマンスに影響する可能性があります。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。

- FQXSFIO0024I: プロセッサ [arg1] で IEH によってエラーが検出されました。IEH のタイプは [arg2] です。IEH のインデックスは [arg3] です。IehErrorStatus レジスターの値は [arg4] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] プロセッサ番号、1 - ベース

[arg2] IEH タイプ

[arg3] IEH インデックス

[arg4] IehErrorStatus 登録値

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0024M: プロセッサ [arg1] で IEH によってエラーが検出されました。IEH のタイプは [arg2] です。IEH のインデックスは [arg3] です。IehErrorStatus レジスターの値は [arg4] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] プロセッサ番号、1 - ベース

[arg2] IEH タイプ

[arg3] IEH インデックス

[arg4] IehErrorStatus 登録値

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0025I: プロセッサ [arg1] で IIO によってエラーが検出されました。IIO スタックのインデックスは [arg2] です。IIO 内部エラーのタイプは [arg3] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] プロセッサ番号、1 - ベース

[arg2] IIO スタック・インデックス

[arg3] VTD エラー / CBDMA エラー / M2PCIE エラー / IRP エラー / Ring エラー / ITC エラー / OTC エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0025M: プロセッサ [arg1] で IIO によってエラーが検出されました。IIO スタックのインデックスは [arg2] です。IIO 内部エラーのタイプは [arg3] です。追加のダウンストリーム・デバイスのエラー・データのエラー・ログをチェックしてください。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] プロセッサ番号、1 - ベース

[arg2] IIO スタック・インデックス

[arg3] VTD エラー / CBDMA エラー / M2PCIE エラー / IRP エラー / Ring エラー / ITC エラー / OTC エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。

2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0035M: 訂正不能 PCIe エラーがセグメント 0x[arg1] バス 0x[arg2] デバイス 0x[arg3] 機能 0x[arg4] で発生しました。デバイスのベンダー ID は 0x[arg5] で、デバイス ID は 0x[arg6] です。物理 [arg7] 番号は [arg8] です。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] セグメント

[arg2] バス

[arg3] デバイス

[arg4] 機能

[arg5] VID

[arg6] DID

[arg7] スロット/ベイ

[arg8] インスタンス番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトで、このエラーに該当するデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないか確認します。新規のデバイス・ドライバーおよび必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このデバイスや、接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合。
 - a. アダプターまたはディスクと接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバーを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」 または OneCLI ユーティリティを使用して構成できます。
 - d. 同一ノード内の 2 番目のスロットでも PCIe エラーが報告されている場合は、そのアダプターまたはディスクでも上記の手順 a、b、c を実行してから次に進んでください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFIO0036G: セグメント 0x[arg1] バス 0x[arg2] デバイス 0x[arg3] 機能 0x[arg4] で PCIe 訂正可能エラーしきい値制限を超過しました。デバイスのベンダー ID は 0x[arg5] で、デバイス ID は 0x[arg6] です。物理 [arg7] 番号は [arg8] です。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] セグメント

[arg2] バス

[arg3] デバイス

[arg4] 機能

[arg5] VID

[arg6] DID

[arg7] スロット/ベイ

[arg8] インスタンス番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトで、このエラーに該当するデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないか確認します。新規のデバイス・ドライバーおよび必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このデバイスや、接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合。
 - a. アダプターまたはディスクと接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバーを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットを低速に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2/Gen3 の設定は、F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3/Gen4 速度選択」 または OneCLI ユーティリティーを使用して構成できます。
 - d. 同一ノード内の 2 番目のスロットでも PCIe エラーが報告されている場合は、そのアダプターまたはディスクでも上記の手順 a、b、c を実行してから次に進んでください。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFI00041J: PCIe バケットの漏れイベント: セグメント [arg2] バス [arg3] デバイス [arg4] 機能 [arg5] で [arg1] が発生しました。物理 [arg6] 番号は [arg7] です。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] PCIe バケットの漏れイベント

[arg2] セグメント

[arg3] バス

[arg4] デバイス

[arg5] 機能

[arg6] スロット/ベイ

[arg7] インスタンス番号

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスまたは NVME ディスクに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに該当するシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. システム仕様をチェックして、PCIe デバイスまたは NVME ディスクが互換性のある PCIe スロットか互換性のあるベイに取り付けられ、互換性のあるケーブルが使用されていることを確認してください。そうでない場合、このデバイスのパフォーマンスに影響する可能性があります。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0001I: DIMM [arg1] 無効がリカバリーされました。[arg2]**

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] DIMM スロット・シルク・ラベル

[arg2] S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSFMA0001M: POST 時にエラーが検出されたため、DIMM [arg1] が無効になりました。[arg2]**

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] DIMM スロット・シルク・ラベル

[arg2] S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 対象の DIMM 取り付け直します (注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の FQXSFMA0001I イベントが記録されている場合があります)。
2. F1 セットアップからブートして、DIMM を有効にします (AMD の場合、セットアップで DIMM を有効にする必要はありません)。システムをリブートします。
3. UEFI ファームウェアを最新のバージョンに更新します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFMA0002I: 訂正不能メモリー・エラー状態がクリアされました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0002M: DIMM [arg1] アドレス [arg2] で訂正不能メモリー・エラーが検出されました。[arg3]

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2] エラーが発生したシステムのアドレス

[arg3] S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトを参照し、このメモリー・エラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 対象の DIMM 取り付け直します (注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の FQXSFMA0011I イベントが記録されている場合があります)。
3. 影響を受けた DIMM を正常と判明している DIMM とスワップし、問題が依然として観察されるかどうかを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFMA0003K: メモリーの不一致が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。[arg1]

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ブートして UEFI F1 画面を表示し、メモリー DIMM が無効かどうかを確認します。以前の訂正不能エラーまたは UEFI メモリー・テスト/トレーニング・エラーのために、メモリーが無効になっている可能性があります。
2. DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. UEFI ファームウェアを最新のバージョンに更新します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFMA0004N: システム・メモリーが検出されませんでした。[arg1]**

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1]/S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 1 つ以上のサポートされている DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
2. システムに Lightpath がある場合、点灯している DIMM コネクター LED がないかを確認し、ある場合は、その DIMM を取り付け直します。別の方法 (Lightpath が使用できない場合など) として、XCC GUI を使用して同じことができます。
3. システム内で複数の DIMM が使用可能な場合は、スロット間で DIMM をスワップします。
4. その問題が発生する直前に DIMM をアップグレードした場合、別の構成または最小構成で UEFI を更新します。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFMA0005N: システム内にメモリーが存在しますが、構成できませんでした。メモリー構成が有効であることを確認してください。[arg1]**

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1]/S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. 既存のメモリー・エラーがある場合は、それを解決します。
3. メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED が点灯していない場合は、Setup Utility または OneCLI ユーティリティを使用して、すべての DIMM コネクターが有効になっているかどうかを確認します。
4. 本製品のサービス情報に従って DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認して、すべての DIMM を取り付け直します。
5. CMOS メモリーをクリアします。ファームウェアの設定はすべてデフォルトに戻されることに注意してください。
6. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。

7. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0006I : [arg1] DIMM [arg2] が検出されました。DIMM シリアル番号は [arg3] です。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1]/Lenovo 未認定/Lenovo 以外

[arg2]/DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg3]/DIMM シリアル番号。

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この情報イベントが XCC イベント・ログに記録されている場合、サーバーに適格でないメモリーが取り付けられています。
2. 取り付けられているメモリーは、保証の対象にならない場合があります。
3. 適格なメモリーがない場合、業界標準を超えてサポートされている速度は有効になりません。
4. 貴社担当の営業担当員または Authorized Business Partner に連絡して、適格なメモリーを発注し、適格でない DIMM を交換してください。
5. 適格なメモリーを取り付けてサーバーの電源を入れた後、この情報イベントがログに再び記録されないことを確認してください。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0007I : [arg1] DIMM 番号 [arg2] が交換されました。[arg3]

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1]/Lenovo 未認定/Lenovo 以外

[arg2]/DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg3]/DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. このイベントの後に、サーバーに適格ではないメモリーが取り付けられていることを示す最近の FQXSFMA0006I イベントが続く必要があります。
2. 情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0008I : DIMM [arg1] POST メモリー・テスト障害が復旧しました。[arg2]

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1]/DIMM スロット・シルク・ラベル

[arg2]/S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0008M: DIMM [arg1] が POST メモリー・テストに失敗しました。[arg2]

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1]/DIMM スロット・シルク・ラベル

[arg2]/S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. この障害が発生する前に DIMM 構成を変更した場合、DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
2. POST メモリー・テストに失敗した DIMM と隣接するスロットの DIMM (装着されている場合) を取り付け直します。ブートして F1 セットアップを表示し、DIMM を有効にします。システムをリブートします。
3. DIMM を障害が発生した場所と、正常と判明している別の場所をスワップし、障害が DIMM または DIMM スロットによるものかを確認します。
4. XCC / UEFI の更新プロセス中にこの問題が発生した場合:
 - a. 数秒間、電源を取り外してシステムの電源サイクルを行います。
 - b. バッテリーを数秒間取り外して CMOS 設定をクリアします。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0009I: ミラー・モードの無効なメモリー構成が復旧しました。[arg1]

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1]/S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0009K: ミラー・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。[arg1]

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1]/S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ブートして F1 セットアップを表示させるか、XCC web ですべての DIMM が有効になっており、機能していることを確認します。いずれかの DIMM が機能していない場合、まずそれを解決します。

2. 本製品のサービス情報に従って、DIMM コネクタがミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0010I: スペアリング・モードの無効なメモリー構成が復旧しました。[arg1]**

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1]/S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSFMA0010K: スペアリング・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。[arg1]**

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1]/S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ブートして F1 セットアップを表示させるか、XCC web ですべての DIMM が有効になっており、機能していることを確認します。いずれかの DIMM が機能していない場合、まずそれを解決します。
2. 本製品のサービス情報に従って、DIMM コネクタがスペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0011I: メモリー装着の変化が検出されました。[arg1]**

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1]/S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムで DIMM の追加または取り外しを行い、追加のエラーが検出されなかった場合は、このメッセージを無視してください。
2. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

- **FQXSFMA0012I: DIMM [arg1] の PFA が解除されました。**

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1]DIMM シルク・ラベル、1 ベース

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0014I: メモリーのスペア・コピーが開始されました。[arg1]

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1]S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0015I: メモリーのスペア・コピーが正常に完了しました。[arg1]

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1]S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

- FQXSFMA0016M: メモリー・スペア・コピーが失敗しました。[arg1]

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1]S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. ブートして UEFI F1 画面を表示し、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFMA0023M: NVDIMM フラッシュでエラーが発生しました。NVDIMM のバックアップ/復元が正常に動作していない場合があります。[arg1]

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1]S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 対象の NDIMM、および隣接するスロットの DIMM (装着されている場合) を取り付け直します。
2. Lenovo サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFMA0024M : NVDIMM スーパーキャップでエラーが発生しました。NVDIMM のバックアップ/復元が正常に動作していない場合があります。[arg1]**

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1]/S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを目視で確認します。
2. バッテリー・バックアップ・ユニット・コネクタに問題が見られない場合、または問題が解決しない場合は、Lenovo サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFMA0025M : NVDIMM スーパーキャップが切断されました。接続されるまで、NVDIMM のバックアップ能力が失われます。[arg1]**

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1]/S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルのバッテリー・バックアップ・ユニット・コネクタに異物がないことを目視で確認します。
2. バッテリー・バックアップ・ユニット・コネクタに問題が見られない場合、または問題が解決しない場合は、Lenovo サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFMA0026G: DIMM [arg1] で複数ビット CE が発生しました。ポスト・パッケージの修復 (PPR) を試行するには、DIMM 自己修復のためにシステムを再起動する必要があります。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. DIMM 自己修復がハード・ポスト・パッケージの修復 (PPR) を試行できるようにシステムを再起動し、イベント ID FQXSFMA0026I が記録されたことを確認します。
2. 問題が解決しない場合やイベント ID FQXSFMA0027M または FQXSFMA0028M が原因で PPR の試行が失敗した場合は、サービス・データ・ログを収集して、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0026I: DIMM [arg1] 自己復旧、ポスト・パッケージ修復が成功しました。[arg2]

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2] DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 情報メッセージ。アクションは不要です。
2. 注: Post Package Repair (PPR) – 不良なセルまたはアドレス行へのアクセスを DRAM デバイス内の予備の行で置き換えるメモリー自己修復プロセスです。
 - a. Soft Post Package Repair (sPPR) - 現在のブート・サイクルの行を修復します。システム電源が取り外されている場合、またはシステムがリブート (リセット) された場合、DIMM は元の状態に戻ります。
 - b. Hard Post Package Repair (hPPR) – 行を永続的に修復します。

- FQXSFMA0027G: DIMM [arg1] 複数の行でマルチ・ビット CE が発生しました。[arg2]

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2] DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XClarity Provisioning Manager を仕様して、詳細メモリー・テストを実行します。診断 > 診断の実行 > メモリー・テスト > 詳細メモリー・テストの順にクリックして DIMM を修復します。
2. Lightpath あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された障がいのある DIMM を取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0027I: 無効なメモリー構成 (サポートされない DIMM 装着) が回復しました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0027K: 無効なメモリー構成 (サポートされない DIMM 装着) が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. このイベントは、訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントを解決します。他のエラーあるいはアクションによって無効になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. 本製品のサービス情報に従って、DIMM が正しい順序で装着されていることを確認します。
3. DIMM が存在しており、適切に取り付けられている場合は、点灯している DIMM コネクター・エラー LED がないかを確認し、その DIMM を取り付け直します。メモリー診断コードのログを確認します。
4. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
5. 問題が解決しない場合は、UEFI ファームウェアを更新します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFMA0027M: デバイス [arg6] のランク [arg2] サブランク [arg3] バンク [arg4] 行 [arg5] で、DIMM [arg1] の自己復旧、ポスト・パッケージ修復が試行され、失敗しました。[arg7]

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2] ランク番号

[arg3] サブランク番号

[arg4] 銀行番号

[arg5] 行番号

[arg6] DramDevice

[arg7] S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 対象の DIMM 取り付け直します (注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の FQXSFMA0011I イベントが記録されている場合があります)。
2. ブートして F1 セットアップを表示し、DIMM を有効にします。システムをリブートします。
3. UEFI ファームウェアを最新のバージョンに更新します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFMA0028K: メモリー容量が CPU の限度を超えました。[arg1]

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムから AC 電源を取り外します。
2. メモリー容量がプロセッサの部品番号限度を超えないようにメモリー構成を変更します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFMA0028M: デバイス [arg7] のランク [arg3] サブランク [arg4] バンク [arg5] 行 [arg6] で、DIMM [arg1] の自己復旧、ポスト・パッケージ修復が DIMM レベルのしきい値 [arg2] を超えました。[arg8]

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2] PprAttemptThreshold

[arg3] ランク番号

[arg4] サブランク番号

[arg5] 銀行番号

[arg6] 行番号

[arg7] DramDevice

[arg8] S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 対象の DIMM 取り付け直します (注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の FQXSFMA0011I イベントが記録されている場合があります)。
2. ブートして F1 セットアップを表示し、DIMM を再び有効にします。システムをリブートします。
3. UEFI ファームウェアを最新のバージョンに更新します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFMA0029G: DIMM [arg1] 自己修復、リソースなしで POST パッケージ修復 (PPR) の試行が失敗しました。[arg2]

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2] DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0029I: DIMM [arg1] の PFA は、この DIMM に PPR を適用した後、解除されました。[arg2]

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2] DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0047M: DIMM [arg1] で SPD CRC の検査が失敗しました。[arg2]

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1]DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2]DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの仮想再取り付けまたは AC サイクルを実行します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。

- FQXSFMA0048M: POST 中に PMIC 障害が発生したため DIMM [arg1] が無効になりました。DIMM 識別子は [arg2] です。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1]無効になった DIMM

[arg2]DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. イベント・メッセージで指定されたスロットに DIMM を取り付け直します。
3. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0049M: メモリー・モジュールの電源障害のため、DIMM [arg1] が無効になりました。DIMM [arg2] が検出され、正常な状態です。DIMM [arg3] は検出されませんでした。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1]無効になったスロット

[arg2]無効ですが、DIMM を検出しました

[arg3]無効ですが、DIMM を検出しません。例えば、「DIMM 1、2 はメモリー・モジュールの電源障害のため無効になりました。DIMM 2 が検出され、良好です。DIMM 1 は検出されません。」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. メッセージに示された DIMM スロットを確認してください。DIMM が取り付けられているが検出されない場合、DIMM を取り外してから、A/C 電源を復元してシステムの電源をオンにします。

3. 検出されない DIMM を取り外した後もすべての DIMM が検出されたり、エラーが続いたりする場合、メッセージに示されたスロットのすべての DIMM を取り付け直した後、A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにしてください。
4. 問題が解決しないか、検出されない DIMM を交換する必要がある場合、サービス・データ・ログを収集して Lenovo サポートにお問い合わせください。

- FQXSFMA0050G: DRAM PFA しきい値限界を DIMM [arg1] サブチャネル [arg2] ランク [arg3] DRAM [arg4] を超えました。DIMM 識別子は [arg5] です。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル

[arg2] サブ・チャンネル

[arg3] ランク番号

[arg4] デバイス番号 (0&1&2)

[arg5] DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. 影響を受ける DIMM を取り付け直します。
3. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
4. Lenovo サポートサイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. XClarity Provisioning Manager を仕様して、詳細メモリー・テストを実行します。診断 > 診断の実行 > メモリー・テスト > 詳細メモリー・テストの順にクリックして DIMM を修復します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0052I: DIMM [arg2] エラーにより DIMM [arg1] が無効になりました。[arg3]

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg3] DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. イベント・メッセージで指定されたスロットに DIMM を取り付け直します。
3. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。

- FQXSFMA0053G: アドレス [arg2] の DIMM [arg1] でミラーリングすることで、未解決のメモリー・エラーがリカバリーされました。[arg3]

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2] エラーが発生したシステムのアドレス

[arg3] S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 計画された次に保守期間までシステムを実行し続けます。
2. 計画された保守中は、システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
3. Lightpath あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された障がいのある DIMM を取り付け直します。
4. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
5. Lenovo サポートサイトを参照し、このメモリー・エラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0053I: メモリー・モジュールの組み合わせの更新のため、DIMM [arg1] が再び有効になりました。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル・リスト。(例 1. 1 2. 1 & 2 & 3)。

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0053M: DIMM [arg1] に障害はありませんが、CPU [arg2] におけるメモリー・モジュールの組み合わせがサポートされていないため無効になりました。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル・リスト。(例 1. 1 2. 1 & 2 & 3)。

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. このイベントは、訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントを解決します。他のエラーあるいはアクションによって無効になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. 本製品のサービス情報に従って、DIMM が正しい順序で装着されていることを確認します。
3. DIMM が存在しており、適切に取り付けられている場合は、点灯している DIMM コネクター・エラー LED がないかを確認し、DIMM を取り付け直して、ログでメモリー診断コードを確認します。
4. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
5. 問題が解決しない場合は、UEFI ファームウェアを更新します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0054G: ミラーリングのフェイルオーバー操作に成功しました。DIMM [arg1] は、ミラーリングされた DIMM [arg2] にフェイルオーバーしました。[arg3]

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg3] S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 計画された次に保守期間までシステムを実行し続けます。
2. 計画された保守中は、システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
3. Lightpath あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された障がいのある DIMM を取り付け直します。
4. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
5. Lenovo サポートサイトを参照し、このメモリー・エラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0055G: ミラーリングのフェイルオーバー操作に失敗しました。DIMM [arg1] を再度フェイルオーバーすることができません。[arg2]

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2] S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。

1. Lightpath あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された障がいのある DIMM を取り付け直します。
2. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
3. Lenovo サポートサイトを参照し、このメモリー・エラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0056I: POST パッケージの修復を実行した後、DIMM [arg1] で発生した訂正不能メモリー・エラーの解消が検出されました。DIMM 識別子は [arg2] です。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル

[arg2] DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0056M: 未解決のリカバリー可能メモリー・エラーがアドレス [arg2] の DIMM [arg1] で検出されました。[arg3]

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2] エラーが発生したシステムのアドレス

[arg3] S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. Lightpath あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された障がいのある DIMM を取り付け直します。
3. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
4. Lenovo サポートサイトを参照し、このメモリー・エラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
5. XClarity Provisioning Manager を仕様して、詳細メモリー・テストを実行します。診断 > 診断の実行 > メモリー・テスト > 詳細メモリー・テストの順にクリックして DIMM を修復します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0057G: ページ・リタイア PFA しきい値限界を、アドレス [arg2] の DIMM [arg1] で超えました。[arg3] [arg4]

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル、1 ベース

[arg2] エラーが発生したシステムのアドレス

[arg3] ページ後退 PFA ポリシーに到達、"-T0";"-T1";"-T2";"-T3";"-T4"。

[arg4] DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
 2. 影響を受ける DIMM を取り付け直します。
 3. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
 4. Lenovo サポートサイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
 5. XClarity Provisioning Manager を仕様して、詳細メモリー・テストを実行します。診断 > 診断の実行 > メモリー・テスト > 詳細メモリー・テストの順にクリックして DIMM を修復します。
 6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。
- **FQXSFMA0058I: メモリー・モードがフラット・モードになっています。ニア・メモリー/ファー・メモリーの比率の問題がリカバリーされました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSFMA0058K: CPU 広帯域幅メモリー・キャッシュ・モード構成のニア・メモリー/ファー・メモリーの比率 (1:[arg1].[arg2]) が推奨範囲 (1:[arg3] - 1:[arg4]) にありません。**

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] ファー・メモリー (DDR5) 比率の整数部分

[arg2] ファー・メモリー (DDR5) 比率の 10 進部分

[arg3] ファー・メモリー (DDR5) 比率の最小範囲

[arg4] ファー・メモリー (DDR5) 比率の最大範囲

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. https://dsc.lenovo.com/#/memory_configuration のメモリー構成ツールを使用してシステムのメモリー構成を検証します。
2. ニア・メモリー/ファー・メモリーの比率がファームウェア要件を満たすように DIMM 構成を変更し、システムを再起動します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0059I: CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] でバンク・スペアリングが実行されました。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] CPU 番号、1 ベース (シルク・ラベル #)

[arg2] チャンネル番号、ソケット・レベルの 0 – ベース番号

[arg3] 疑似チャンネル番号、チャンネル・レベルの 0 – ベース

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0060I: CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] で部分キャッシュ・ライン・スペアリングが実行されました。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] CPU 番号、1 ベース (シルク・ラベル #)

[arg2] チャンネル番号、ソケット・レベルの 0 – ベース番号

[arg3] 疑似チャンネル番号、チャンネル・レベルの 0 – ベース

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0061I: POST パッケージの修復を実行した後、CPU [arg1] 高帯域幅メモリーで発生した訂正不能メモリー・エラーの解消が検出されました。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0061M: CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] で、未解決のリカバリー可能メモリー・エラーが発生しました。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース。

[arg2] ソケット上のチャンネル。

[arg3] 疑似チャンネル。

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。

2. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
3. UEFI を出荷時のデフォルト設定にリセットします。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0062M: CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] で、訂正不能メモリー・エラーが発生しました。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ソケット上のチャンネル

[arg3] 疑似チャンネル

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
3. UEFI を出荷時のデフォルト設定にリセットします。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0063I: DIMM [arg1] で訂正可能メモリー・エラーが ADDDC により処理されました。DIMM 識別子は [arg2] です。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル

[arg2] DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0064M: メモリー・モジュールの電源障害のため、DIMM [arg1] が無効になりました。DIMM [arg2] が検出され、正常な状態です。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] 無効になったスロット

[arg2] 無効ですが、DIMM を検出しました。例えば、「DIMM 3、4 はメモリー・モジュールの電源障害のため無効になりました。DIMM 3、4 は正常です。」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. メッセージに示された DIMM スロットを確認してください。DIMM が取り付けられているが検出されない場合、DIMM を取り外してから、A/C 電源を復元してシステムの電源をオンにします。
3. 検出されない DIMM を取り外した後もすべての DIMM が検出されたり、エラーが続いたりする場合、メッセージに示されたスロットのすべての DIMM を取り付け直した後、A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにしてください。
4. 問題が解決しないか、検出されない DIMM を交換する必要がある場合、サービス・データ・ログを収集して Lenovo サポートにお問い合わせください。

- FQXSFMA0065I: POST パッケージの修復を実行した後、DIMM [arg1] の複数ビット CE が検出されました。DIMM 識別子は [arg2] です。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル

[arg2] DIMM 情報 (S/N、FRU、および UDI)

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0065M: CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] で、メモリー・アドレス・パリティ・エラーが発生しました。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ソケット上のチャンネル

[arg3] 疑似チャンネル

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
3. Lenovo サポート・サイトを参照し、該当する Service Bulletin がないか確認します。
4. 問題が解決しない場合、サービス・データ・ログを収集して Lenovo サポートに連絡して障害の発生した部品の交換を依頼してください。

- FQXSFMA0066I: CPU [arg1] の高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] 疑似チャンネル [arg3] で高帯域幅メモリー試行ポスト・パッケージ修復 (PPR) が成功しました。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ソケット上のチャンネル

[arg3] 疑似チャネル

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0066M: DIMM [arg3] の CPU [arg1] チャネル [arg2] で、メモリー・アドレス・パリティ・エラーが発生しました。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ソケット上のチャネル

[arg3] DIMM シルク・ラベル 1、シルク・ラベル 2 (障害チャネルのすべての DIMM)

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. イベント・メッセージで指定された DIMM を取り付け直します。
3. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0067G: 行ごとのエラーカウンターしきい値限界が DIMM [arg1] サブチャネル [arg2] ランク [arg3] DRAM [arg4] で超えました。POST パッケージの修復 (PPR) を試行するには DIMM 自己修復のためにシステムを再起動する必要があります。DIMM 識別子は [arg5] です。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル

[arg2] サブ・チャンネル

[arg3] ランク番号

[arg5] DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. DIMM 自己修復がハード・ポスト・パッケージの修復 (PPR) を試行できるようにシステムを再起動し、イベント ID FQXSFMA0026I が記録されたことを確認します。
2. XClarity Provisioning Manager を仕様して、詳細メモリー・テストを実行します。診断 > 診断の実行 > メモリー・テスト > 詳細メモリー・テストの順にクリックして DIMM を修復します。
3. 問題が解決しない場合やイベント ID FQXSFMA0027M または FQXSFMA0028M が原因で PPR の試行が失敗した場合は、サービス・データ・ログを収集して、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0067I: POST パッケージの修復を実行した後、DIMM [arg1] での行のカウンターあたりのしきい値限界超過エラーの解消が検出されました。DIMM 識別子は [arg2] です。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] DIMM シルク・ラベル

[arg2] DIMM 情報 (S/N、FRU および UDI。)、例 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0067M: CPU [arg1] の高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] 疑似チャンネル [arg3] で高帯域幅メモリー試行ポスト・パッケージ修復 (PPR) が失敗しました。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ソケット上のチャンネル

[arg3] 疑似チャンネル

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
3. UEFI を出荷時のデフォルト設定にリセットします。
4. UEFI ファームウェアを最新のバージョンに更新します。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0068G: CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] の複数の行で複数ビット CE が発生しました。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ソケット上のチャンネル

[arg3] 疑似チャンネル

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XClarity Provisioning Manager > 「診断」、「診断を実行」 > 「事前メモリー・テスト」で事前メモリー・テストを実行して高帯域幅メモリーを修復します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0068M: CPU [arg1] の高帯域幅メモリー・チャネル [arg2] 疑似チャネル [arg3] で高帯域幅メモリー試行ポスト・パッケージ修復 (PPR) がしきい値を超えました。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ソケット上のチャネル

[arg3] 疑似チャネル

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
3. UEFI を出荷時のデフォルト設定にリセットします。
4. UEFI ファームウェアを最新のバージョンに更新します。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0069G: ページ・リタイア PFA しきい値限界を、アドレス [arg2] の高帯域幅メモリー CPU[arg1] で超えました。 [arg3]

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] エラーが発生したアドレス

[arg3] ページ・リタイア・タイプ

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XClarity Provisioning Manager > 「診断」、「診断を実行」 > 「事前メモリー・テスト」で事前メモリー・テストを実行して高帯域幅メモリーを修復します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0070G: CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャネル [arg2] の疑似チャネル [arg3] で POST 中に、POST パッケージ修復障害とバンク・スペアリングが発生しました。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ソケット上のチャネル

[arg3] 疑似チャネル

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合、Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当するシステムに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0071M: CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] の疑似チャンネル [arg3] で POST 中にバンク・スペアリング障害が発生しました。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ソケット上のチャンネル

[arg3] 疑似チャンネル

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合、Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当するシステムに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0072M: 装着エラーのため、CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャンネル [arg2] が無効になりました。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ソケット上のチャンネル、0 ベース

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合、Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当するシステムに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0073M: CPU [arg1] で高帯域幅メモリー・ビルトイン・セルフテストが失敗しました。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合、Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当するシステムに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0074M: CPU [arg1] で高帯域幅メモリー・エラー・トレーニングが失敗しました。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース。

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合、Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当するシステムに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0075G: CPU [arg1] 高帯域幅メモリー・チャネル [arg2] の疑似チャネル [arg3] で複数ビット CE が発生しました。高帯域幅メモリー自己修復のためにシステムを再起動し、POST パッケージの修復 (PPR) を試みる必要があります。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] ソケット上のチャネル

[arg3] 疑似チャネル

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 高帯域幅メモリー自己修復のためにシステムを再起動し、POST パッケージの修復 (PPR) を試みます。
2. 問題が解決しない場合や PPR の試行が失敗した場合、サービス・データ・ログを収集します。
3. Lenovo サポートに連絡してください。」

- FQXSFMA0075I: POST パッケージの修復を実行した後、CPU [arg1] 高帯域幅メモリー で発生した複数ビット CE の解消が検出されました。

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFMA0076M: DIMM [arg1] はサポートされていません。DIMM 識別子は [arg2] です。

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] DIMM スロット・シルク・ラベル

[arg2] S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. ユーザー・マニュアルでサポートされている DIMM タイプを確認し、メッセージで特定された DIMM をサポート対象の DIMM に交換します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0077N: DIMM [arg1] の SPD へのアクセス中に SMBus 障害が発生しました。[arg2]。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] DIMM スロット・シルク・ラベル

[arg2] S/N、FRU、および UDI で構成された DIMM 識別子、例: 「739E68ED-VC10 FRU 0123456」

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
2. イベント・メッセージで指定されたスロットに DIMM を取り付け直します。
3. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
4. 問題が解決しない場合は、サポート・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFMA0078N: システム・ファームウェアでメモリー初期化中に致命的エラー [arg1] が発生しました。

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] 致命的エラー・コード (例: 0xD802)。

ユーザー処置:

XCC または LXCA コール・ホームを有効にしている場合は、Lenovo サービス担当員がご連絡します。そうでない場合は、デバッグ・ログを収集して、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFMA0084M: 高帯域幅メモリー CPU [arg2] のメモリー・スぺア行がしきい値 [arg1] 未満です。**

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] ユーザーが指定した各バンクのスぺア行の最小数。(arg1 が 0 の場合、現在のコードは高帯域幅メモリー (HBM) のスぺア行をチェックしません)

[arg2] ソケット番号、1 ベース

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. OneCLI で設定 Memory.HbmDetectFuse を再度有効にします。
2. システムを再起動してセットアップします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP00001N: サポートされていないプロセッサが検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサに必要なファームウェア更新がないか確認し、あった場合は更新をインストールします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFP00002N: 無効なプロセッサ・タイプが検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. プロセッサが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。サポートされていないプロセッサが確認された場合、プロセッサを取り外すか、サポートされているプロセッサに交換します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサに必要なファームウェア更新がないか確認し、あった場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFPU0003K**: システム内の 1 つ以上のプロセッサ間でプロセッサの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサ構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. Lenovo サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないか確認します。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFPU0004K**: システム内の 1 つ以上のプロセッサによって報告されたコアの数の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. これが新規に取り付けたオプションの問題である場合、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. Lenovo Support サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFPU0005K**: 1 つ以上のプロセッサで許容される最大 UPI リンク速度の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. これが新規に取り付けたオプションの問題である場合、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. Lenovo Support サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFP0006K** : 1 つ以上のプロセッサで電源セグメントの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. これが新規に取り付けたオプションの問題である場合、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. Lenovo Support サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFP0007K** : プロセッサの内部 DDR 周波数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致する DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。検出された構成の問題をすべて修正します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFP0008K** : 1 つ以上のプロセッサでコア速度の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致の問題をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFPU0009K : 1 つ以上のプロセッサで外部クロック周波数の不一致が検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. プロセッサが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。そうでない場合は、プロセッサを取り外して、Server Proven Web サイトにリストされているプロセッサを取り付けます。
2. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
3. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFPU0010K : 1 つ以上のプロセッサでキャッシュ・サイズの不一致が検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFPU0011K : 1 つ以上のプロセッサでキャッシュ・タイプの不一致が検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFP0012K: 1 つ以上のプロセッサでキャッシュの結合順序の不一致が検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFP0013K: 1 つ以上のプロセッサでプロセッサの型式の不一致が検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFP00014N**: 1 つ以上のプロセッサでプロセッサのファミリーの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP00015K**: 1 つ以上のプロセッサでプロセッサのステッピングの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP00016N**: システム内のプロセッサが BIST に失敗しました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. プロセッサまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、Lenovo サポートサイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP00017G**: プロセッサ・マイクロコードの更新に失敗しました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトで、このプロセッサ・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0018N : CATERR(IERR) がプロセッサー [arg1] で検出されました。**

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトを参照し、このプロセッサー・エラーに該当する適用可能な Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないか確認します。
2. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
3. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
4. ハードウェア、ファームウェア、またはオペレーティング・システムに最近変更が加えられたかどうかを判別します。可能な場合は変更します
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。

- **FQXSFP0019N : プロセッサー [arg1] で訂正不能エラーが検出されました。**

重大度: エラー

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース。

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないか確認します。
2. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
3. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
4. ハードウェア、ファームウェア、またはオペレーティング・システムに最近変更が加えられたかどうかを判別します。可能な場合は変更します。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0020I : UEFI ファームウェアのイメージ・カプセルの署名が無効です。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。UEFI イメージを再フラッシュします。

2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0021I : TPM 物理プレゼンス状態がクリアされました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSFP0022G : TPM 構成がロックされていません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0023G : セキュア・ブートのイメージ検証失敗の警告。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. セキュア・ブートが有効でありセキュア・ブート・モードがユーザー・モードであるときに、ユーザーが無許可の UEFI イメージまたは OS からブートしようとする则表示されるセキュリティ警告メッセージです。お客様が無許可の UEFI イメージまたは OS をブートすることを希望しない場合は、その起動可能デバイスを取り外してください。
2. お客様が無許可の UEFI イメージまたは OS をブートすることを希望する場合、この無許可のイメージからのシステム・ブートを許可するには、2つの方法があります。セキュア・ブートを無効にする方法と、無許可のイメージを DB (Authorized Signature Database) に登録する方法です。
 - a. セキュア・ブートを無効にする: 物理プレゼンスを検出し、セキュア・ブート設定を無効に変更します (F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「セキュリティ」 -> 「セキュリティ・ブート構成」 -> 「セキュリティ・ブート設定」)。
 - b. 無許可の UEFI イメージを登録します。物理プレゼンスを検出して、セキュア・ブート・ポリシーをカスタム・ポリシーに変更します (「セットアップ」 -> 「システム設定」 -> 「セキュリティ」 -> 「セキュリティ・ブート構成」 -> 「セキュリティ・ブート・ポリシー」)。次に、「セキュリティ・ブート・カスタム・ポリシー」メニューに入り、「EFI イメージの登録」ボタンを押して、ポップアップ・ボックスから無許可の UEFI イメージを選択します。
 - c. 注: 物理プレゼンスを検出する方法は2つあります。
 - 1) 物理プレゼンス・ジャンパーを ON に切り替える
 - 2) 物理プレゼンス・ポリシーが有効に設定されている場合 (F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「セキュリティ」 -> 「物理プレゼンス・ポリシーの構成」)、IPMI ツールでリモート物理プレゼンスを検出できます。

3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0023I**: このラウンド・ブートで障害が発生しなかったため、セキュア・ブート・イメージ検証失敗がクリアされました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSFP0025I**: デフォルトのシステム設定が復元されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSFP0027N**: MC ステータス [arg4]、MC アドレス [arg5] および MC Misc [arg6] のプロセッサ [arg1] コア [arg2] MC バンク [arg3] で、訂正不能エラーが発生しました。

重大度: 致命的

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース。

[arg2] CoreNumber

[arg3] McBankNumber

[arg4] McaStatus

[arg5] McaAddress

[arg6] McaMisc

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの仮想再取り付けまたは AC サイクルを実行します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0030N**: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。

4. 問題が解決しない場合は、お客様の UEFI 構成を保存した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。ブートが正常に行われたら、システム設定を復元します。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。

- **FQXSFP00031N: POST 試行回数が F1 セットアップで構成された値に達しました。システムはデフォルト UEFI 設定でブートしました。ユーザー指定の設定は保持され、再起動前に変更しない限り、次回以降のブートで使用されます。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 元の UEFI 設定はまだ存在しています。お客さまが元の設定を引き続き使用することを希望する場合は、「設定の保存」を選択します。
2. ユーザーが意図的にリブートをトリガーしたのではない場合は、ログに推定原因がないか確認してください。例えば、バッテリー障害イベントがある場合は、そのイベントを解決するステップを実行してください。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
4. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。該当する場合は UEFI ファームウェアを更新します。
5. お客様の UEFI 構成を保存した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。ブートが正常に行われたら、システム設定を復元します。
6. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFP00033G : プロセッサが無効にされました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないか確認します。
2. システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集します。
4. Lenovo サポートに連絡してください。」

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFP0034L: TPM を正しく初期化できませんでした。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。UEFI イメージを再フラッシュします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注：このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。

- **FQXSFP0035N: プロセッサ [arg1] でスリーストライク・タイムアウトが発生しました。**

重大度: 致命的

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないか確認します。
2. システムの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
3. A/C 電源を復元し、システムの電源をオンにします。
4. ハードウェア、ファームウェア、またはオペレーティング・システムに最近変更が加えられたかどうかを判別します。可能な場合は変更します。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP0062F: MC ステータス [arg4]、MC アドレス [arg5] および MC Misc [arg6] のプロセッサ [arg1] コア [arg2] MC バンク [arg3] で、未解決のリカバリー可能システム・エラーが発生しました。**

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] ソケット番号、1 ベース

[arg2] CoreNumber

[arg3] McBankNumber

[arg4] McaStatus

[arg5] McaAddress

[arg6] McaMisc

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. サーバーの仮想再取り付けまたは AC サイクルを実行します。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP4033F: TPM ファームウェアのリカバリーが進行中です。システムを電源オフまたはリセットしないでください。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

注: TPM ファームウェア・リカバリーの進行中は、システムは電源オフ信号 (FQXSFP4034I) に応答しません。

- **FQXSFP4034I: TPM ファームウェアのリカバリーが終了しました。システムをリブートすると有効になります。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSFP4035M: TPM ファームウェアのリカバリーに失敗しました。TPM チップが破損している可能性があります。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. エラーが再発する場合、TPM 関連の機能は動作しません。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFP4038I: TPM ファームウェアのリカバリーに成功しました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4040M : TPM セルフテストが失敗しました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. エラーが再発する場合、TPM 関連の機能は動作しません。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFP4041I : TPM ファームウェア更新が進行中です。システムを電源オフまたはリセットしないでください。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4042I : TPM ファームウェアの更新が終了しました。システムをリブートすると有効になります。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4043G : TPM ファームウェアの更新が中止されました。システムをリブートしています...

重大度: 警告

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4044I : 現在の TPM ファームウェア・バージョンでは、TPM バージョンの切り替えがサポートされていません。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4046I : TPM ファームウェアが TPM1.2 から TPM2.0 に更新されます。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4047I : TPM ファームウェアが TPM2.0 から TPM1.2 に更新されます。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSFP4049I: TPM ファームウェアの更新に成功しました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSFP4050G: TPM ファームウェアの更新に失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. TPM の実行により TPM をクリアし、製品ユーザー・ガイドの以下の指示に従って TPM ファームウェア更新を再試行します。
<https://thinksystem.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.thinksystem.common.nav.doc/portfolio.html> に移動して、製品リンクをクリックします。通常、TPM 更新情報は、「ハードウェア交換手順」の「システム・ボードの交換」セクションにあります。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP4051G: 未定義の TPM_POLICY が見つかりました**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP4052G: TPM_POLICY がロックされていません**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP4053G: システム TPM_POLICY がブレーナーと一致しません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. 新しく追加された TPM カードをプレーナーから取り外すか、システムに付属されていた元の TPM カードを再度取り付けてください。
2. システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP4054G: TPM カードの論理バインドに失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFP4056M: TPM カードが変更されました。システム出荷時に同梱されていた元の TPM カードに取り付け直してください。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システム出荷時に付属していた元の TPM カードを再度取り付けます。
2. システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFP4059I: ユーザーが、AHCI 接続 SATA ドライブのロックの凍結をスキップするように要求しました。システム UEFI は要求を受け入れ、OS 再起動前に実行します。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. OneCLI ツールを使用して、SystemOobCustom.SkipAhciFreezeLock を無効から有効に変更します。(OneCLI コマンド「OneCli config set SystemOobCustom.SkipAhciFreezeLock “Enabled” –imm IMM_USERID:IMM_PASSWORD@IMM_IP –override」)。
2. システムを OS で再起動します。

- **FQXSFP4060I: AHCI 接続 SATA ドライブのロックの凍結をスキップしました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4061I: AHCI 接続 SATA ドライブのデフォルトのロック動作を復元しました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4062I: DCI インターフェースに対する CPU デバッグが非アクティブ化されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4062M: DCI インターフェースで CPU デバッグがアクティブ化されました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

Lenovo サポートに連絡してください。」

- FQXSFP4080I: ホスト始動パスワードが変更されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4081I: ホスト始動パスワードがクリアされました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4082I: ホスト管理パスワードが変更されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4083I: ホスト管理パスワードがクリアされました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4084I: ホスト・ブート順序が変更されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXSFP4085I: ホスト WOL ブート順序が変更されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXSFPW0001L : CMOS がクリアされました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. CMOS クリアがユーザーによって開始された場合は、このイベントは安全に無視できます。これ以上の処置は不要です。
2. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
3. Lenovo サポートサイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- **FQXSFSM0002N : 管理モジュールによってブート許可が拒否されました: システム停止。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行します。
2. XCC ログを確認し、PSU の取り付けがサポート・ガイドラインに従っていることを確認します。
3. XCC GUI の電源ポリシーおよびシステム構成設定を確認します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFSM0003N : 管理モジュールからのブート許可の待機がタイムアウトになりました: システム停止。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行します。
2. XCC ログを確認し、PSU の取り付けがサポート・ガイドラインに従っていることを確認します。
3. XCC GUI の電源ポリシーおよびシステム構成設定を確認します。
4. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- **FQXSFSM0004M : XCC 通信障害が発生しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行します。
2. XCC と UEFI FW が同じ互換性のあるレベルで動作することを確認します。
3. Lenovo サポート・サイトを参照し、このエラーに該当する Service Bulletin またはファームウェア更新がないか確認します。
4. XCC ファームウェアを再フラッシュします。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このエラーを解決するために、システム・ボードの交換が必要な場合があります。TPM 暗号化が有効になっている場合は、TPM 暗号化リカバリー鍵をバックアップします。」

- FQXSFSM0007I: XCC システム・イベント・ログ (SEL) がフルです。

重大度: 通知

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. BMC Web インターフェースを使用して、イベント・ログをクリアします。
2. BMC 通信が使用できない場合は、F1 Setup を使用して「システム・イベント・ログ・メニュー」にアクセスし、「BMC システム・イベント・ログを消去」、「サーバーの再起動」の順に選択してサーバーを再起動します。

- FQXSFSM0008M: ブート許可のタイムアウトが検出されました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XCC ログで通信エラーがないかを見直し、エラーを解決します。
2. システムの AC サイクルを実行します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

- FQXSFSR0001M: [arg1] GPT の破損が検出されました。DiskGUID: [arg2]

重大度: 警告

パラメーター:

[arg1] GPT 破損の場所。「プライマリー」プライマリー GPT パーティション・テーブルの破損のみ。
「バックアップ」バックアップ GPT パーティション・テーブルの破損のみ。「プライマリーとバックアップの両方」: 両方の GPT パーティション・テーブルが破損。

[arg2] ディスク GUID。

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. POST 中にすべての外付けドライブを取り外して、このイベントが誤ってトリガーされるのを回避してください。
2. XCC イベント・ログを確認します。このイベントにフォローアップ・リカバリー・イベント・ログがある場合は、GTP 破損が正常に回復したことを意味します。このイベント・メッセージを無視し、残りの手順を実行しないでください。
3. データ・ディスクをバックアップします。
4. F1 セットアップ -> システム設定 -> リカバリーと RAS -> ディスク GPT リカバリーを押し、「自動」に設定します。
5. 設定を保存して、システムを再起動します。
6. ブートして F1 セットアップを表示します。システムは POST 中に自動的に GPT のリカバリーを試みます。
7. システムを再起動します。
8. LUN またはディスクを再フォーマットし、OS を再インストールします。
9. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

• FQXSFSR0002I: [arg1] GPT の破損がリカバリーされました。DiskGUID: [arg2]

重大度: 通知

パラメーター:

[arg1] GPT 破損の場所。「プライマリー」プライマリー GPT パーティション・テーブルの破損のみ。「バックアップ」バックアップ GPT パーティション・テーブルの破損のみ。「プライマリーとバックアップの両方」: 両方の GPT パーティション・テーブルが破損。

[arg2] ディスク GUID

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

• FQXSFSR0003G: ブート試行回数を超過しました。起動可能デバイスが見つかりません。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. システムから AC 電源を取り外します。
2. システムに少なくとも 1 つのブート可能デバイスを接続します。
3. システムに AC 電源を接続します。
4. システムの電源をオンにして再試行します。
5. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

• FQXSFT0001L: 無効な日付と時刻が検出されました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

次の手順を実行してください。

1. XCC イベント・ログを確認してください。このイベントは、FQXSFPW0001L エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて解決します。
2. F1 セットアップを使用して日時を再設定します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス・データ・ログを収集し、Lenovo サポートに連絡してください。

第 4 章 XClarity Provisioning Manager イベント

Lenovo XClarity Provisioning Manager によって以下のイベントが生成されることがあります。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントを一意的に識別する ID。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。

説明

追加情報でそのイベントが発生した理由を説明します。

重大度

状態の懸念度が示されます。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

- 「**情報**」。イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザー操作または正常に動作する状態の変更です。
- 「**警告**」。このイベントは、エラーほど重大ではありませんが、可能であれば、エラーになる前に状態を修正する必要があります。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
- 「**エラー**」。このイベントは、サービスや正常な機能が損なわれる障害状態またはクリティカルな状態です。

ユーザー処置

イベントを解決するために実行すべき処置を示しています。問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。すべての手順を実行しても問題を解決できない場合、Lenovo サポート にお問い合わせください。

重大度別に整理された LXPM イベント

次の表は、重大度別 (情報、エラー および警告) に整理されたすべての LXPM イベントの一覧です。

表 4. 重大度別に整理されたイベント

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXPMCL0005I	OS のインストールを開始します: [arg1]。	情報
FQXPMCL0006I	RAID 構成を正常にエクスポートしました。	情報
FQXPMCL0007I	RAID 構成を正常にインポートしました。	情報
FQXPMCL0008I	UEFI 設定を正常にエクスポートしました。	情報
FQXPMCL0009I	UEFI 設定を正常にインポートしました。	情報
FQXPMCL0010I	BMC 設定を正常にエクスポートしました。	情報
FQXPMCL0011I	BMC 設定を正常にインポートしました。	情報
FQXPMEM0002I	LXPM ファームウェア・イメージが見つかりました。LXPM を起動します。	情報
FQXPMEM0003I	LXPM が終了しました。制御が UEFI に戻されました。	情報

表 4. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXPMEM0004I	診断プログラムを起動しています。	情報
FQXPMEM0005I	診断プログラムを正常にブートしました。	情報
FQXPMER0002I	RAID 構成および内部ストレージ・データのクリア	情報
FQXPMER0003I	RAID 構成が正常にクリアされました	情報
FQXPMER0004I	内部ストレージ・ドライブが正常に消去されました	情報
FQXPMER0005I	すべてのシステム・ログが正常にクリアされました	情報
FQXPMER0006I	工場出荷時の UEFI 設定が正常にロードされました	情報
FQXPMER0007I	工場出荷時の BMC 設定が正常にロードされました	情報
FQXPMNM0002I	BMC ネットワーク・パラメーターが新規の値に設定されました。	情報
FQXPMOS0028I	OS のインストールを開始します: [arg1]。	情報
FQXPMSR0012I	ディスク・ドライブの状態を正常に変更しました。	情報
FQXPMSR0022I	新規仮想ディスクを正常に作成しました。	情報
FQXPMSR0032I	既存の仮想ディスクを正常に削除しました。	情報
FQXPMUP0101I	LXPM の更新を開始します。	情報
FQXPMUP0102I	Windows ドライバーの更新を開始します。	情報
FQXPMUP0103I	Linux ドライバーの更新を開始します。	情報
FQXPMUP0104I	UEFI の更新を開始します。	情報
FQXPMUP0105I	BMC の更新を開始します。	情報
FQXPMUP0106I	ファームウェアの更新に成功しました。	情報
FQXPMVD0003I	VPD データを正常に更新しました。	情報
FQXPMCL0001K	Bootx64.efi が見つかりませんでした。OS をブートできませんでした。	警告
FQXPMCL0003K	BMC 通信が失敗しました: ドライバーのマウント障害。	警告
FQXPMCL0004K	BMC の通信に成功しました。ボリューム名が一致しません。	警告
FQXPMCL0005K	現行システムのブート・モードはレガシーです。OS のクローンは UEFI モードのみをサポートします。	警告
FQXPMCL0006K	RAID 構成のエクスポートに失敗しました。	警告
FQXPMCL0007K	RAID 構成をインポートできませんでした。	警告
FQXPMCL0008K	UEFI 設定をエクスポートできませんでした。	警告
FQXPMCL0009K	UEFI 設定をインポートできませんでした。	警告
FQXPMCL0010K	BMC 設定をエクスポートできませんでした。	警告
FQXPMCL0011K	BMC 設定をインポートできませんでした。	警告
FQXPMNM0001G	新規の BMC ネットワーク・パラメーターを設定できませんでした。	警告
FQXPMOS0001K	Bootx64.efi が見つかりませんでした。OS をブートできませんでした。	警告

表 4. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXPMOS0004K	BMC 通信が失敗しました: EMMC2USB のマウント障害。	警告
FQXPMOS0005K	BMC 通信が失敗しました: ドライバーのマウント障害。	警告
FQXPMOS0006K	BMC の通信に成功しました。ボリューム名が一致しません。	警告
FQXPMOS0007K	ライセンス RTF ファイルの読み取りに失敗しました。	警告
FQXPMOS0008K	OS インストール用のリモート OS メディアを検出できませんでした。	警告
FQXPMOS0009K	現行システムのブート・モードはレガシーです。LXPM OS のインストールは UEFI モードのみをサポートします。	警告
FQXPMSR0001K	サポートされない RAID アダプターが見つかりました。	警告
FQXPMSR0011K	ディスク・ドライブの状態を変更できませんでした。	警告
FQXPMUP0003K	UEFI の最小レベルを取得できません。	警告
FQXPMUP0004K	UEFI のインストール済みバージョンを取得できません。	警告
FQXPMUP0005K	BMC のインストール済みバージョンを取得できません。	警告
FQXPMUP0006K	LXPM のインストール済みバージョンを取得できません。	警告
FQXPMUP0007K	Linux ドライバーのインストール済みバージョンを取得できません。	警告
FQXPMUP0008K	Windows ドライバーのインストール済みバージョンを取得できません。	警告
FQXPMVD0001H	VPD データの取得に失敗しました。	警告
FQXPMVD0002H	VPD データの更新に失敗しました。	警告
FQXPMVD0011K	TPM/TPM カード/TCM ポリシー・ステータスの取得に失敗しました。	警告
FQXPMVD0012K	TPM/TPM カード/TCM ポリシーを設定できませんでした。	警告
FQXPMEM0001M	LXPM ファームウェア・イメージが見つかりません。	エラー
FQXPMEM0006M	診断ファームウェア・イメージが見つかりません。	エラー
FQXPMEM0007M	診断イメージが起動できません。「コンソール・リダイレクト」が有効になっています。	エラー
FQXPMEM0008M	診断イメージが起動できません。イメージが破損している可能性があります。	エラー
FQXPMER0002M	RAID 構成をクリアできませんでした。	エラー
FQXPMER0003M	内部ストレージ・ドライブを消去できませんでした。	エラー
FQXPMER0004M	システム・ログをクリアできませんでした。	エラー
FQXPMER0005M	工場出荷時の UEFI 設定のロードに失敗しました。	エラー
FQXPMER0006M	工場出荷時の XCC 設定のロードに失敗しました。	エラー
FQXPMSD0001M	HDD Test がハードウェアまたはソフトウェア・リセットを使用してホストに割り込まれました。	エラー
FQXPMSD0002M	デバイスがセルフテストを実行中に致命的エラーまたは不明なテスト・エラーが発生しました。	エラー

表 4. 重大度別に整理されたイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	重大度
FQXPMSD0003M	セルフテストが失敗したテスト要素ありで完了しました。失敗したテスト要素は不明です。	エラー
FQXPMSD0004M	セルフテストがテストの電氣的要素に失敗ありで完了しました。	エラー
FQXPMSD0005M	セルフテストがテストのサーボ (および/またはシーク) 要素に失敗ありで完了しました。	エラー
FQXPMSD0006M	セルフテストがテストの読み取り要素に失敗ありで完了しました。	エラー
FQXPMSD0007M	ハードディスク・ドライブが見つかりませんでした	エラー
FQXPMSD0008M	UEFI が LXPМ でハードディスク・ドライブをテストするコマンドを送信する準備ができていません。	エラー
FQXPMSD0009M	LXPМ がハードディスク・ドライブにテスト・コマンドを送信したときに、デバイス・エラーが検出されました。	エラー
FQXPMSD0010M	LXPМ がハードディスク・ドライブにテスト・コマンドを送信したときに、UEFI がタイムアウトになりました。	エラー
FQXPMSD0011M	ハードディスク・ドライブは UEFI でサポートされていませんが、LXPМ はハードディスク・ドライブをテストするためのコマンドを送信しました。	エラー
FQXPMSR0021L	新規仮想ディスクを作成できませんでした。	エラー
FQXPMSR0031L	既存の仮想ディスクの削除に失敗しました。	エラー
FQXPMUP0201M	BMC 通信が失敗しました: EMMC2USB のマウント障害。ファームウェアの更新に失敗しました。	エラー
FQXPMUP0202M	更新パッケージ・エラーを転送します。ファームウェアの更新に失敗しました。	エラー
FQXPMUP0203M	BMC 通信が失敗しました: EMMC2USB のアンマウント障害。ファームウェアの更新に失敗しました。	エラー
FQXPMUP0204M	BMC 通信が失敗しました: 更新コマンドの実行が失敗しました。ファームウェアの更新に失敗しました。	エラー
FQXPMUP0205M	BMC 通信が失敗しました: 更新ステータスの取得に失敗しました。ファームウェアの更新に失敗しました。	エラー
FQXPMUP0206M	更新パッケージのレベルが古すぎます。ファームウェアの更新に失敗しました。	エラー
FQXPMUP0207M	更新パッケージが無効です。ファームウェアの更新に失敗しました。	エラー
FQXPMUP0208M	BMC の再起動コマンドを実行できませんでした。	エラー

XClarity Provisioning Manager イベントのリスト

このセクションでは、Lenovo XClarity Provisioning Manager から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

- FQXPMCL0001K: Bootx64.efi が見つかりませんでした。OS をブートできませんでした。

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、BMC ファームウェアを再フラッシュします。
3. システムをリブートし、OS のブートを再試行します。
4. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0003K: BMC 通信が失敗しました: ドライバーのマウント障害。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 仮想 USB 接続が正常に動作していることを確認します。
2. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
3. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
4. イメージのクローンを作成して、操作を再試行します。
5. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0004K: BMC の通信に成功しました。ボリューム名が一致しません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. イメージのクローンを作成して、操作を再試行します。
4. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0005I: OS のインストールを開始します: [arg1]。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMCL0005K: 現行システムのブート・モードはレガシーです。OS のクローンは UEFI モードのみをサポートします。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. ブート・モードを UEFI モードに変更します (「UEFI セットアップ」->「ブート・マネージャー」->「ブート・モード」->「システム・ブート・モード」に移動して「UEFI モード」を選択)。
2. イメージのクローンを作成して、操作を再試行します。

- **FQXPMCL0006I: RAID 構成を正常にエクスポートしました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMCL0006K: RAID 構成のエクスポートに失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされる RAID アダプターについては、以下の Lenovo サポート・サイト (<https://serverproven.lenovo.com>) を確認してください。
2. RAID アダプター、LXPM および UEFI ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. RAID アダプターとディスク・ドライブの状態が正常であることを確認します。
4. ディスク・ドライブ、SAS エクスパンダー (該当する場合) および RAID アダプターが物理的に適切に接続されていることを確認します。
5. マシンをリブートして RAID 構成のエクスポートを再試行します。
6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0007I: RAID 構成を正常にインポートしました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMCL0007K: RAID 構成のインポートに失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされる RAID アダプターについては、以下の Lenovo サポート・サイト (<https://serverproven.lenovo.com>) を確認してください。
2. RAID アダプター、LXPM および UEFI ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. RAID アダプターとディスク・ドライブの状態が正常であることを確認します。
4. ディスク・ドライブと RAID アダプターが物理的に正常に接続されていることを確認します。
5. プラットフォームと RAID 構成が元の構成と同じであることを確認します。
6. マシンをリブートして RAID 構成のインポートを再試行します。
7. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0008I: UEFI 設定が正常にエクスポートされました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMCL0008K: UEFI 設定のエクスポートに失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. USB/ネットワーク・ドライブに適切に接続されていることを確認して UEFI 設定のエクスポートを再試行します。
2. 再起動して、UEFI 設定のエクスポートを再度実行します。
3. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0009I: UEFI 設定が正常にインポートされました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMCL0009K: UEFI 設定のインポートに失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. USB/ネットワーク・ドライブに適切に接続されていることを確認して UEFI 設定のインポートを再試行します。
2. UEFI 設定をインポートする同じシステム・モデル・タイプと UEFI バージョンが同じであることを確認してください。
3. リブートして、UEFI 設定の新しいクローンのインポートを試行します。
4. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0010I: BMC 設定が正常にエクスポートされました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMCL0010K: BMC 設定のエクスポートに失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. AC リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. BMC 設定のエクスポートを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMCL0011I: BMC 設定が正常にインポートされました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMCL0011K: BMC 設定のインポートに失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. BMC バージョンがソースとターゲットの間で同じであることを確認します。
2. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. BMC 設定のインポートを再試行します。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMEM0001M: LXPM ファームウェア・イメージが見つかりません。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. LXPM を再フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- FQXPMEM0002I: LXPM ファームウェア・イメージが見つかりました。LXPM を開始します。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXPMEM0003I: LXPM が終了しました。制御が UEFI に戻されました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXPMEM0004I: 診断プログラムを起動しています。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXPMEM0005I: 診断プログラムのブートに成功しました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXPMEM0006M: 診断ファームウェア・イメージが見つかりません。

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMEM0007M: 診断イメージが起動できません。「コンソール・リダイレクト」が有効になっています。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. UEFI セットアップで「コンソール・リダイレクトを構成する」を無効にするには、次の手順を実行します。「F1 Setup」に進む -> 「システム設定」 -> 「コンソール・リダイレクト」を選択 - 設定を「無効」に変更して保存 - 次にシステムを再起動します。
2. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMEM0008M: 診断イメージが起動できません。イメージが破損している可能性があります。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. LXPM を再フラッシュします。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMER0002I: RAID 構成および内部ストレージ・データの消去**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMER0002M: RAID 構成をクリアできませんでした。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. システムを再起動してから、操作を再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMER0003I: RAID 構成が正常にクリアされました**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMER0003M: 内部ストレージ・ドライブを消去できませんでした。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. ハードディスク・ドライブ、バックプレーン および関連するすべてのケーブルが適切に接続されていることを確認します。
2. ハードディスク・ドライブでセキュリティー機能が有効になっているかどうかを確認します。有効になっている場合は無効にして、操作を再試行します。
3. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. システムを再起動してから、操作を再試行します。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMER0004I: 内部ストレージ・ドライブが正常に消去されました**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMER0004M: システム・ログをクリアできませんでした。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. もう一度この操作を再試行します。
3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMER0005I: すべてのシステム・ログが正常にクリアされました**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMER0005M: 工場出荷時の UEFI 設定のロードに失敗しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. もう一度この操作を再試行します。

3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMER0006I: 工場出荷時の UEFI 設定が正常にロードされました**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMER0006M: 工場出荷時の XCC 設定のロードに失敗しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. もう一度この操作を再試行します。
3. 問題が解決しない場合は、AC 電源サイクルを行います。(AC 電源をオフにしてからオンにするまでに数秒間待ちます)
4. もう一度この操作を再試行します。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMER0007I: 工場出荷時の BMC 設定が正常にロードされました**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMNM0001G: 新規の BMC ネットワーク・パラメーターを設定できませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 入力パラメーターが有効であることを確認します。
2. 1 分間待機して、設定を再試行します。
3. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
4. 設定変更を再試行します。
5. UEFI セットアップを使用してパラメーターを変更します (オプション)。

- **FQXPMNM0002I: BMC ネットワーク・パラメーターが新規の値に設定されました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMOS0001K: Bootx64.efi が見つかりませんでした。OS をブートできませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. システムをリブートし、OS のブートを再試行します。
4. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOS0004K: BMC 通信が失敗しました: EMMC2USB のマウント障害。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 仮想 USB 接続が正常に動作していることを確認します。
2. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
3. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
4. OS デプロイメントを再試行します。
5. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOS0005K: BMC 通信が失敗しました: ドライバーのマウント障害。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 仮想 USB 接続が正常に動作していることを確認します。
2. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
3. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
4. OS デプロイメントを再試行します。
5. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOS0006K: BMC の通信に成功しました。ボリューム名が一致しません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、BMC ファームウェアを再フラッシュします。
3. OS デプロイメントを再試行します。
4. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOS0007K: ライセンス RTF ファイルの読み取りに失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、BMC ファームウェアを再フラッシュします。
3. 別の OS メディア (USB DVD または USB キー) を使用します。
4. OS デプロイメントを再試行します。
5. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOS0008K: OS インストール用のリモート OS メディアを検出できませんでした。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. SMB/CIFS および NFS 通信が正常に動作していることを確認します (イーサネット・ケーブルが接続されており、ネットワーク設定が正しいことを確認します)。
2. OS バージョンおよびフォルダー・パスが正しいことを確認します。
3. CIFS および NFS のインストールを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOS0009K**: 現行システムのブート・モードはレガシーです。LXPM OS のインストールは UEFI モードのみをサポートします。

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. ブート・モードをUEFIモードに変更します。
2. OS デプロイメントを再試行します。

- **FQXPMOS0028I**: OS のインストールを開始します: [arg1]。

重大度: 情報

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMOSD0001M**: HDD Test がハードウェアまたはソフトウェア・リセットを使用してホストに割り込まれました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エクспанダー (該当する場合) およびケーブルを付け直します。
2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. テストを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOSD0002M**: デバイスが自己診断テストを実行中に致命的エラーまたは不明なテスト・エラーが発生しました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エクспанダー (該当する場合) およびケーブルを付け直します。
2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. テストを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMOSD0003M**: セルフテストが失敗したテスト要素ありで完了しました。失敗したテスト要素は不明です。

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エクspander (該当する場合) およびケーブルを付け直します。
2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. テストを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSD0004M: セルフテストがテストの電氣的要素に失敗ありで完了しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エクspander (該当する場合) およびケーブルを付け直します。
2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. テストを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSD0005M: セルフテストがテストのサーボ (および/またはシーク) 要素に失敗ありで完了しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エクspander (該当する場合) およびケーブルを付け直します。
2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. テストを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSD0006M: セルフテストがテストの読み取り要素に失敗ありで完了しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エクspander (該当する場合) およびケーブルを付け直します。
2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. テストを再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMSD0007M: ハードディスク・ドライブが見つかりませんでした**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サーバーから A/C を取り外し、すべてのドライブ、バックプレーン、RAID アダプター、エクspander (該当する場合) およびケーブルを付け直します。
 2. デバイス・ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
 3. BMC または OneCLI のインベントリー・ログに同じエラーが存在していることを確認します。
 4. テストを再実行します。
 5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。
- **FQXPMSD0008M: UEFI が LXPM でハードディスク・ドライブをテストするコマンドを送信する準備ができていません。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. システムをリブートし、テストを再実行します。
 2. 同じメッセージが報告された場合は、OS で最新バージョンの SMART ツールを実行します。このツールはハードディスク・ドライブの状況をチェックするオープン・ソースのツールであり、Web サイトからダウンロードできます。
 3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。
- **FQXPMSD0009M: LXPM がハードディスク・ドライブにテスト・コマンドを送信したときに、デバイス・エラーが検出されました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. 次のいずれかを行います。
 - 影響を受けたドライブがシステムによって検出された場合は、ディスク・ドライブのファームウェアを更新し、サーバーをリブートします。
 - 影響を受けたドライブがシステムによって検出されない場合または応答しない場合:
 - a. サーバーの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
 - b. 関連する RAID コントローラー、SAS ケーブル、バックプレーンおよびドライブを取り付け直します。
 - c. システム電源を復元し、サーバーをリブートします。
2. LXPM からディスク・ドライブのテストを再実行します。詳しくは、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> の LXPM 資料を参照してください。ご使用のサーバー・モデルの LXPM バージョンをクリックし、左側のナビゲーション・ツリーから Using LXPM (LXPM の使用) -> Diagnostics (診断) -> Running Diagnostics (診断の実行) を選択します。
3. 問題が解決しない場合は、ローカル USB ストレージ・デバイスまたは共有ネットワーク・フォルダーを使用して、テスト結果を test_hdd.txt ファイルに保存します。
4. ドライブの交換については、テクニカル・サポートに連絡してください。

- **FQXPMSD0010M: LXPM がハードディスク・ドライブにテスト・コマンドを送信したときに、UEFI がタイムアウトになりました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. 次のいずれかを行います。
 - 影響を受けたドライブがシステムによって検出された場合は、ディスク・ドライブのファームウェアを更新し、サーバーをリブートします。
 - 影響を受けたドライブがシステムによって検出されない場合または応答しない場合:
 - a. サーバーの電源をオフにし、A/C 電源を取り外します。
 - b. 関連する RAID コントローラー、SAS ケーブル、バックプレーンおよびドライブを取り付け直します。
 - c. システム電源を復元し、サーバーをリブートします。
2. LXPM からディスク・ドライブのテストを実行します。詳しくは、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> の LXPM 資料を参照してください。ご使用のサーバー・モデルの LXPM バージョンをクリックし、左側のナビゲーション・ツリーから Using LXPM (LXPM の使用) -> Diagnostics (診断) -> Running Diagnostics (診断の実行) を選択します。
3. 問題が解決しない場合は、ローカル USB ストレージ・デバイスまたは共有ネットワーク・フォルダーを使用して、テスト結果を test_hdd.txt ファイルに保存します。
4. ドライブの交換については、テクニカル・サポートに連絡してください。

- **FQXPMSD0011M: ハードディスク・ドライブは UEFI でサポートされていませんが、LXPM はハードディスク・ドライブをテストするためのコマンドを送信しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. ハードディスク・ドライブの仕様を参照し、そのハードディスク・ドライブが ATA のセルフテスト機能をサポートしているかどうかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMR0001K: サポートされない RAID アダプターが見つかりました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされる RAID アダプターについては、以下の Lenovo サポート・サイト (<https://serverproven.lenovo.com>) を確認してください。
2. RAID アダプター、LXPM および UEFI ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- FQXPMSR0011K: ディスク・ドライブの状態を変更できませんでした。

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. LXPM および RAID アダプターのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
2. RAID アダプターとディスク・ドライブの状態が両方とも正常であることを確認します。
3. ディスク・ドライブ、SAS エクスパンダー (該当する場合) および RAID アダプターが物理的に適切に接続されていることを確認します。
4. 特殊ドライブに対する操作が正当または論理的であることを確認してください。(たとえば、Unconfigured BAD を Online 状態に変更することはできません)
5. マシンを再起動し、ディスク・ドライブの状態の変更を再試行します。
6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- FQXPMSR0012I: ディスク・ドライブの状態を正常に変更しました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXPMSR0021L: 新規仮想ディスクを作成できませんでした。

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. LXPM および RAID アダプターのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
2. RAID アダプターとディスク・ドライブの状態が両方とも正常であることを確認します。
3. ディスク・ドライブ、SAS エクスパンダー (該当する場合) および RAID アダプターが物理的に適切に接続されていることを確認します。
4. ドライブ状況が正しいことを確認します (未構成の正常)。
5. マシンを再起動し、仮想ディスクの新規作成を再試行します。
6. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- FQXPMSR0022I: 新規仮想ディスクを正常に作成しました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXPMSR0031L: 既存の仮想ディスクの削除に失敗しました。

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. LXPM および RAID アダプターのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
2. RAID アダプターとディスク・ドライブの状態が両方とも正常であることを確認します。
3. ディスク・ドライブ、SAS エクスパンダー (該当する場合) および RAID アダプターが物理的に適切に接続されていることを確認します。
4. マシンを再起動し、既存の仮想ディスクの削除を再試行します。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMR0032I: 既存の仮想ディスクを正常に削除しました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

情報メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMUP0003K: UEFI の最小レベルを取得できません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0004K: UEFI のインストール済みバージョンを取得できません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0005K: BMC のインストール済みバージョンを取得できません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0006K: LXPM のインストール済みバージョンを取得できません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0007K: Linux ドライバーのインストール済みバージョンを取得できません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0008K: Windows ドライバーのインストール済みバージョンを取得できません。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。

3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0101I: LXPM の更新を開始します。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMUP0102I: Windows ドライバーの更新を開始します。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMUP0103I: Linux ドライバーの更新を開始します。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMUP0104I: UEFI の更新を開始します。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMUP0105I: BMC の更新を開始します。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMUP0106I: ファームウェアの更新に成功しました。**

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- **FQXPMUP0201M: BMC 通信が失敗しました: EMMC2USB のマウント障害。ファームウェアの更新に失敗しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法および、UEFI を介した BMC 設定 または BMC Web UI の「管理コントローラーの再起動」を使用して、BMC を再起動します。その後、システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、BMC ファームウェアを再フラッシュします。
3. エラーが解決しない場合は AC リセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツール (XClarity Administrator、XClarity Controller、XClarity Essential OneCLI など) を試して更新を実行してください。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0202M: 更新パッケージ・エラーを転送します。ファームウェアの更新に失敗しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. 更新パッケージが破損していないことを確認してから、更新を再試行します。
2. USB/ネットワーク・ドライブに正しく接続されていることを確認し、更新を再試行してください。
3. サポートされている方法および、UEFI を介した BMC 設定または BMC Web UI の「管理コントローラーを再起動」で、BMC を再起動します。その後、システムをリブートします。
4. 問題が解決しない場合は、BMC ファームウェアを再フラッシュします。
5. エラーが解決しない場合は AC リセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

6. 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツール (XClarity Administrator、XClarity Controller、XClarity Essential OneCLI など) を試して更新を実行してください。
7. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0203M: BMC 通信が失敗しました: EMMC2USB のアンマウント障害。ファームウェアの更新に失敗しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再フラッシュします。
3. エラーが解決しない場合は AC リセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツール (XClarity Administrator、XClarity Controller、XClarity Essential OneCLI など) を試して更新を実行してください。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0204M: BMC 通信が失敗しました: 更新コマンドの実行が失敗しました。ファームウェアの更新に失敗しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動します。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツール (XClarity Administrator、XClarity Controller、XClarity Essential OneCLI など) を試して更新を実行してください。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0205M: BMC 通信が失敗しました: 更新ステータスの取得に失敗しました。ファームウェアの更新に失敗しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
2. BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
3. AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注: AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

4. 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツール (XClarity Administrator、XClarity Controller、XClarity Essential OneCLI など) を試して更新を実行してください。
5. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0206M: 更新パッケージのレベルが古すぎます。ファームウェアの更新に失敗しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

1. プロンプトに従ってより新しいバージョンの更新パッケージを選択し、更新を再試行します。

- サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
- AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

- 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツール (XClarity Administrator、XClarity Controller、XClarity Essential OneCLI など) を試して更新を実行してください。
- 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0207M: 更新パッケージが無効です。ファームウェアの更新に失敗しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

- 更新パッケージが破損していないことを確認して、更新を再試行します。
- USB/ネットワーク・ドライブに適切に接続されていることを確認して、更新を再試行します。
- サポートされている方法および、UEFI を介した BMC 設定 または BMC Web UI の「管理コントローラーの再起動」を使用して、BMC を再起動します。その後、システムをリブートします。
- BMC ファームウェアを再フラッシュします。
- AC リセットまたは仮想リセットを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

- 問題が解決しない場合は、別の Lenovo ツール (XClarity Administrator、XClarity Controller、XClarity Essential OneCLI など) を試して更新を実行してください。
- 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMUP0208M: BMC のリブート・コマンドの実行に失敗しました。**

重大度: エラー

ユーザー処置:

- サポートされている方法で BMC を再起動し、システムをリブートします。
- BMC ファームウェアを再度フラッシュします。
- エラーが解決しない場合は AC リセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注：AC リセットを実行するときは、AC の電源を切った後、数秒待ってから AC の電源を入れてください。AC 電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

- 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- **FQXPMVD0001H: VPD データの取得に失敗しました。**

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 「グローバル設定」ボタンを押して、もう一度「VPDの更新」ボタンを押します。
2. ステップ1が失敗した場合は、ACリセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注: ACリセットを実行するときは、ACの電源を切った後、数秒待ってからACの電源を入れてください。AC電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- FQXPMVD0002H: VPDデータの更新に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. VPD更新ページで「更新」ボタンを押します。
2. ステップ1が失敗した場合は、ACリセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注: ACリセットを実行するときは、ACの電源を切った後、数秒待ってからACの電源を入れてください。AC電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- FQXPMVD0003I: VPDデータを正常に更新しました。

重大度: 通知

ユーザー処置:

通知メッセージ。アクションは不要です。

- FQXPMVD00011K: TPM/TPMカード/TCMポリシーの状態の取得に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. 「グローバル設定」ボタンを押して、もう一度「VPDの更新」ボタンを押します。
2. ステップ1が失敗した場合は、ACリセットまたは仮想再取り付けを実行します。

注: ACリセットを実行するときは、ACの電源を切った後、数秒待ってからACの電源を入れてください。AC電源が復旧した後、ホスト・システムの電源をオンにします。

3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

- FQXPMVD00012K: TPM/TPMカード/TCMポリシーの設定に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザー処置:

1. VPD 更新ページで「適用」ボタンを押します。
2. ステップ 1 失敗した場合は、システムをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。

付録 A ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または Lenovo 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、Lenovo がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

WWW 上の以下の Web サイトで、Lenovo システム、オプション・デバイス、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。

<http://datacentersupport.lenovo.com>

注：IBM は、ThinkSystem に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行してお客様自身で問題の解決を試みてください。サポートを受けるために連絡が必要と判断した場合、問題を迅速に解決するためにサービス技術員が必要とする情報を収集します。

お客様自身での問題の解決

多くの問題は、Lenovo がオンライン・ヘルプまたは Lenovo 製品資料で提供するトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。オンライン・ヘルプにも、お客様が実行できる診断テストについての説明が記載されています。ほとんどのシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムの資料には、トラブルシューティングの手順とエラー・メッセージやエラー・コードに関する説明が記載されています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

ThinkSystem 製品については、以下の場所で製品ドキュメントが見つかります。

<https://pubs.lenovo.com/>

以下の手順を実行してお客様自身で問題の解決を試みることができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション・デバイスの電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の Lenovo 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないかを確認します。(以下のリンクを参照してください) Lenovo 保証規定には、Lenovo 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることが明記されています(追加の保守契約によって保証されていない場合)。お客様のサービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。

– ドライバおよびソフトウェアのダウンロード

– <https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av3withb200/7dm9/downloads/driver-list/>

– オペレーティング・システム・サポート・センター

– <https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/server-os>

– オペレーティング・システムのインストール手順

– <https://pubs.lenovo.com/thinksystem#os-installation>

- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<https://serverproven.lenovo.com> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の製品によってサポートされていることを確認してください。
- 問題の特定と解決の手順については、ユーザー・ガイドまたはハードウェア・メンテナンス・ガイドの「問題判別」を参照してください。
- <http://datacentersupport.lenovo.com> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。ご使用のサーバーで利用可能な技術ヒントを検索するには:
 1. <http://datacentersupport.lenovo.com> にアクセスしてご使用のサーバーのサポート・ページに移動します。
 2. ナビゲーション・ペインで「How To's (ハウツー)」をクリックします。
 3. ドロップダウン・メニューから「Article Type (記事タイプ)」→「Solution (ソリューション)」をクリックします。
 画面に表示される指示に従って、発生している問題のカテゴリを選択します。
- https://forums.lenovo.com/t5/Datacenter-Systems/ct-p/sv_eg の Lenovo Data Center フォーラムで、同様の問題が発生していないかどうかを確認してください。

サポートへの連絡に必要な情報の収集

ご使用の Lenovo 製品に保証サービスが必要な場合は、依頼する前に適切な情報を準備していただけると、サービス技術員がより効果的にお客様を支援することができます。または製品の保証について詳しくは、<http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup> で参照できます。

サービス技術員に提供するために、次の情報を収集します。このデータは、サービス技術員が問題の解決策を迅速に提供する上で役立ち、お客様が契約された可能性があるレベルのサービスを確実に受けられるようにします。

- ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
- マシン・タイプ番号 (Lenovo の 4 桁のマシン識別番号)。マシン・タイプ番号は ID ラベルに記載されています。詳しくは、ユーザー・ガイドまたはシステム構成ガイドの「サーバーを識別して Lenovo XClarity Controller にアクセスする」を参照してください。
- 型式番号
- シリアル番号
- 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
- エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

Lenovo サポートに連絡する代わりに、<https://support.lenovo.com/servicerequest> にアクセスして Electronic Service Request を送信することもできます。Electronic Service Request を送信すると、お客様の問題に関する情報をサービス技術員が迅速に入手できるようになり、問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。Lenovo サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

サービス・データの収集

サーバーの問題の根本原因をはっきり特定するため、または Lenovo サポートの依頼によって、詳細な分析に使用できるサービス・データを収集する必要がある場合があります。サービス・データには、イベント・ログやハードウェア・インベントリなどの情報が含まれます。

サービス・データは以下のツールを使用して収集できます。

- **Lenovo XClarity Provisioning Manager**

Lenovo XClarity Provisioning Manager のサービス・データの収集機能を使用して、システム・サービス・データを収集します。既存のシステム・ログ・データを収集するか、新しい診断を実行して新規データを収集できます。

- **Lenovo XClarity Controller**

Lenovo XClarity Controller Web インターフェースまたは CLI を使用してサーバーのサービス・データを収集できます。ファイルは保存でき、Lenovo サポートに送信できます。

- Web インターフェースを使用したサービス・データの収集について詳しくは、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料の「BMC 構成のバックアップ」セクションを参照してください。
- CLI を使用したサービス・データの収集について詳しくは、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料のバージョンの「XCC `ffdc` コマンド」セクションを参照してください。

- **Lenovo XClarity Administrator**

一定の保守可能イベントが Lenovo XClarity Administrator および管理対象エンドポイントで発生した場合に、診断ファイルを収集し自動的に Lenovo サポートに送信するように Lenovo XClarity Administrator をセットアップできます。Call Homeを使用して診断ファイルを Lenovo サポートに送信するか、SFTP を使用して別のサービス・プロバイダーに送信するかを選択できます。また、手動で診断ファイルを収集したり、問題レコードを開いたり、診断ファイルを Lenovo サポートに送信したりもできます。

Lenovo XClarity Administrator 内での自動問題通知のセットアップに関する詳細情報は https://pubs.lenovo.com/lxca/admin_setupcallhome で参照できます。

- **Lenovo XClarity Essentials OneCLI**

Lenovo XClarity Essentials OneCLI には、サービス・データを収集するインベントリ・アプリケーションがあります。インバンドとアウト・オブ・バンドの両方で実行できます。サーバーのホスト・オペレーティング・システムで実行する場合、OneCLI では、ハードウェア・サービス・データに加えて、オペレーティング・システム・イベント・ログなどオペレーティング・システムに関する情報を収集できます。

サービス・データを取得するには、`getinfor` コマンドを実行できます。`getinfor` の実行についての詳細は、https://pubs.lenovo.com/lxce-onecli/onecli_r_getinfor_command を参照してください。

サポートへのお問い合わせ

サポートに問い合わせで問題に関するヘルプを入手できます。

ハードウェアの保守は、Lenovo 認定サービス・プロバイダーを通じて受けることができます。保証サービスを提供する Lenovo 認定サービス・プロバイダーを見つけるには、<https://datacentersupport.lenovo.com/serviceprovider> にアクセスし、フィルターを使用して国別で検索します。Lenovo サポートの電話番号については、<https://datacentersupport.lenovo.com/supportphonelist> で地域のサポートの詳細を参照してください。

